

令和3年度 中央国有林材供給調整検討委員会 議事次第

令和3年12月2日 13:00~16:00

林野庁 AB 会議室

1 開 会

2 挨拶（林野庁国有林野部長 橋 政行）

3 出席者紹介

4 議 事

(1) 木材需給動向について ・ ・ 資料 1

(2) 令和3年度各森林管理局の供給調整検討委員会の
検討結果と対応状況について ・ ・ 資料 2

(3) 意見交換

5 挨拶（林野庁業務課長 長崎屋 圭太）

6 閉 会

○配布資料

(1) 出席者名簿

(2) 資料 1 木材需給動向について P 1 ~ P 9

(3) 資料 2 令和3年度各森林管理局の国有林材供給調整検討
委員会の検討結果と対応状況 P 1 ~ P 8

(4) 参考資料 1 令和3年度補正予算について

(5) 参考資料 2 林産物に関するマンスリーレポート（モクレポ）

令和3年度 中央国有林材供給調整検討委員会 出席者

○委員(代理人)

分野	所属・役職名	氏名	参加方式
原木流通(北海道)	物林 株式会社 営業本部 北海道グループ長	なかね もとなり 中根 幹成	会場
原木流通(東北)	ノースジャパン素材流通協同組合 参与兼経営企画管理部長	いちじょう かつや 一条 克也	WEB
	(経営企画管理部 経営企画課長)	よしだ けいすけ (吉田 佳右)	
製材(関東)	協和木材 株式会社 代表取締役	さかわ ひろおき 佐川 広興	会場
市場(中部)	株式会社 東海木材相互市場 代表取締役社長 (全国木材組合連合会会長)	すずき かずお 鈴木 和雄	会場
合板(近畿中国)	林ベニヤ産業 株式会社 代表取締役社長	ないとう かずゆき 内藤 和行	会場
製材(四国)	八幡浜官材協同組合 代表理事	きくち しげと 菊池 繁人	WEB
素材生産(九州)	日高勝三郎商店 代表 (全国素材生産業協同組合連合会会長)	ひだか かつさぶろう 日高 勝三郎	会場
学識経験者	NPO法人活木活木(いきいき)森ネットワーク 理事長	えんどう くさお 遠藤 日雄	WEB
所有者	全国森林組合連合会 系統事業部長 兼 購買課長	きくち ひであき 菊地 英晃	会場
	(全国森林組合連合会 販売課長)	あらかわ なりあき (荒川 考旦)	
所有者 (住宅・バイオマス)	住友林業 株式会社 資源環境事業本部 山林部長	てらさわ けんじ 寺澤 健治	会場
市場・製品販売	東京中央木材市場株式会社 代表取締役社長	いじま よしお 飯島 義雄	会場
学識経験者	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林業経営・政策研究領域長	くぼやま ひろふみ 久保山 裕史	会場
学識経験者	高知大学 名誉教授	かわた いさお 川田 勲	WEB (四国局より)

○ 林野庁

所属・役職名	氏名
国有林野部長	橘 政行
国有林野部 業務課 課長	長崎屋 圭太
〃 企画官(国有林材安定供給担当)	善行 宏
〃 企画官(水源地域整備担当)	三重野 裕通
〃 供給企画班担当課長補佐	近藤 昭夫
〃 供給対策班担当課長補佐	藤本 達之

○ 森林管理局

所属・役職名	参加方式
北海道森林管理局 資源活用課	WEB
東北森林管理局 資源活用課	WEB
関東森林管理局 資源活用課	WEB
中部森林管理局 資源活用課	WEB
近畿中国森林管理局 資源活用課	WEB
四国森林管理局 資源活用課	WEB
九州森林管理局 資源活用課	WEB

木材需給動向について

輸入木材の供給不安による国内への影響

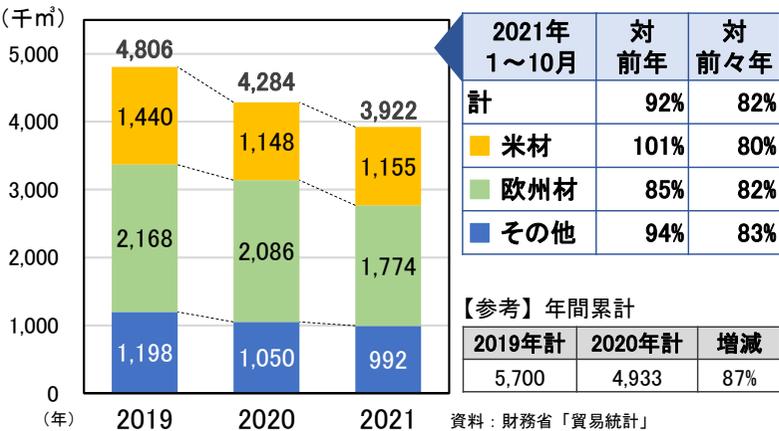
- 世界的な木材需要の高まりやコンテナ不足により、国内への製材品等の輸入量が減少し、価格が高騰。国産材への代替需要が強まったため、国内工場は稼働率を上げて対応。
- 中小工務店を中心とした木造住宅供給事業者からは、木材の入手難と価格高騰に対して不安の声。

【国内】輸入量の減少・価格上昇

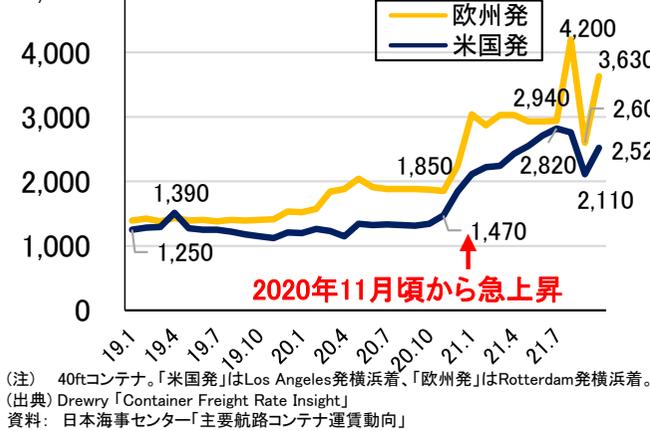
- 輸入量減**…米国の住宅着工の回復等による世界的な木材需要の高まりや、コンテナ不足により、欧州、北米の現地サプライヤーは、米国向けの供給を増やすなどにより、日本向けの供給量は減少。

- 価格上昇**…輸入コストの上昇により、輸入木材の価格が高騰。代替需要が発生したスギ柱材などの国産材製品の価格も急騰

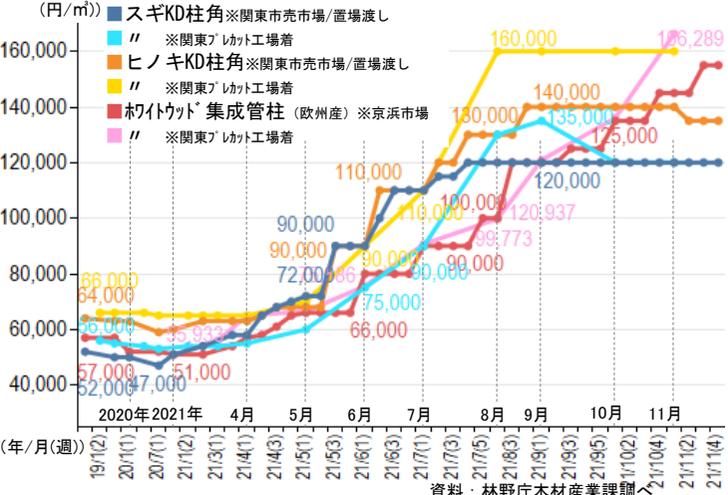
製材の輸入量(1~10月の累計)



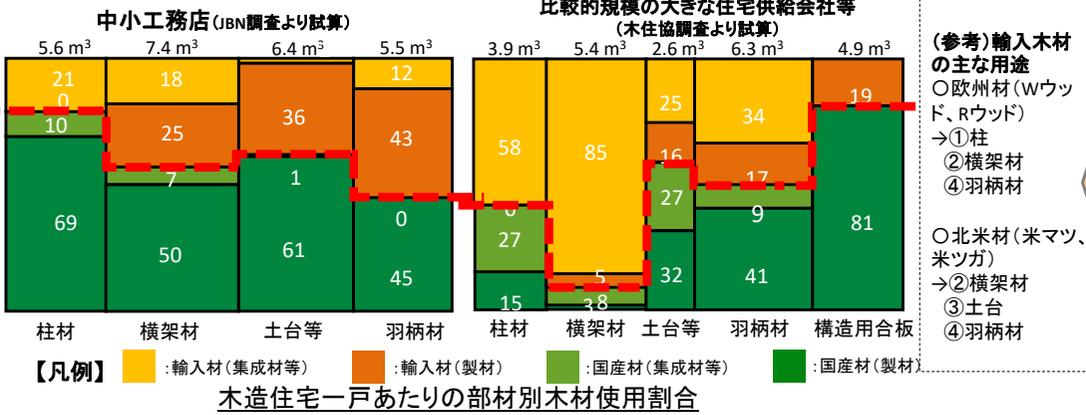
日本向けコンテナ運賃の推移



柱材の価格(105×105×3000mm)

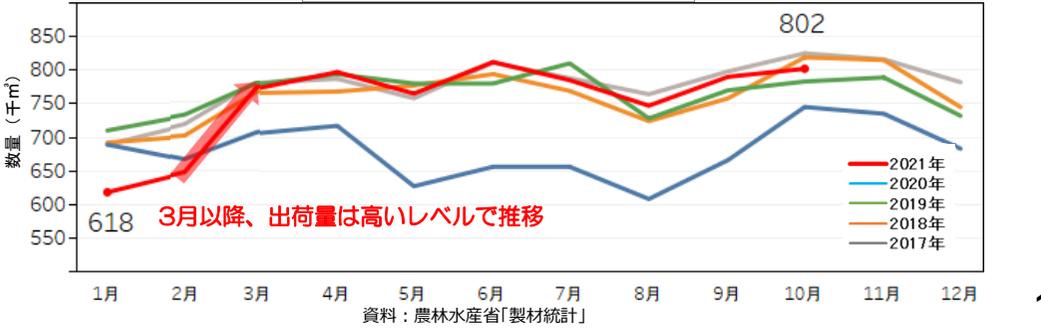


中小工務店を中心とした木造住宅供給事業者から、木材の入手難と価格高騰に対しての不安の声。



- 国内製材工場**…輸入木材からの代替需要に対応し、国内製材工場はコロナ禍での需要減退により落ちていた稼働率を上げて出荷量は増加。

製材品出荷量の月別推移



需給情報連絡協議会の開催

国産材の安定供給体制の構築に向けて、川上から川下まで幅広く様々な関係者が木材等の需給情報の収集・共有を図る事業として、中央及び全国7地区において需給情報連絡協議会（以下「協議会」）を開催。

協議会の構成及び令和3年度の取組

○中央協議会

構成：学識経験者、中央団体等から構成

議題：木材輸入の状況について

木材需給の動向（全国）について

開催状況（令和3年度）：
臨時会 4月14日
第1回 9月10日
第2回 1月下旬（予定）

○地区別協議会（全国7地区）

構成：学識経験者、地区における主要な事業者、都道府県等

議題：需給情報（地区）等

開催状況（令和3年度）：
第1回 5月下旬～7月下旬
第2回 9月中旬～10月上旬
第3回 12月中旬～1月下旬（予定）

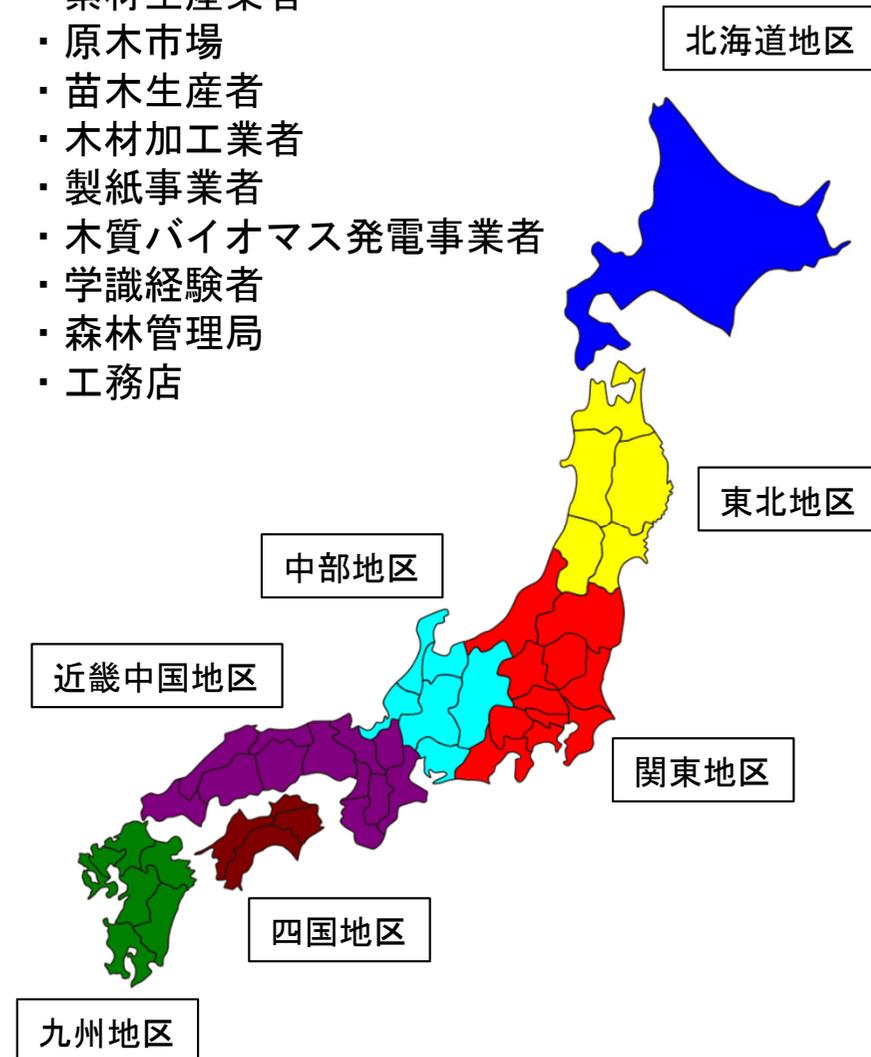
○支部別協議会（都道府県単位）

構成：（必要に応じ設置）都道府県、関係団体等

議題：需給情報（都道府県）等

○地区別協議会構成員

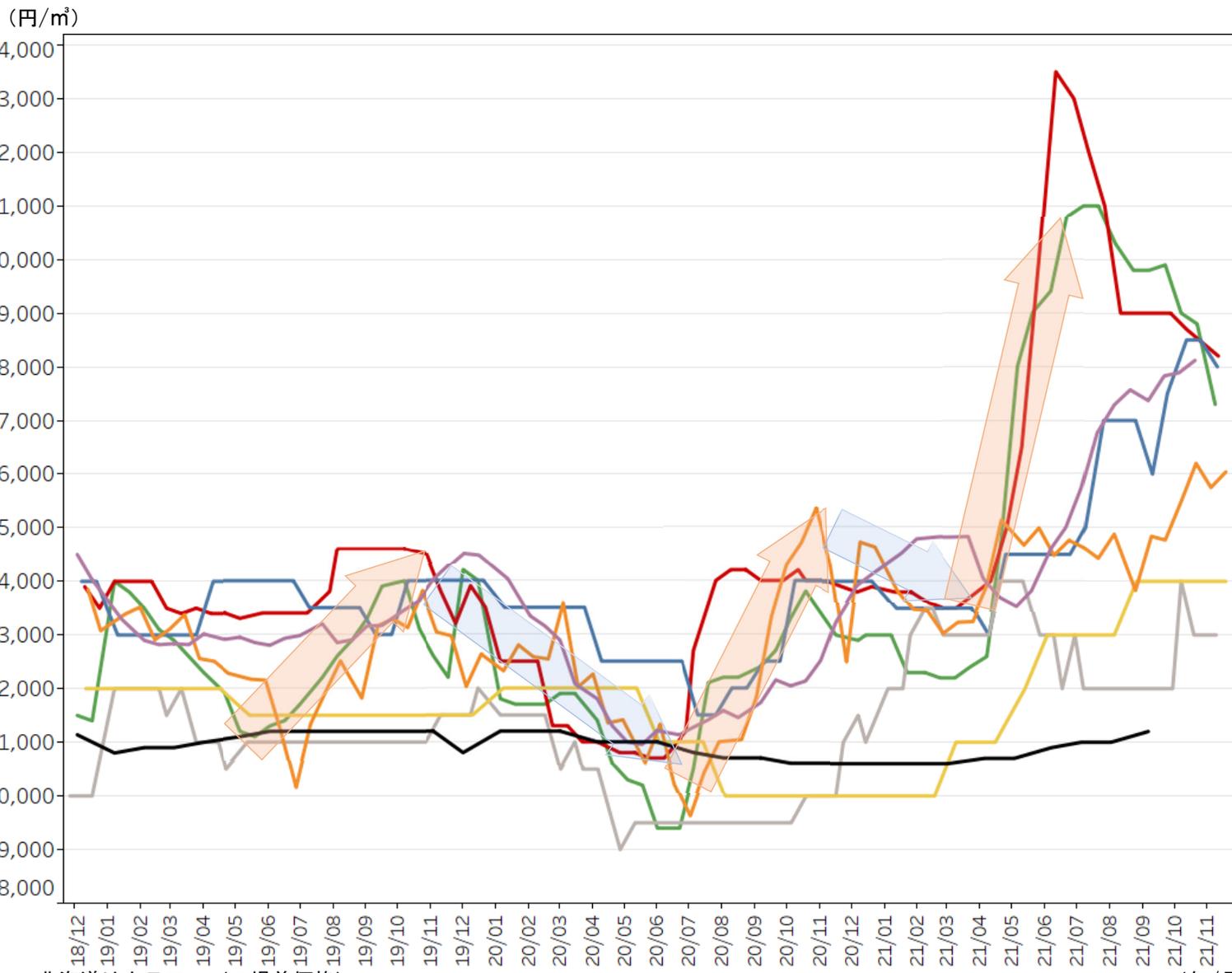
- ・森林組合
- ・素材生産業者
- ・原木市場
- ・苗木生産者
- ・木材加工業者
- ・製紙事業者
- ・木質バイオマス発電事業者
- ・学識経験者
- ・森林管理局
- ・工務店



1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 2021年に入ってから、例年であれば春から梅雨時期にかけて原木価格が下落する時期にもかかわらず、4月以降、上昇が見られる地域が多く見られる。九州地域では一時、価格が高騰したが、直近では落ち着きも見られる。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比125%から149%となっている。



都道府県	2021年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	11,200	10,700	105%
秋田県	18,120	12,130	149%
栃木県	16,040	12,500	128%
長野県	14,000	10,000	140%
岡山県	13,000	10,000	130%
高知県	18,000	14,000	129%
熊本県	18,200	14,000	130%
宮崎県	17,300	13,800	125%

※栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については11月、秋田県は10月、北海道については9月の値を使用。

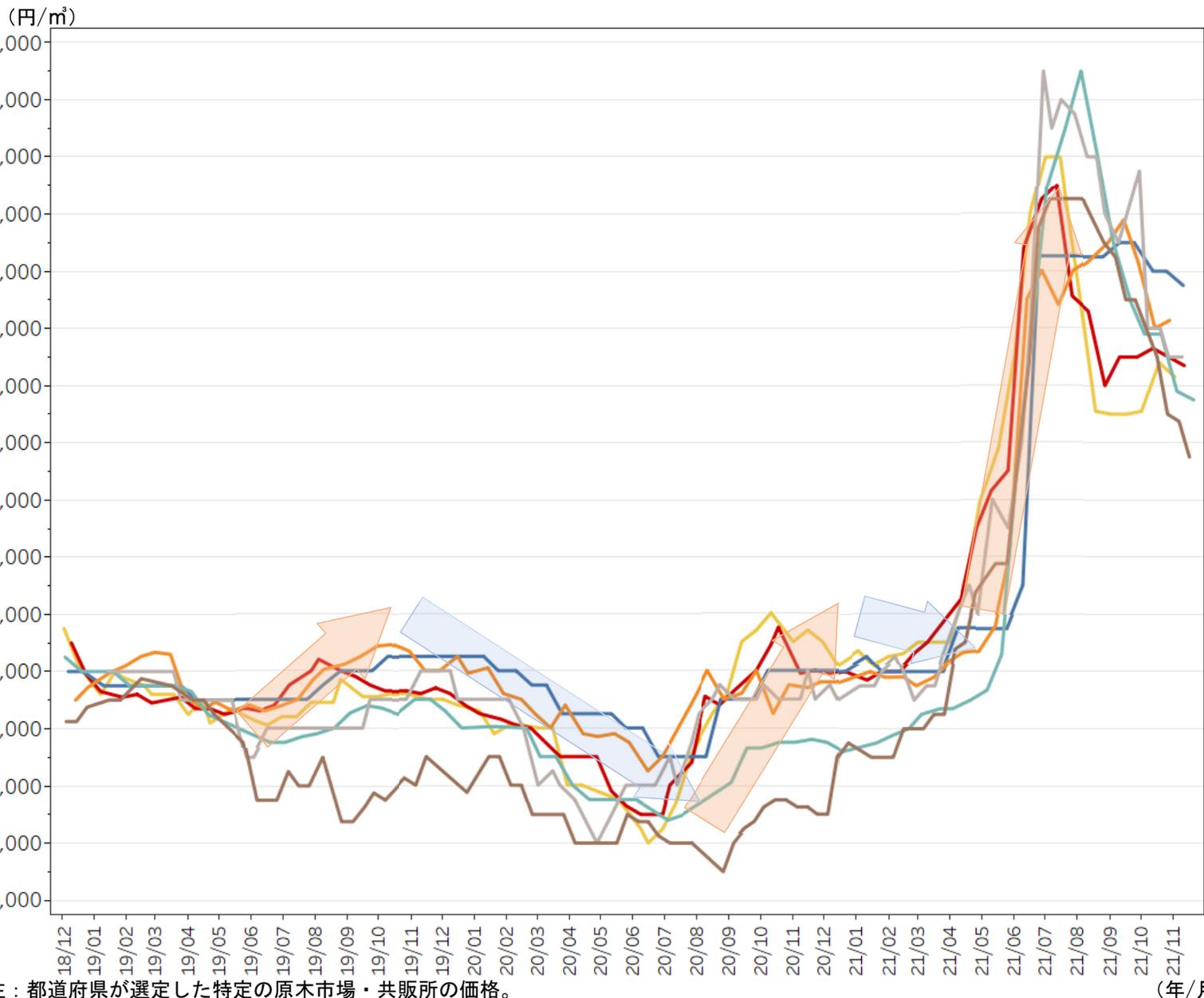
注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、例年であれば原木価格が下落する時期において、全ての地域で大きく上昇したが、直近では落ち着きも見られる。
- 直近のヒノキ原木価格は、前年同期比149%から193%となっている。



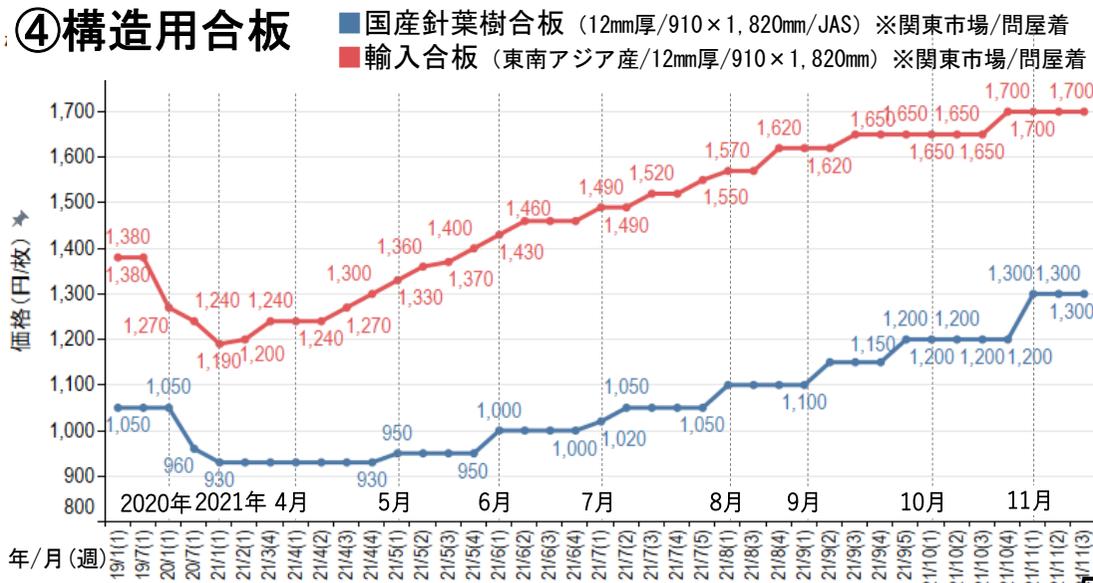
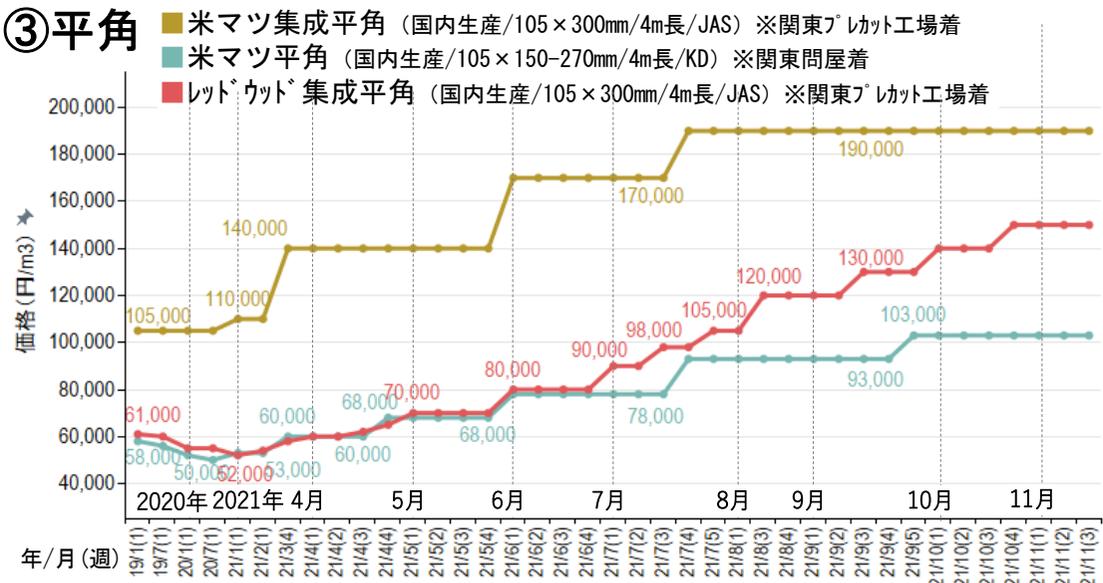
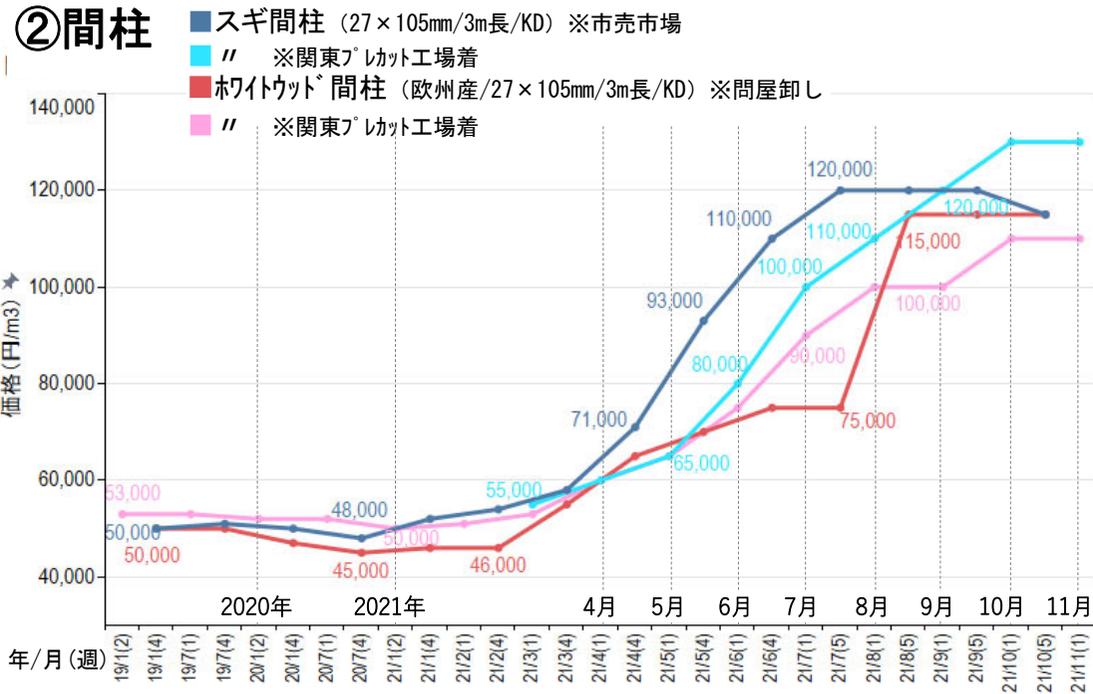
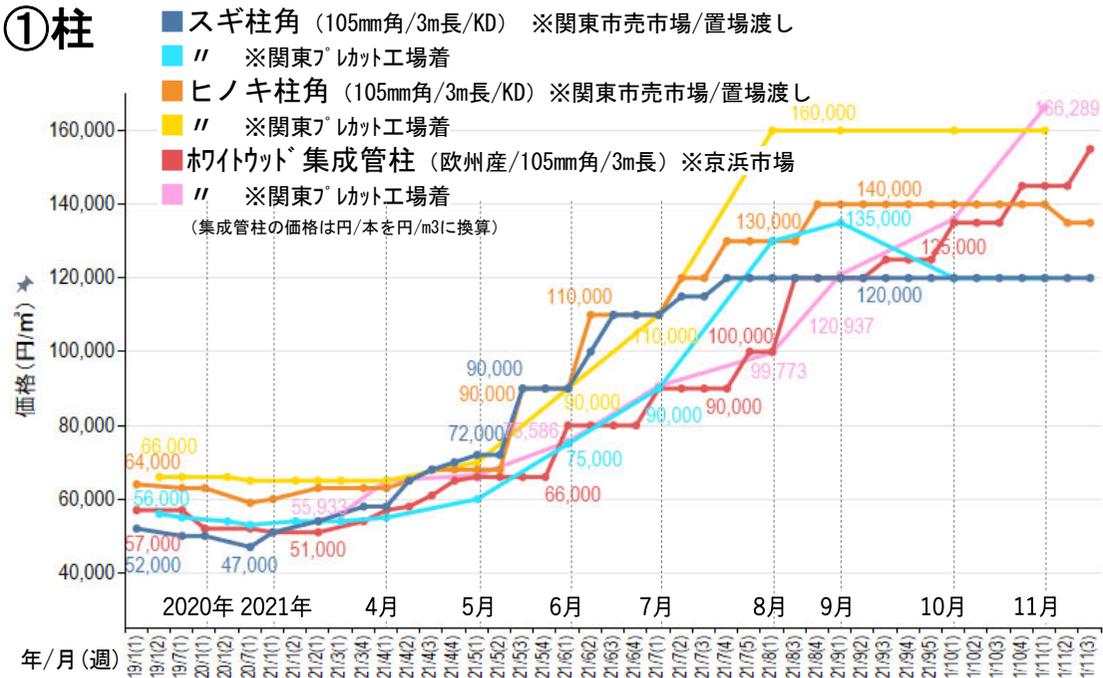
都道府県	2021年直近*	前年同期	前年同期比
兵庫県	25,500	13,250	193%
岡山県	29,000	17,000	171%
広島県	27,500	15,600	176%
愛媛県	30,280	17,500	173%
高知県	31,500	18,000	175%
熊本県	28,700	17,900	160%
大分県	28,300	19,000	149%

※兵庫県、岡山県、広島県、高知県、熊本県及び大分県については11月、愛媛県については10月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

(2) 製品価格

- 輸入材製品価格は、北米、中国、欧州など世界的な木材不足に加え、コンテナ不足による運送コストの増大等により高騰。
- 国産材の代替需要が発生し、国産材製品価格も上昇が続いている。

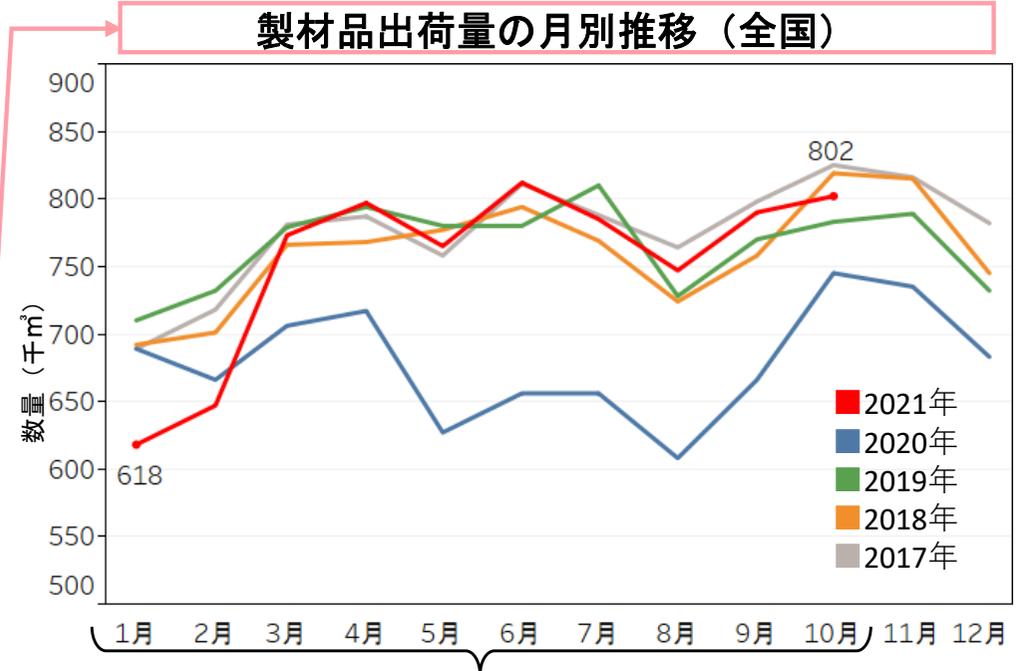
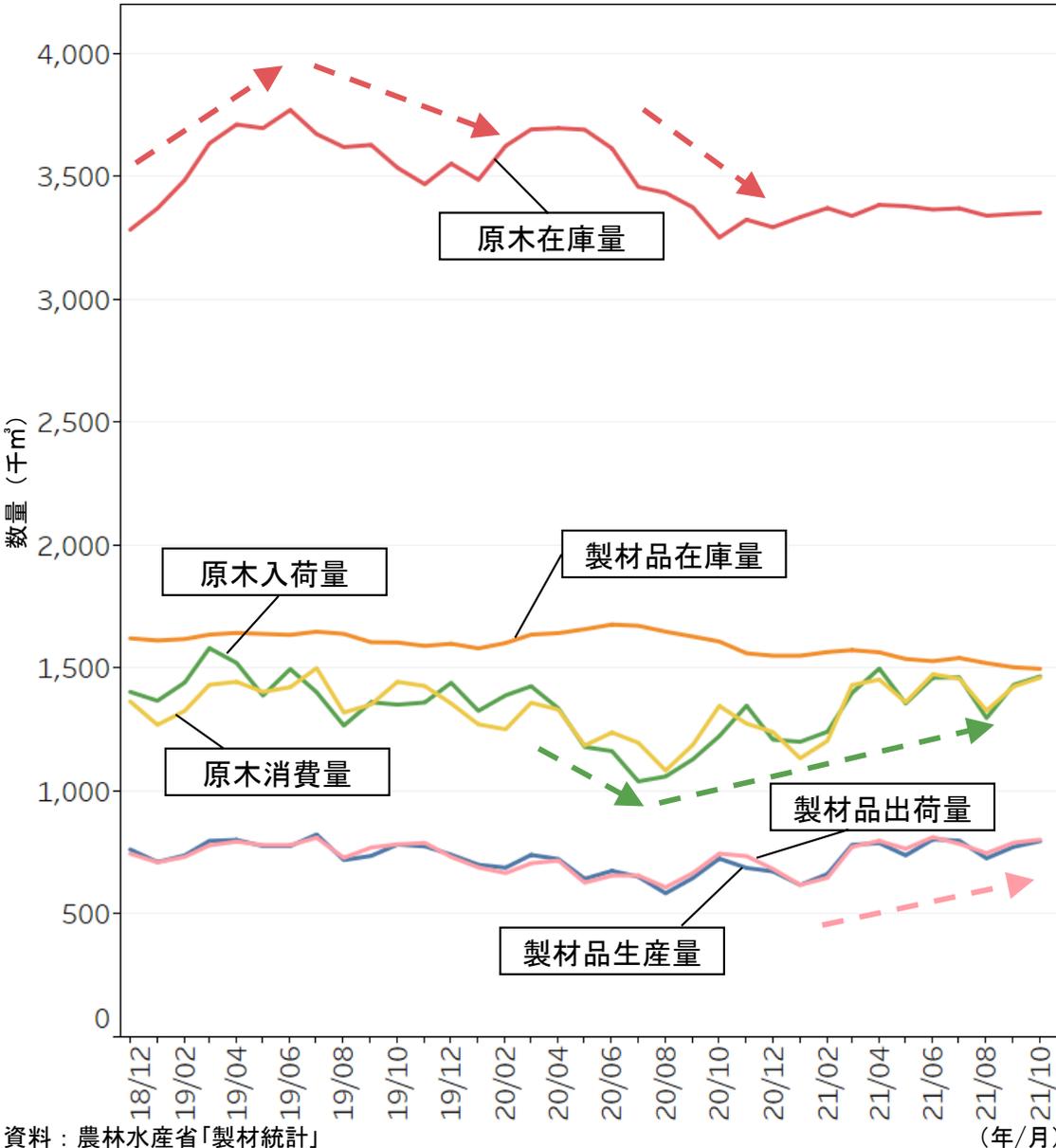


資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2021年1～10月の原木の入荷量は13,812千 m^3 (2017年比101%)。
- 同様に製材品の出荷量は7,536千 m^3 (2017年比98%)、コロナ禍前の水準となっている。

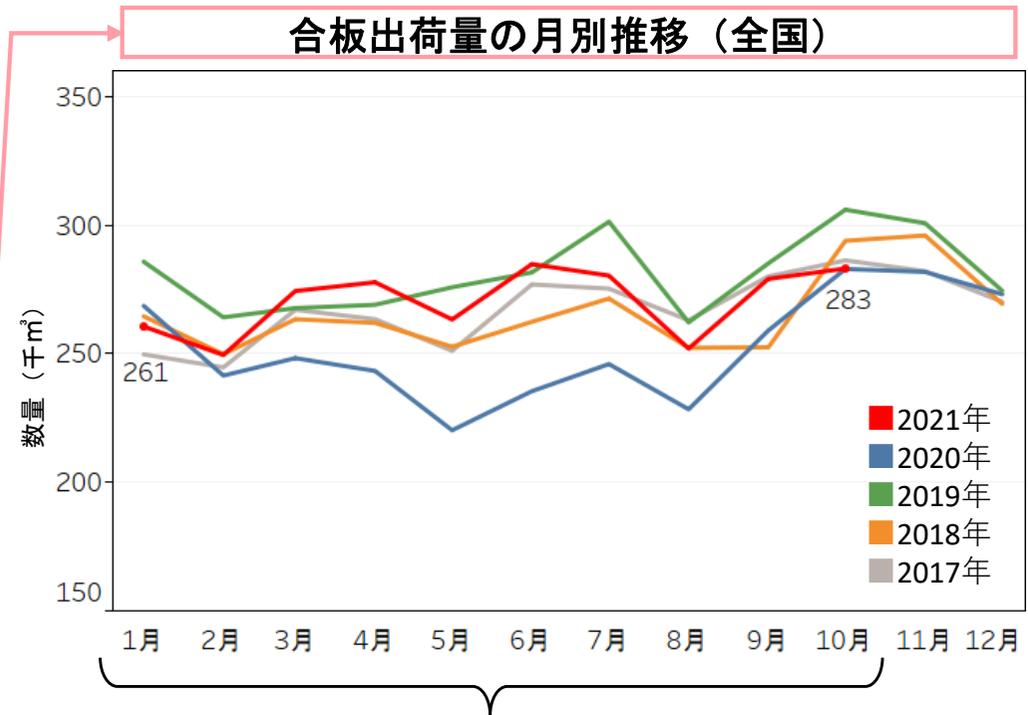
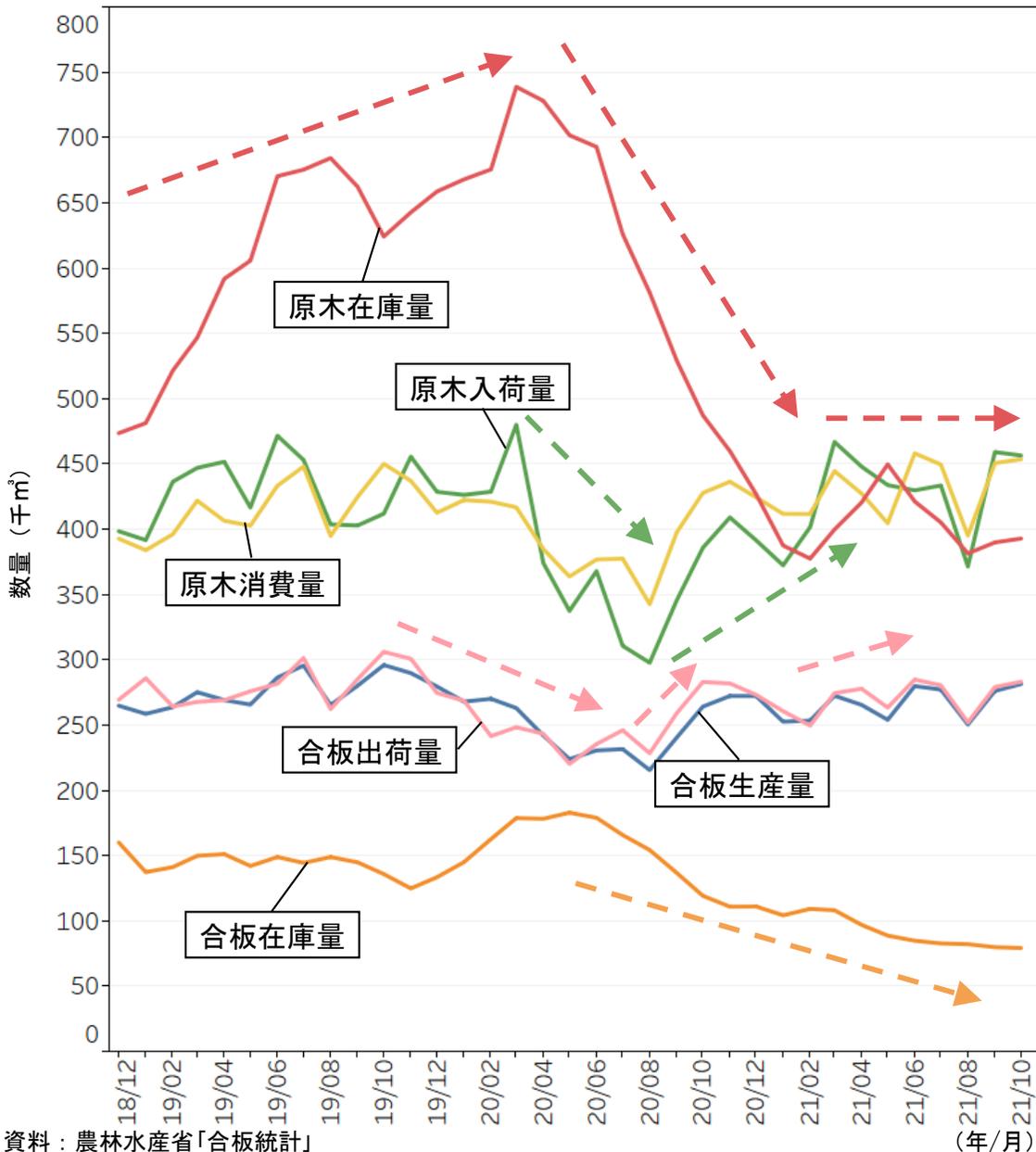


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～10月原木入荷量合計(千 m^3)	13,722	13,715	14,174	12,268	13,812
2017年との比較*	—	100%	103%	89%	101%
1～10月出荷量合計(千 m^3)	7,719	7,568	7,666	6,736	7,536
2017年との比較*	—	98%	99%	87%	98%

※2017年の数値を100%とした比較

(2) 合板 (全国)

- 2021年1～10月の原木の入荷量は4,272千 m^3 (2017年比112%)。在庫量は低い水準で維持している。
- 同様に合板の出荷量は2,705千 m^3 (2017年比102%)、コロナ禍前の水準となっている。在庫量は昨年5月から減少傾向。

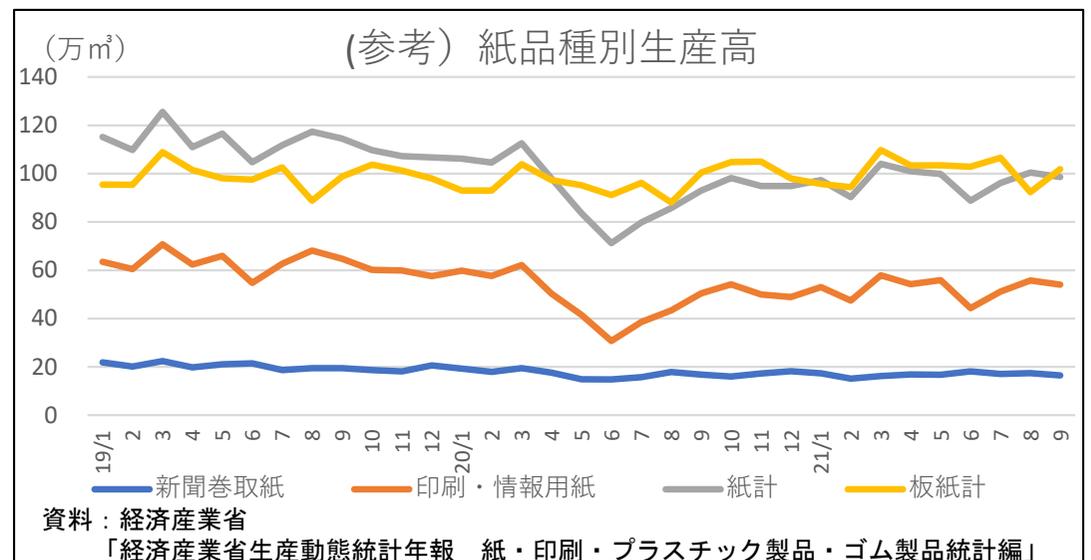
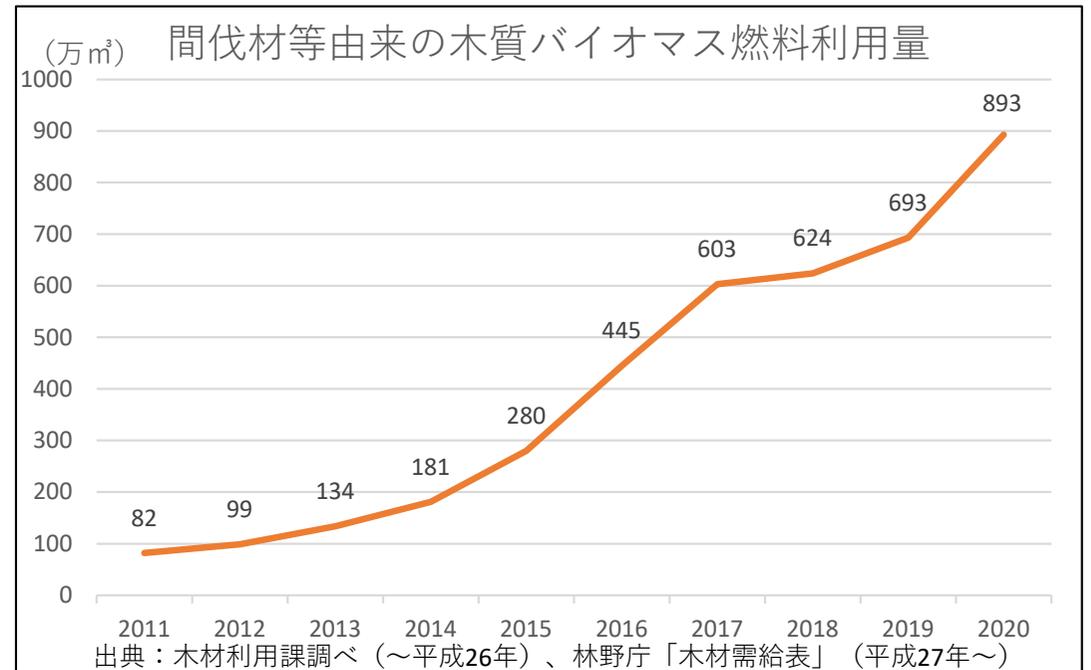
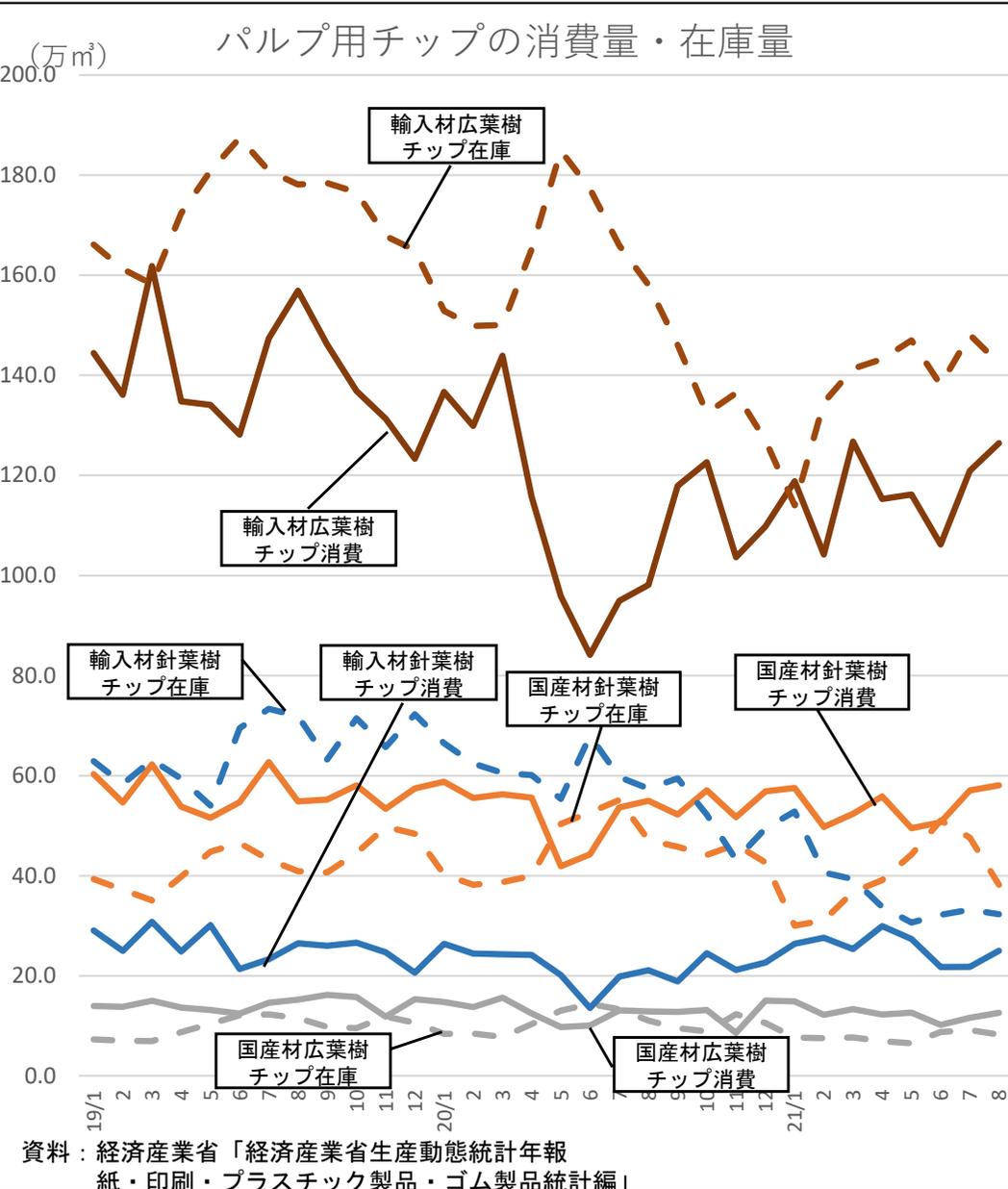


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～10月原木入荷量合計(千 m^3)	3,827	4,113	4,285	3,753	4,272
2017年との比較*	—	107%	112%	98%	112%
1～10月出荷量合計(千 m^3)	2,657	2,625	2,798	2,473	2,705
2017年との比較*	—	99%	105%	93%	102%

※2017年の数値を100%とした比較

(3) チップ (全国)

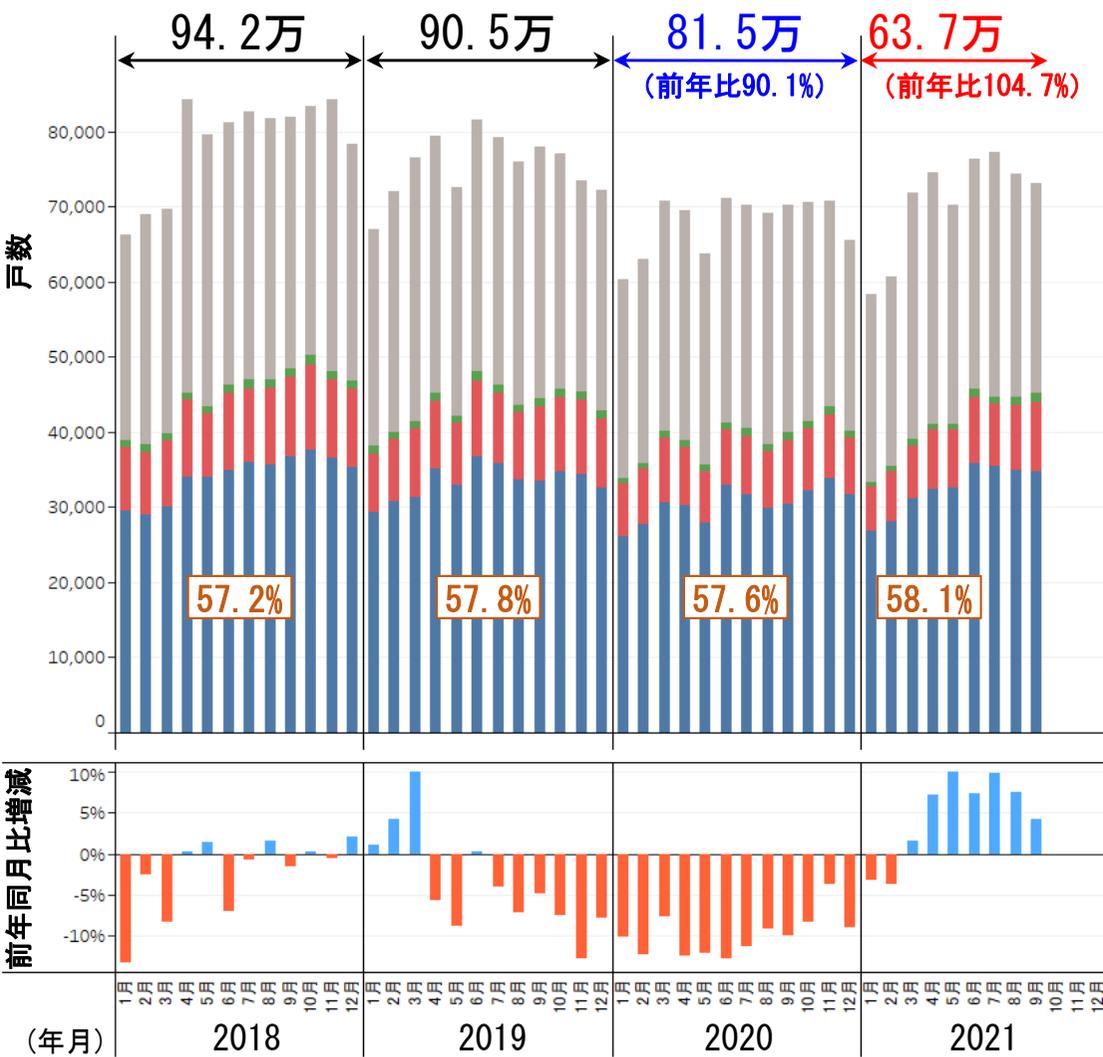
- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。
- 木質バイオマス発電向け燃料は、一貫して増加傾向が続いている。



3 住宅着工戸数の動向 (1) 全国の住宅着工戸数 (2018年1月～2021年9月)

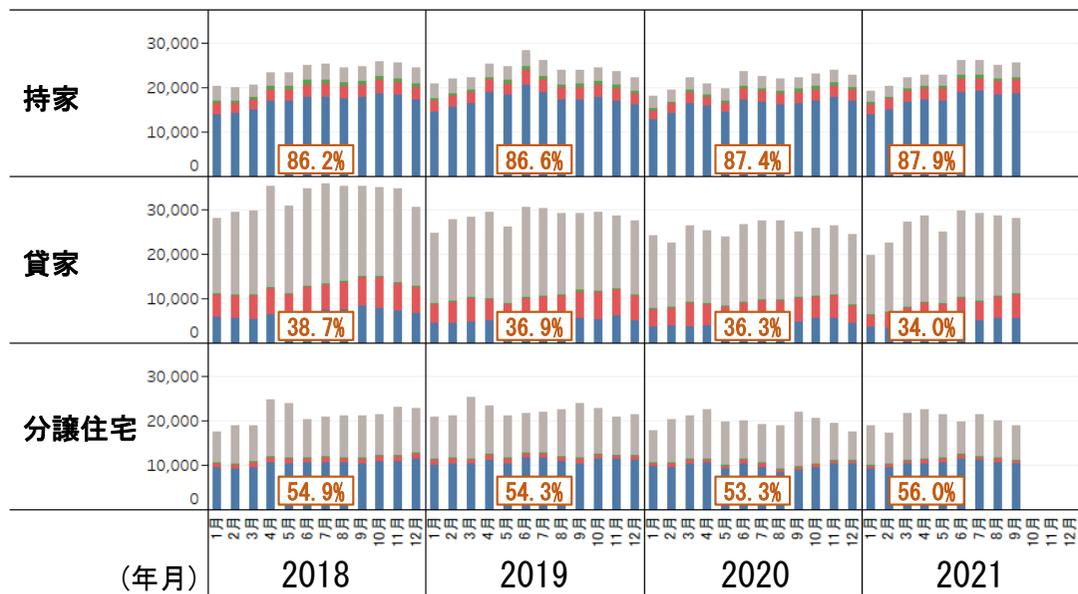
- 2020年の新設住宅着工戸数は、81.5万戸（前年比90.1%）、このうち木造住宅は46.9万戸（同89.7%）。
- 2021年1～9月の新設住宅着工戸数は、63.7万戸（前年比104.7%）、このうち木造住宅は37.0万戸（同107.5%）。
- 2020年は緊急事態宣言の発令により、住宅展示場の来場者数が落ち込むなど大手・注文住宅の受注機会が大幅に減少したが、郊外の戸建住宅に需要が高まるなど全体としてはリーマンショック時ほどの落ち込み※は見られなかった。
（※2009年の新設住宅着工戸数は前年比72%となった。）

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2021年 1～9月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	636,673	608,214	104.7%	682,303	93.3%
■非木造	266,483	263,936	101.0%	292,849	91.0%
木造	370,190	344,278	107.5%	389,454	95.1%
■木造プレハブ	7,641	8,010	95.4%	9,019	84.7%
■2×4	70,312	68,636	102.4%	80,742	87.1%
■在来軸組	292,237	267,632	109.2%	299,693	97.5%
□木造率	58.1%	56.6%		57.1%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



令和 3 年度各森林管理局の国有林材供給調整検討委員会の
検討結果と対応状況

各局の供給調整検討委員会結果

北海道森林管理局

1. 今年度の供給調整検討委員会の検討結果

委員会開催日	検討結果
令和3年6月23日	原木在庫は工場により差があるものの、旺盛な需要が見られる羽柄材に加え、梱包・パレット・栈木が回復してきたことにより、原木確保に苦慮している状況があるなど不足感は増している。国有林については需給状況を注視しつつ、可能な範囲で「立木販売の前倒し」、「生産した素材の可能な限りの早期販売」により市場に木材を供給する。
令和3年9月28日	民有林の供給が本格化しないなか、梱包・パレット・栈木・羽柄材で旺盛な需要があり、各工場の原木在庫が増加せず充足していない。国有林については旺盛な木材需要に対して安定的に原木を供給するとともに、各地域の需給状況に応じた対応が必要である。対応策として引き続き「立木販売の前倒し」「生産した素材の早期販売」を実施する。

2. 直近の供給調整検討委員会における主な意見

令和3年度第2回国有林材供給調整検討委員会(令和3年9月28日)

<p>【素材生産等】</p> <p>・本州ではウッドショックが騒がれているが北海道ではあまり影響がみられない。大半の事業者が生産量的に手一杯で増産は厳しいこともあり、立木販売の入札が減っているのではと感じている。生産・供給量を増やすためには現状では限界があり、生産体制や雇用対策・労働環境の改善なども必要ではないかと考えている。</p>
<p>【原木市場等】</p> <p>・トドマツ、エゾマツ、カラマツの原木消費量は新型コロナの影響から回復し在庫量は減少している。羽柄・栈木・梱包・ラミナの需要が旺盛で、秋以降の原木出材増に期待したいという声がある。現状においては原木不足の状況が続いている認識。</p>
<p>【製材工場等】</p> <p>・トドマツ製材について現在の原木在庫は1.5ヶ月分程度で安定して集荷している。需要が旺盛で生産量を増やしたいが難しい部分がある。人手や暑さによる原木の質の関係もあり原木消費量が去年と変わっておらず製品の出がよくない。しばらくこのような状況が続くと思われる。供給については引き続き増やして欲しい。</p> <p>・各製材工場で梱包材と一般製材の注文が多く捌き切れていない。事業者のなかには原木在庫が1ヶ月を切ったところもある。素材生産事業者が請負に入ったため原木確保に不安感を抱いている。梱包・パレット・プレカット関係でトドマツの使用が進み、公売等の価格も上がっている。本州からラミナの引き合いが強くなり高値での取引もある。カラマツについては製材工場の手持ちはかなり少ない。輸入製材については入荷価格がピークになり、2~3月まではピークのものが入荷する見込み。移出入材は昨年の受け入れ制限から完全に回復した。</p> <p>・バイオマス発電の原料は林地枝条チップ等の活用により現在潤沢で年内はこのような状況が続くと思われる。パルプ材の流通がやや減少している要因に、中国等への輸出用低質材利用が旺盛になりパルプ材が一般材に格上げ使用されていることも考えられる。道内工場のパルプ生産撤退による広葉樹材消費の行方や、製材工場の停止による丸太運送状況に変化が出てくるのではと考えている。</p>

3. 地域における最近の動向

<p>・合板用等の原木不足により本州への移出が一昨年並みに回復しているほか、道内でも産業用資材・羽柄材・ラミナ等旺盛な需要が継続している。</p> <p>・民有林では秋期まで利用間伐が主体で、主伐が本格化するのとは冬期間となる見込みであり、入荷した原木量が消費量を上回らない状況が続いている。</p>
--

各局の供給調整検討委員会結果

東北森林管理局

1. 今年度の供給調整検討委員会の検討結果

委員会開催日	検討結果
令和3年6月10日	外材の不足及び高騰による国産材への代替需要により、管内の原木及び製品に不足感があり、価格も強含んでいる。今後も当面はこの状況が続くと予想されるが、地域や業界によって温度差がみられ、先行きの不透明感は強い状況となっている。以上を踏まえ、 <u>安定した原木供給を行いつつも、引き続き原木供給と製材品の需要動向を注視し、原木の供給と調整を機動的に発揮できる体制を継続する。</u>
令和3年9月16日	製材品等に対する需要は旺盛であり価格も高止まりしている。このため、原木の引き合いは強く、価格も強含んでおり、原木不足が継続し、各製材工場等の在庫量は減少傾向にある一方で、人材不足等ことから供給側は増産が困難な状況にある。この状況がしばらく続くと思われることから、 <u>素材生産事業については着実に事業を実施し、市場へ安定かつ早期の原木供給を行う。</u>

2. 直近の供給調整検討委員会における主な意見

令和3年度第2回国有林材供給調整検討委員会(令和3年9月16日)

<p>【素材生産等】</p> <ul style="list-style-type: none">・国有林材の早期販売の取り組みや、立木販売の前倒しによる木材の早期供給の取り組みは買受者や需要者から木材不足への対応として好評であった。原木の安定確保が何よりも重要なことから、より一層早期販売の取り組みを続けてほしい。
<p>【原木市場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・中国への原木輸出はやや鈍化傾向が続いている。また、アメリカ向けの製材品輸出に関しては、北米での木材価格の下落等から先行きが不透明となりつつある。
<p>【製材工場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・各工場の原木在庫は減少しており、原木の引き合いが強く、いくつかの大型工場で受入価格を引き上げる動きも見られる等、製品ほどの上昇は無いものの、原木価格も高止まりしている。・製品需要は一部落ち着きを見せ始めているものの引き合いが強い状況が続いており、価格も高止まりしている。製材工場、合板工場ともすでにフル稼働を続けており、これ以上の増産が難しいこともあり、引き合いが強く、価格も高い状況がまだしばらく続くものと思われる。・川下では品不足に対して代替品の活用による対応が見られるが、価格の高騰に対しては一部でついていけず、受注を控えるなどの動きも出始めている。

3. 地域における最近の動向

<ul style="list-style-type: none">・秋需を迎えたこともあり、製材品・原木とも引き合いは強く、全般に価格も高止まりしている。製材用・合板用ともに原木の不足感は続いている。また、虫害の心配もなくなり、例年原木価格が強含む時期でもあることから、原木の値上がり傾向はしばらく続くと思われる。・スギは、合板需要は、堅調な一方で製品在庫が非常に少ない状況が続いており、不足感が強く、製品価格も強含んでいる。原木在庫の余裕もなく、スギ合板材の引き合いは全般に強く、価格も強含んでいる。・カラマツは、外材の代替需要もあり、合板用、製材用とも強い引き合いが続いており、価格も強含んでいる。・広葉樹一般材は、まだ出荷量が少ない中で、特にナラの引き合いは強い。・低質材は、バイオマス用の需要は安定している。製紙用は昨年よりも需要はあるものの、引き合いは全般に弱い状況が続いている。
--

各局の供給調整検討委員会結果

関東森林管理局

1. 今年度の供給調整検討委員会の検討結果

委員会開催日	検討結果
令和3年5月31日 (臨時開催)	原木不足の緩和に向けた取組が必要であり、立木販売の公売を前倒し実施することは妥当である。なお、地域の状況を踏まえた確な供給に取り組むため、引き続き関係業界等からの情報収集を行う。
令和3年6月29日	原木不足の緩和に向けた取組として、立木販売の公売時期の前倒しを実施するとともに、素材生産請負事業については計画どおり着実に事業を実施し、木材の安定供給を図り、今後も地域の状況を踏まえた確な供給に取り組むため、引き続き関係業界等からの情報収集を行う。
令和3年9月14日	前倒し販売が可能な物件の公売時期の前倒しを含めた立木販売の計画的実施や、素材生産請負事業の計画的かつ着実な実施による原木の確な供給により、木材の安定供給を図る。引き続き関係業界等からの情報収集を行い、大きな動きがあれば臨時の供給調整検討委員会の開催に対応する。

2. 直近の供給調整検討委員会における主な意見

令和3年度第2回国有林材供給調整検討委員会(令和3年9月14日)

<p>【素材生産等】</p> <ul style="list-style-type: none">・皆伐による出材増加に伴い再造林作業が生じる。民有林所有者は再造林費のコストが高く経費がかかり増しになるため、あまり積極的に皆伐施業しない。そのため、森林整備事業による間伐材を主として搬出している状況である。 <p>【原木市場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・お盆から続く長雨で現場作業が進まず、虫害も目立っている。原木は7月に少し値を下げたが、8月に入り品不足もあったことで値が戻り、横ばい推移となっている。 <p>【製材工場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・原木の荷動きは活発で、需要量に対して供給量が追い付かない状態が続いている、特に桧4m土台用原木は入荷量が少なく逼迫している。また、合板材用原木も荷動きがよく、唐松材が品薄状態になっている。・製材用原木の月別入荷量は増加し、最近のピークに近い水準であり、増産余地は少なくなっていると推察される。製材品の出荷量も同様の動きになっている。短中期的には価格の高い状況が続く想定であるが、コロナの感染拡大が沈静化すれば概ね以前の状態に戻ると考えている。・欧州材価格が下げに向わなければ国産材も現状維持であると考えている。住宅メーカーの一部で間柱や野縁にLVLを使い始めており、輸入LVLにはハコヤナギやアカシアが使われているが、ノンJAS品のため強度や耐久性に不安がある。また、接着剤もどんな物が使われているかわからない。
--

3. 地域における最近の動向

<ul style="list-style-type: none">・スギ・ヒノキ材の価格は高止まり傾向にある。特に静岡県ではヒノキの価格上昇が顕著となっている。・出材は9月以降順調に伸び本格化している。・今後の需要動向がどのように推移するかは業界でも意見が分かれている。
--

各局の供給調整検討委員会結果

中部森林管理局

1. 今年度の供給調整検討委員会の検討結果

委員会開催日	検討結果
令和3年6月10日	引き続き本年度の製品生産事業の早期発注並びに市場への木材供給を確実にし、国有林材の安定かつ計画的な供給、より需要に対応した供給に取り組むべきである。さらに、今後の国産材の安定供給体制の強化に資するべく、国有林のネットワークを活用して管内の木材の需給状況に関する情報を引き続き積極的に収集し、必要な情報を広く民有林関係者に発信していくことも重要である。
令和3年9月28日	引き続き国有林材の安定的かつ計画的な供給に取り組む必要があることから、特に大雨による供給への影響を最小限とするため、一刻も早い林道等の復旧等に努め、とりわけ生産事業の継続に最大限努力することが重要である。また、国有林のネットワークを活用した情報収集と関係者間での情報共有を継続し、国有林材の供給に当たっては、市場やユーザーの要請に的確に応えながら取り組むべきである。

2. 直近の供給調整検討委員会における主な意見

令和3年度第2回国有林材供給調整検討委員会(令和3年9月28日)

<p>【素材生産等】</p> <ul style="list-style-type: none">・若い人のモチベーションを上げて持続可能な森林経営を行うことが一番重要な課題。一人当たりの生産性は機械化等により上がってきているが、それだけでは限界がある。労働者の賃金等、雇用条件を改善しないと今後の林業は厳しくなる。・製材需要に対し山側が対応しきれていない。県として皆伐事業地の支援に取り組んでいるが生産量は昨年並みであり、事業者と一体となって経営計画の取り纏め等を行い、いつでも伐れる事業地の確保に取り組んでいるところ。・ヒノキ丸太では昭和54年の5万円/m³が過去最高となっている。山側が成り立つには今よりも平均価格が上がらないと厳しい。今後は間伐量の引き上げや皆伐へのシフト、架線系の技術継承や導入への補助も必要。丸太はA～D材と多品種に供給が必要なことから川上～川下の連携が重要。
<p>【原木市場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ヒノキの価格は並材で素材・製品ともに倍になっているが、売れているのは並材だけで良材の需要がない。山側からするとトータル的には上昇していない。山全体としての価格を考えないといけない。国有林が調整をしすぎると民有林が圧迫されるため国有林の増産については慎重に検討する必要がある。
<p>【製材工場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・今の丸太価格は市場の製品価格に見合った価格による上昇であり問題はなく、むしろ価格が高いからといって生産調整により量を絞り込む方が問題。利益が出た分を山側の人材不足等へ手当することが必要。

3. 地域における最近の動向

<ul style="list-style-type: none">・管内においては原木価格の高止まりや原木不足の状況は依然として続いている。特に、スギ・ヒノキ・カラマツの引き合いは活発。国有林材に関しては、8月の大雨災害の復旧作業も徐々に進んでいるが、生産量の減少が免れない箇所も出てきている。・また、川下においては、柱や土台などの構造材や合板用原木、杭用丸太などを中心に不足感が強く、川上への出材要望が続いている。引き続き輸入材製品の供給見通しが不透明な状況ではあるが、本格的に需要期となっていることも相まって、しばらくは現状の国産材需要がこのまま推移するとの見方が強くなっている。
--

各局の供給調整検討委員会結果

近畿中国森林管理局

1. 今年度の供給調整検討委員会の検討結果

委員会開催日	検討結果
令和3年6月10日	多くの地域で原木が不足しているとの声が聞かれ、品薄感から価格も全般的に値上がりしており、当面は、需要増に供給が追いつかない状況は続くとの見方が強く、川下側からの国産材への期待が高まっている。以上のことから、 <u>地域の木材需要の動向、民有林材の供給状況、木材の輸出入状況等について情報収集を行いながら、原木が不足する地域において、今年度当初予算に係る素材生産事業の早期発注を行うとともに、本年度計画している立木販売物件で可能なものは前倒し販売を実施する。</u>
令和3年9月30日	原木価格は落ち着いたとの見方があるものの、製材工場の製品供給には余力がなく、資材不足や原材料不足からプレカットや合板では受注制限を行っているメーカーもあり、不透明な状況は当面も続くとの見方が強い。以上のことから、 <u>地域の木材需要の動向、民有林材の供給状況、木材の輸出入状況等について情報収集を行いながら、引き続き、国有林からの素材並びに立木の供給・販売に努める。</u>

2. 直近の供給調整検討委員会における主な意見

令和3年度第2回国有林材供給調整検討委員会(令和3年9月30日)

<p>【素材生産等】</p> <ul style="list-style-type: none">・市況が高値で維持されていることから、森林所有者の施業意識も高まっており、秋以降の出材及び、采香にかけての寒伐り材の増加が期待できるが、近畿地区は、民有林の集約化や、林道作業道の整理が進んでいないこと、慢性的な素材生産の担い手不足、トラック物流の不足等々から、この課題を解決していかなければ大きな増産は期待できない。 <p>【原木市場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・原木不足と言われる要因は、今までの旺盛な製品需要により、生材であっても引き合いが強かったが、現在はその流れが元に戻りつつあり、品質が選別されるようになってきた。ただし、その中でも品不足の物は、依然引き合いが強い。・和歌山県内原木市場の状況は、8月の平均価格が前年同月比、スギ・ヒノキともm当たり約 2,000 円から 4,000 円程度上昇。出材量は、前年同月比約2割程度増加。例年であれば、梅雨時期になると価格が下がるが、今年は徐々に上がっている状況。岡山県内の市では、高止まりをしている状況だが、ややピークが過ぎたという見方もあり、相場に落ち着きが見られる。 <p>【製材工場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・合板工場では、原木調達ができておらず、入荷遅れとなっている。この状況は来年も続くと思われる。・和歌山県内の製材工場では、原木不足ではあるものの、通常取引分はなんとか対応できているが、新規の注文について慎重な姿勢をとっている。

3. 地域における最近の動向

<ul style="list-style-type: none">・北陸京滋ブロック(石川、福井、滋賀、京都、大阪):スギ、ヒノキともに価格は保合。ヒノキは高値を維持している。・紀伊ブロック(三重、奈良、和歌山):価格は、スギ、ヒノキともに並材が強保合となっている。・瀬戸内ブロック(兵庫、岡山、広島、山口):価格はスギ、ヒノキともに供給量が増えたことから下げ基調となっている。・山陰ブロック(鳥取、島根):価格は、全体的に保合となっている。

各局の供給調整検討委員会結果

四国森林管理局

1. 今年度の供給調整検討委員会の検討結果

委員会開催日	検討結果
令和3年6月16日	丸太価格の上昇傾向が続くと見込まれるが、今後は、国有林材の出材が本格化することなどを含め全体的な出材量は増加するとの意見があることから、需給バランスを見極めながら対応することが重要。こういった状況を踏まえ、 <u>素材生産請負事業の早期発注の実施等に加え、今後については需給の状況に応じて立木販売の前倒し等を検討していく。</u>
令和3年9月28日	原木価格は高値安定で推移しており、年内はこの状況が続くとの見方が大方の意見であり、需給バランスを見極めながら対応することが重要である。こういった状況を踏まえ、今後については需給の状況に応じて立木販売の公告前倒し等を含めて、対応できうる立木販売の実施を検討していく。

2. 直近の供給調整検討委員会における主な意見

令和3年度第2回国有林材供給調整検討委員会(令和3年9月28日)

【素材生産等】

・第一四半期の高知県内生産状況は前年同月比の108%程度、8月の長雨の影響により一時的に生産量が落ち込んだ事業者が多い。急な増産要請に対応できる事業者は少ない。先行きでは、令和2年度並み又は1割程度増しの生産量を見込む事業者が多い。

【原木市場等】

・原木丸太は令和2年度(9月)に比べると数量は減。単価は引き続き高騰中、特にヒノキは高値。先行き不透明だが、年内は価格維持と予想される。

【製材工場等】

・原木の調達に苦勞。乾燥機不足がボトルネック。需要は旺盛だが、生産が追いつかず注文を断っている事業者もある。製品価格は高止まりしている。輸入材は、年内はこの状態が続くと意見があるが、高値がいつまで続くのかは予測困難。国産材は、年内は横這いまたはピークは過ぎたという意見がある。

・原木在庫量が少しずつ減っている。工場の生産量は例年並み。ヒノキ原木価格は過熱気味なので、出材量が増えてくれば少し落ち着くとみている。値上げが遅れていた取引業者にも通って横並びになり、製品価格は高値で安定している。製品在庫はほぼゼロなので、販売は生産量に左右される。平年の出荷実績に合わせて受注制限をしている。輸入材の代替で、輸入材の価格が下がれば合わせて下がる。年末頃だと予想している。

3. 地域における最近の動向

・外材の大幅な入荷減少による国産材への代替需要が継続しており、スギ・ヒノキ製材品の動きは堅調で、丸太の引き合いは強く好調を維持している。

・丸太価格は、スギ・ヒノキともに好調を維持し、高値状態を継続している。

・原木市場の状況について

【徳島】スギ、ヒノキとも横這いとなっている。

【愛媛】天候がよく原木出荷量が増加となったが、スギ・ヒノキ全体に弱含みで推移した。

【高知】天候がよく原木出荷量も徐々に安定することを見越して一時期の高騰は落ち着きをみせているが、依然として高値で推移している。

各局の供給調整検討委員会結果

九州森林管理局

1. 今年度の供給調整検討委員会の検討結果

委員会開催日	検討結果
令和3年5月31日	素材生産の早期発注及び立木販売の計画的早期販売などの国有林の取組に対する市場の反応を含め、民有林における出材状況、原木価格の動向、工場等の原木仕入れ状況、木材製品価格の動向などの状況をみつつ、今後の供給調整を検討すべきである。
令和3年9月28日	素材生産の早期発注及び立木販売の計画的早期販売などの国有林の取組を継続しつつ、民有林の出材状況、原木価格の動向、工場等の原木仕入れ状況、木材製品価格の動向などの状況を踏まえ、機動的な供給調整を実施できる体制を維持すべきである。

2. 直近の供給調整検討委員会における主な意見

令和3年度第2回国有林材供給調整検討委員会(令和3年9月28日)

<p>【素材生産業】</p> <ul style="list-style-type: none">・山林事業においては立木公売が行われる中で業者間では確保できているが手持ち在庫という点では増えていない模様。また、各現場とも奥山化してきており場所が悪くなってきている。出材効率のよい場所を探しているが、要望として国有林からの立木販売も出材効率の良い場所を提供してもらいたい。
<p>【原木市場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・原木価格は4～5月で急激に上がり恐らく全国で一番に宮崎県都城が2万円を付け、それから千円ほど下がったが現在はまた戻り大体2万円で推移している。
<p>【製材工場等】</p> <ul style="list-style-type: none">・メーカーの在庫というのは近年まれに見るほど減っており流通在庫となっている。この秋需で流通在庫はあつという間になくなっていくのではないかと懸念される。製材工場の受注は多いが原木不足というより人手不足、残業等の問題で増産がしづらい状況にある。しかしこれは悪いことばかりではなく、需給バランスがそのおかげで引き締まっているという現象が起こっている。・合板業界の生産量は今年の7月においては27万7千m³であり、2019年の年間平均生産量27万5千m³と比較して差はないが、合板への需要は旺盛で国産材原材料があればもっと生産できており28万m³を超えていたと思われる。・輸出用の低質材を高く買われる方は12,000円で買って輸出へ持っていつている。鹿児島県内にもバイオマス発電所並びにチップ工場もたくさんあるが、低質材を輸出向けで買って中国向けに輸出されているものだから、地元チップ材が入ってこず手当できない状況もある。

3. 地域における最近の動向

<ul style="list-style-type: none">・いわゆるウッドショックによる代替需要については、9月期と同様にKD柱、KD土台にしか応札(注文)がない状況になってきており、グリーン材製品、垂木、羽柄材などの小割品については、ほぼ売れ残りの状況になってきている。このような製材品の需要動向により原木価格もスギ、ヒノキともに3m柱適材、4m土台材の価格は持ち直しとなったが、その他の区分材は保合から下げ傾向になっている。・8月中旬の大雨により九州各県の供給量の減少が心配されたが、その後の天候が良いことなどから市場に影響を及ぼすような供給減とはならず、9月に入ってから順調に供給されている。各原木市場等においては、安定した原木が確保されており、このことも、原木価格の落ち着きをみせている要因であると思われる。
--

各森林管理局における供給調整の現状（令和3年10月31日時点）

各森林管理局において、地域の木材需給の動向について情報収集を行いながら、各局の国有林材供給調整検討委員会での検討結果等も踏まえ、以下の対策を実施

立木販売の前倒し

- ・今年度計画している立木販売物件を前倒して販売（北海道、東北、関東、近中、九州）
- 10月末時点の立木販売実績は2,643千 m^3 で、対R1年度同期比127%

国有林における立木販売の実績量

	R1年度	R3年度	R3/R1率
各森林管理局 合計	2,090千 m^3	2,643千 m^3	127%

※ 立木販売量は、分収造林及び分収育林を含む

丸太の早期販売

- ・昨年度中に生産し積雪等のため運搬できず山土場に集積していた丸太（約27万 m^3 ）の早急な販売（北海道、東北、関東、中部、四国、九州）
- ・素材生産事業の年度当初での早期発注に取り組み、6月末で年間生産予定数量の約9割を契約済み（全局）
- ・発注済みの素材生産事業現場における生産完了検査（検知）の頻度を上げ、生産された丸太を早期販売（東北）

これらの取組により、6月末時点の丸太販売実績は約51万 m^3 、当月末計画に対する進捗率は163%
10月末時点の丸太販売実績は173万 m^3 で、R1年度同期比約19万 m^3 増

国有林における丸太販売の実績

	4月	5月	6月	4月～6月計	対同期計画比	7月	8月	9月	4月～9月計	対同期計画比	10月	4月～10月計	対同期計画比
各森林管理局 合計	230千 m^3	115千 m^3	169千 m^3	515千 m^3	163%	226千 m^3	258千 m^3	322千 m^3	1,321千 m^3	107%	409千 m^3	1730千 m^3	105%

参考資料 1

令和3年度補正予算について

木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策＜一部公共＞【令和3年度補正予算額 49,482,001千円】 【令和3年度補正予算額（デジタル庁計上） 22,000千円】

＜対策のポイント＞

木材製品の国際競争力の強化や新たな農林水産物の輸出目標の達成に向け、**加工施設の大規模化・高効率化**等を支援します。また、これらの加工施設へ原木を低コストで安定的に供給するとともに、**森林資源の安定確保や森林吸収源対策の取組の加速化**を図るため、**路網整備、高性能林業機械の導入、搬出間伐、再造林、エリートツリー等の苗木の生産施設整備**等の取組を支援します。加えて、**木材製品の消費拡大や新技術の実証**とともに、木材製品等の**輸出拡大に向けた取組**等を支援します。さらに、**今般の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）**への緊急的な対応に資する取組を支援します。

＜政策目標＞

- 国産材の供給・利用量の増加（31百万m³ [令和元年度] →42百万m³ [令和12年度まで]）

＜事業の内容＞

1. 木材産業国際競争力強化対策 等＜一部公共＞ 44,202,076千円

①木材産業の輸出促進・体質強化対策

木材製品の国際競争力の強化や輸出拡大に向けた**加工施設の大規模化・高効率化、他品目転換、高付加価値化**等を支援します。加えて、いわゆる**ウッドショック**への緊急的な対応として、**ボトルネック**となっている**乾燥施設の能力向上**等の施設整備を支援します。

②原木の低コスト安定供給対策 等＜一部公共＞

大径材を含む原木を加工施設へ**低コスト・安定的**に供給するとともに、森林資源の**安定確保**や**森林吸収源対策**の取組の加速化を図るため、**路網整備、高性能林業機械の導入、搬出間伐、再造林、エリートツリー等の苗木の生産施設整備**等を支援します。

2. 木材製品等の輸出支援対策 等 499,925千円

輸出も含めた販売力強化のための人材育成、輸出先国のニーズ・規格等に対応した製品開発や性能検査・実証、輸出先国への重点プロモーション活動等を支援します。このほか、国内における**グリーンウッド法に基づく合法性確認の定着実態調査**や流通木材の**合法性確認システムの構築**に向けた調査等を実施します。

3. 木材製品の消費拡大対策 等 4,802,000千円

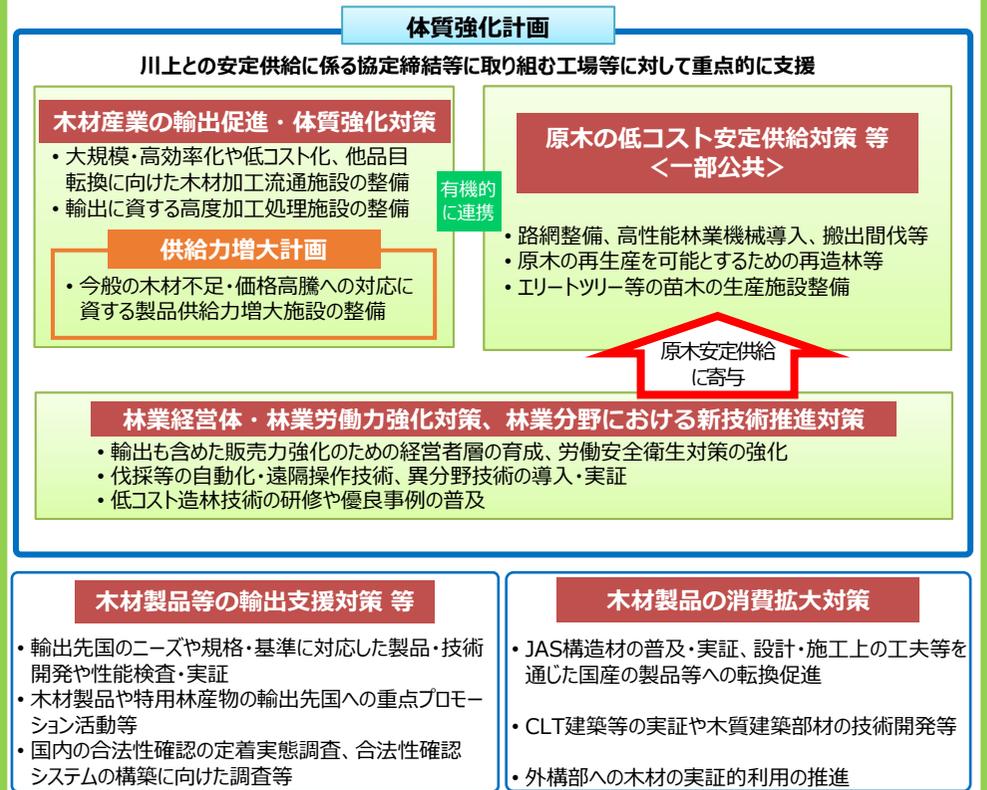
非住宅分野等の外構部も含めた**木造化・木質化**等を推進するとともに、いわゆる**ウッドショック**への緊急的な対応として、**国産の製品等への転換促進**を支援します。**伐採等の自動化・遠隔操作技術、異分野技術の導入・実証**等を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策



【お問い合わせ先】 林野庁計画課（03-6744-2300）

木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策のうち 木材産業国際競争力強化対策事業

【令和3年度補正予算額 16,702,076千円】

<対策のポイント>

林業・木材産業等関係者の参画により都道府県が作成する「体質強化計画」に基づき、林業・木材産業の生産・流通・加工コストの一体的な削減に向けた生産性向上や競争力のある製品生産への転換等の取組を支援します。

加えて、今般の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応に資する取組を支援します。

<事業の内容>

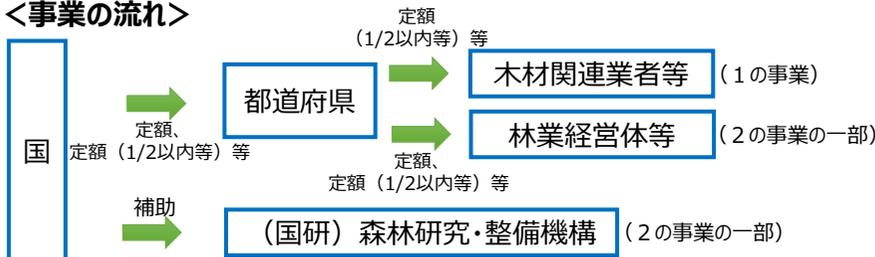
1. 木材産業の輸出促進・体質強化対策

- 木材製品の国際競争力の強化や輸出拡大に向けた加工施設の大規模化・高効率化、他品目転換、高付加価値化等を支援します。
- 今般の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）へ緊急に対応するため、製品供給のボトルネックとなっている乾燥施設の能力向上等の施設整備を支援します。

2. 原木の低コスト安定供給対策

- 原木を低コストで安定的に供給するため路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入や間伐材生産等に対し支援します。
- 森林資源の安定確保に資するエリートツリー等の苗木の生産施設整備を支援します。

<事業の流れ>



※国有林においては、直轄で実施

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

- | | | |
|------------------------|----------|----------------|
| (1の事業について) | 林野庁木材産業課 | (03-6744-2290) |
| (2のうち、路網整備、間伐材生産等について) | 林野庁整備課 | (03-6744-2303) |
| (2のうち、高性能林業機械について) | 林野庁経営課 | (03-3502-8055) |

参考資料 2

林産物に関するマンスリーレポート
(モクレポ)

モクレポ



<あわくら会館※令和3年度木材利用優良施設コンクール内閣総理大臣賞>
撮影：ヴィブラフォト／浅田美浩

令和3年11月

No.2

特集

- 木材利用優良施設コンクール受賞施設決定
- 林業従事者と異分野人材からなるチームによる
ビジネスコンテスト
- 「地球温暖化対策計画」閣議決定
- 熱帯木材貿易の動向

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和3年11月号

特集	1 木材利用優良施設コンクール受賞施設決定	特集1
	2 林業従事者と異分野人材からなるチームによるビジネスコンテスト	特集2
	3 「地球温暖化対策計画」閣議決定	特集3
	4 熱帯木材貿易の動向	特集4
01 基礎的指標	1 新設住宅着工戸数 <参考>新設住宅着工床面積、非居住用建築物着工床面積 ^{New}	基礎1
	2 木材産業の業況	基礎5
	3 USドル及びユーロ為替相場	基礎6
	4 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	基礎7
	5 EUにおける建設活動水準、中国の針葉樹丸太輸入量	基礎8
02 木材価格情報	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	価格1
	2 木材価格、製品価格 <参考>都道府県別データ	価格3
03 木材需給情報	1 需要量、供給量、自給率の動向	需給1
	2 地域の木材需給動向（各森林管理局からの報告） ^{New}	需給4
	3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	需給5
	4 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	需給6
	5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	需給7
	6 間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高	需給8
	7 素材生産量	需給9
	8 木材生産の産出額	需給10
04 林産物輸出入情報	1 林産物輸出額	輸出入1
	2 木材輸出額	輸出入2
	3 木材輸入額	輸出入3
	4 木材輸入量	輸出入4
	5 製材、構造用集成材の輸入平均単価	輸出入9
05 特用林産情報	1 特用林産物の国内生産量	特産1
	2 特用林産物の産出額	特産2
	3 特用林産物の輸出入量	特産3
	4 特用林産物の輸出額	特産4
	5 きのこと類の卸売量・価格	特産7
06 セミナー・イベント情報	11月中旬以降の開催情報	イベント1

- 木材を活用した優れた施設を顕彰する「木材利用優良施設コンクール」（主催：木材利用推進中央協議会）が行われ、令和3年度の受賞施設が10月に決定。
- 地域の川上から川下までの事業者が協働することで村産材率97%を実現した施設、7階建て木造ビルなど中高層建築物の木造化のモデルとなる施設、県産材のほか姉妹都市の木材を工夫して活用した施設などが受賞。

内閣総理大臣賞	あわくら会館	〔岡山県〕
農林水産大臣賞	高惣(たかそう)木エビル	〔宮城県〕
国土交通大臣賞	タクマビル新館(研修センター)	〔兵庫県〕
環境大臣賞	流山市立おおぐろの森小学校	〔千葉県〕

林野庁長官賞その他受賞施設については、次のURLをご覧ください。
http://www.jcatu.jp/commendation/13_list_detail.html?211020

内閣総理大臣賞「あわくら会館」



農林水産大臣賞「高惣木エビル」



国土交通大臣賞「タクマビル新館(研修センター)」



環境大臣賞「流山市立おおぐろの森小学校」



写真：(株)綾川澄・小林研二写真事務所

- ・ 林野庁では、異分野の人材の持つ技術・ノウハウを林業現場に導入し、新たなビジネスの創出を目指す取り組み、Sustainable Forest Action (SFA) を支援。
- ・ 林業人材と異分野人材をそれぞれ募集し、事務局によるマッチングを経た上でチームを結成。各チームが新規事業の企画・立案を実施。
- ・ 今回は、14チーム、42名が約2カ月間にわたって事業開発の検討を行い、10月23日(土)のコンテスト(デモデイ)で優勝チームを決定。

■ 主な入賞チーム及び事業内容

【優勝】

・マウンテンバイクコースとしての森林活用

森林内の作業道等を活用してマウンテンバイクのトレイルコースを開設し、サブスク(定額料金で一定期間の利用を可能とする)方式の会員を募集。掛川市森林組合と連携して事業開始。

チームメンバー:ヤマハ発動機(株)小倉幸太郎氏 ほか

【2位(2チーム)】

・智頭町C材の有効活用(クラフト材料としてのサブスク販売)

通常はバイオマス等にしか使われないC材について、木材クラフト材料として製作者(サブスク会員)に定期的に配送するサービス。

チームメンバー:ピーキューブ(株)後藤亮介氏 ほか

・検索回数に応じて森に道を作る検索サービス Molick

提携する検索サービスを、森林に対する問題意識を共有する者(個人、企業、行政機関)に使ってもらうことで、検索回数に応じた広告収入を得て、作業道の開設に充当するというビジネス。

チームメンバー:新潟大学農学部 渡邊匠海氏 ほか



コンテスト 会場風景



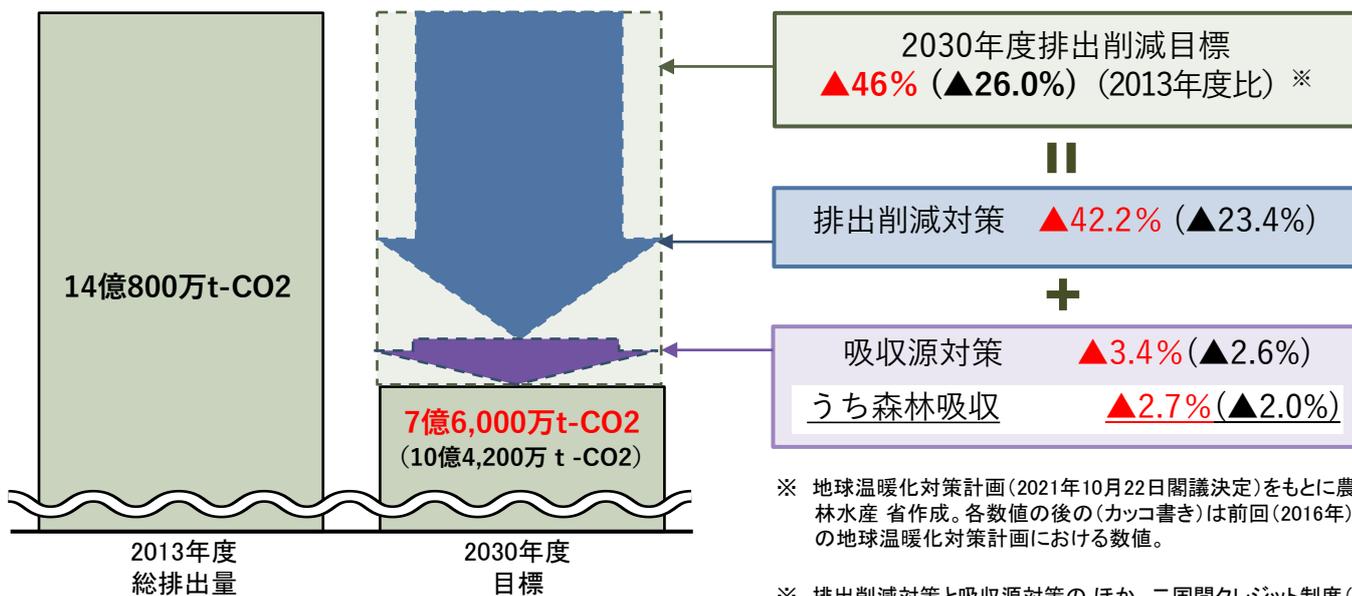
優勝チーム 発表風景

◎入賞の5チームには、林野庁事業である「森林づくりへの異分野技術導入・実証事業の補助事業」により、試作品開発やフィールド実証等に係る費用を支援。

詳細はこちら👉 <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000014.000056075.html>

- 2021年10月22日、地球温暖化対策計画が閣議決定。本計画は、2016年に閣議決定した前計画から5年ぶりの改訂であり、新たな温室効果ガスの削減目標（2013年度総排出量比46%削減）の裏付けとなる対策などを記載。
- このうち、森林吸収源については、2030年度に3,800万CO2トン（2013年度総排出量比2.7%）の目標を掲げており、「伐って、使って、植える」といった森林資源の循環利用の確立、木材利用の拡大など、総合的に取り組む。

■ 新たな温室効果ガス排出削減と森林吸収量の目標（2030年度）



※ 地球温暖化対策計画(2021年10月22日閣議決定)をもとに農林水産省作成。各数値の後の(カッコ書き)は前回(2016年)の地球温暖化対策計画における数値。

※ 排出削減対策と吸収源対策のほか、二国間クレジット制度(JCM)により、官民連携で2030年度までの累積で、1億t-CO₂程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。

■ 森林・林業・木材産業分野における取組

国土の約7割を占める森林は、大気中の二酸化炭素を吸収固定し、温室効果ガスの吸収源として地球温暖化の防止に貢献。

また、木材は、森林が吸収した炭素を長期的に貯蔵することに加え、製造時等のエネルギー消費が比較的少ないこと、エネルギー利用により化石燃料を代替することから、二酸化炭素の排出削減にも寄与。

森林吸収源対策

- 健全な森林の整備（間伐や再造林等）
- 保安林、自然公園等の適切な管理・保全等の推進
- 効率的かつ安定的な林業経営の育成
- 国民参加の森林づくり等の推進
- 木材及び木質バイオマス利用の推進



- 国際熱帯木材機関 (ITTO) は、本年 8 月に「世界の木材に関する隔年評価報告書」2019-2020年版を公表。9 月にはインドの木材需給に関する報告書を公表。
- 熱帯林からの丸太輸入量は、中国が7割を占める。これまで世界最大の合板輸入国であった我が国は、米国に次ぐ、第2位に後退。

【世界の木材に関する隔年評価報告書】

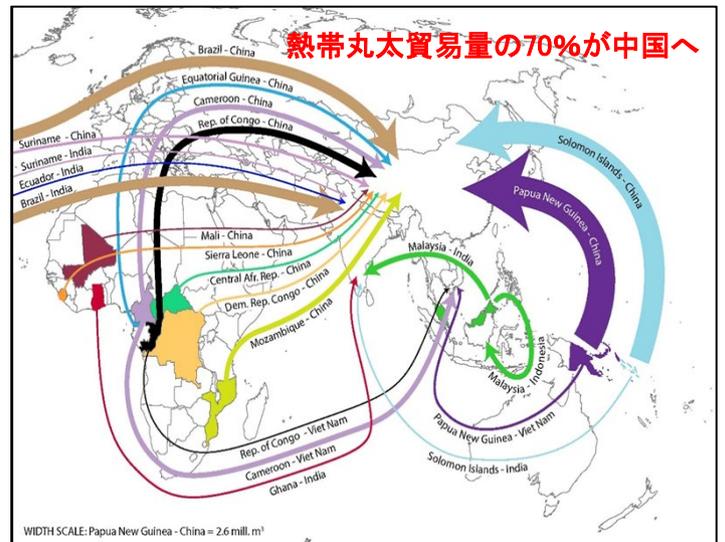
- 本報告書は、国際熱帯木材協定 (ITTA) 第28条に基づき、隔年で公表。特に、熱帯木材に焦点を当てて、世界の木材市場の動向を整理。
- 熱帯丸太と熱帯合板の貿易動向は、以下の通り。

(1) 熱帯丸太貿易の動向

- 2020年における世界の熱帯丸太生産量は3.3億m³(※全丸太の17%)。うち、インドネシア24%、インド15%、ベトナム11%。
- 世界の熱帯丸太輸入量は1,226万m³。最大の輸入国は中国(858万m³、世界シェア70%)。中国は、主にPNGとソロモン諸島から熱帯丸太を輸入。近年、アフリカからの輸入も増加。

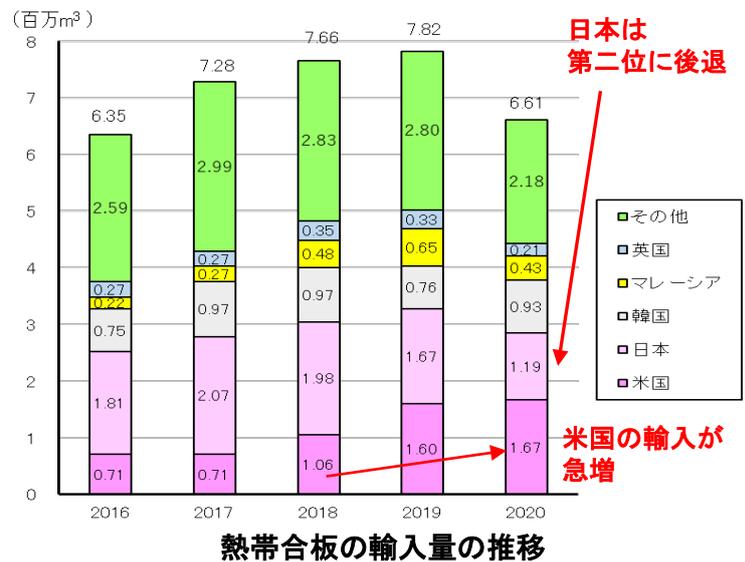
(2) 熱帯合板貿易の動向

- 2020年における世界の熱帯合板輸出量は、前年比15%減の664万m³。インドネシアが最大の輸出国で、世界全体の35%を占める。
- 同年における世界の熱帯合板輸入量は、前年比15%減の661万m³。米国では、コロナ禍以後の住宅需要急増により、輸入が急増。日本は、これまで世界最大の熱帯合板輸入国であったが、米国に抜かれて、第2位に後退。



資料: ITTO (2021) 「Biennial review and assessment of the world timber situation(世界の木材に関する隔年評価報告書) 2019-2020」

熱帯丸太の貿易(2020年)



日本は
第二位に後退

米国の輸入が
急増

熱帯合板の輸入量の推移

【インドの木材需給】

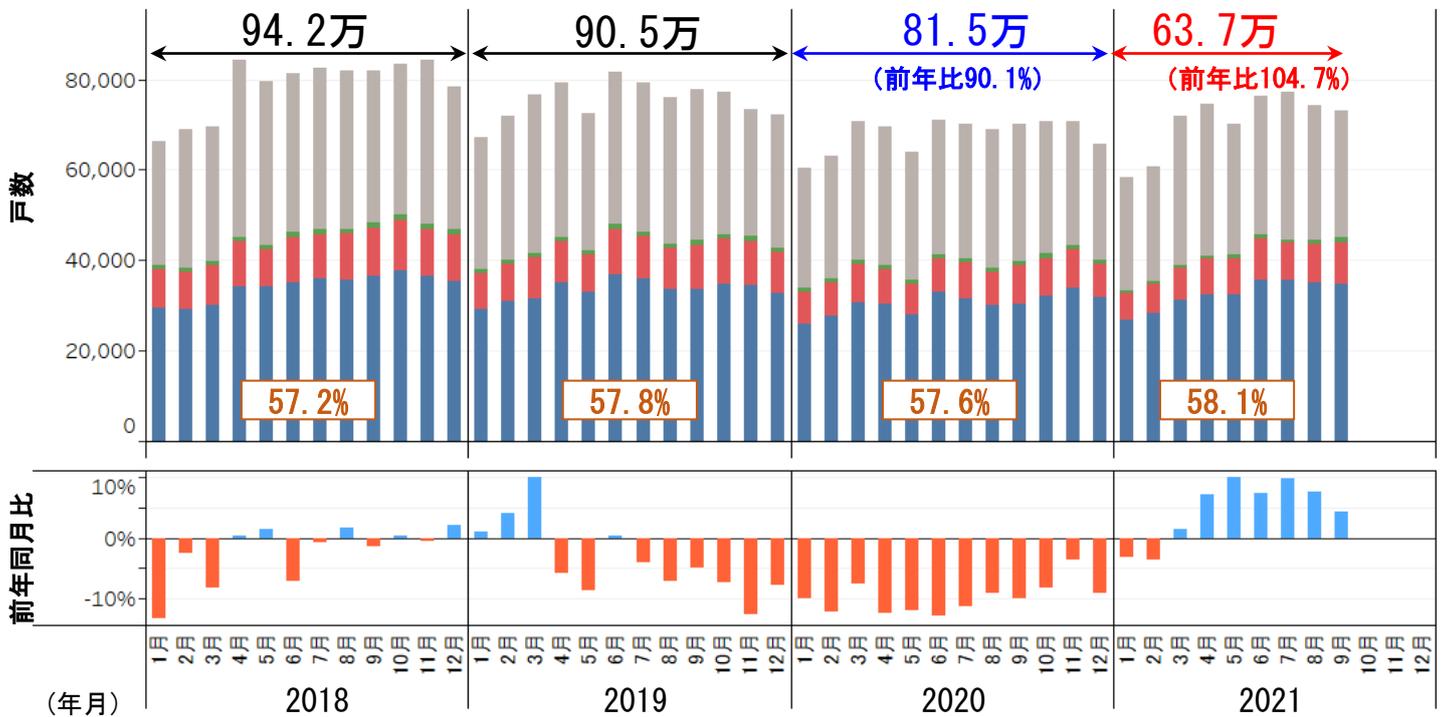
- ITTOは、本年 9 月に、「インドの木材需給2010-2030 (India Timber Supply and Demand 2010-2030)」と題する報告書を公表。
- インドの年間丸太生産量47百万m³のうち45百万m³は「森林外の樹木被覆」(注)から生産。インドの森林政策は、森林保全に焦点。(注:農地への植林や河川敷の樹林帯など、森林として法律上登録されていないが被覆率10%以上の土地)
- 2030年におけるインドの丸太需要量は、合板・パネル部門を中心に、2021年から64%増加すると予測。今後、木材輸入が急速に増加すると見込まれる。

ITTOについてはこちらをご覧ください。上記の2つの報告書の概要(日本語)なども掲載しています。

⇒ 林野庁HP ITTO <https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/itto.html>

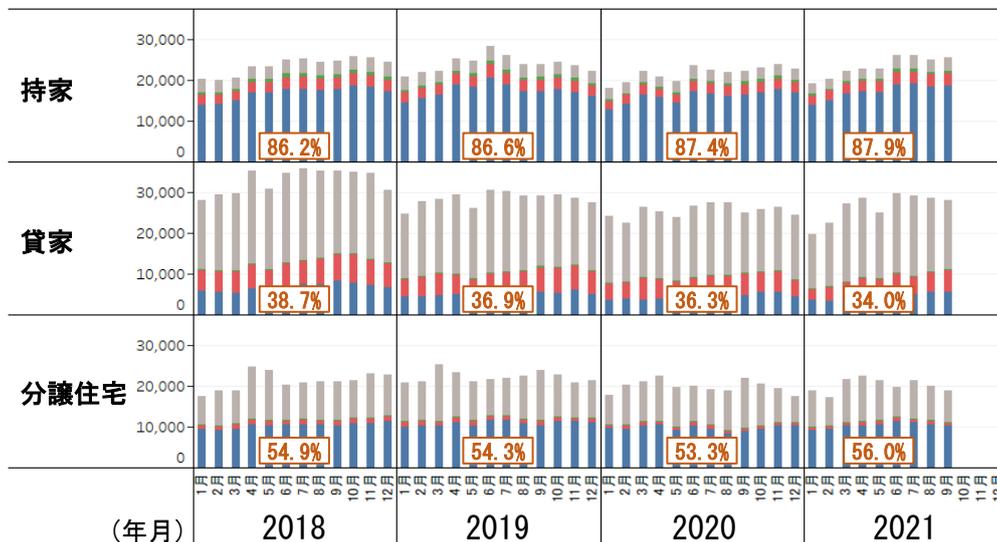
基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2020年の新設住宅着工戸数は、81.5万戸（前年比90.1%）、このうち木造住宅は46.9万戸（同89.7%）。
- 2021年1～9月の新設住宅着工戸数は、63.7万戸（前年比104.7%）、このうち木造住宅は37.0万戸（同107.5%）。



構造別の着工戸数	2021年 1～9月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	636,673	608,214	104.7%	682,303	93.3%
■非木造	266,483	263,936	101.0%	292,849	91.0%
木造	370,190	344,278	107.5%	389,454	95.1%
■木造プレハブ	7,641	8,010	95.4%	9,019	84.7%
■2×4	70,312	68,636	102.4%	80,742	87.1%
■在来軸組	292,237	267,632	109.2%	299,693	97.5%
□木造率	58.1%	56.6%		57.1%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

<参考1-1>新設住宅着工床面積の推移（構造別）

(単位:千㎡、%)

年・月	合計		木造							非木造		木造率	木造1戸 当りの 床面積 (㎡/戸)		
			計		在来軸組		2×4		プレハブ						
	前年 比														
平成29年	1	6,255	114	3,613	103	2,867	103	633	104	113	90	2,642	135	57.8	92.5
	2	5,768	97	3,706	101	2,953	102	636	98	117	103	2,062	92	64.2	93.6
	3	6,031	98	3,884	99	3,109	100	670	95	104	90	2,148	96	64.4	93.5
	4	6,842	103	4,217	101	3,356	102	752	98	109	98	2,624	106	61.6	93.3
	5	6,410	98	4,184	102	3,328	102	741	102	114	97	2,226	93	65.3	93.5
	6	7,145	102	4,494	99	3,534	98	825	102	136	101	2,651	107	62.9	94.1
	7	6,697	97	4,408	96	3,493	97	794	96	120	80	2,290	98	65.8	92.4
	8	6,418	96	4,296	95	3,424	96	759	91	113	88	2,122	98	66.9	91.6
	9	6,584	96	4,407	97	3,476	98	810	95	121	91	2,178	94	66.9	91.1
	10	6,545	95	4,464	97	3,513	97	830	96	120	96	2,082	91	68.2	91.0
	11	6,711	99	4,502	98	3,575	99	803	95	124	99	2,209	100	67.1	90.2
	12	6,108	97	4,172	99	3,299	99	756	99	117	102	1,935	93	68.3	91.8
平成30年	1	5,325	85	3,594	99	2,833	99	660	104	101	89	1,731	66	67.5	92.2
	2	5,444	94	3,542	96	2,809	95	624	98	110	93	1,903	92	65.1	92.4
	3	5,600	93	3,718	96	2,968	95	652	97	99	95	1,882	88	66.4	93.6
	4	6,696	98	4,240	101	3,373	101	766	102	101	92	2,456	94	63.3	93.8
	5	6,415	100	4,122	99	3,347	101	677	91	98	86	2,292	103	64.3	95.0
	6	6,510	91	4,362	97	3,463	98	774	94	125	93	2,147	81	67.0	94.3
	7	6,590	98	4,379	99	3,497	100	759	95	123	102	2,211	97	66.4	93.3
	8	6,450	101	4,338	101	3,443	101	781	103	114	100	2,113	100	67.2	92.3
	9	6,478	98	4,397	100	3,481	100	799	99	117	96	2,080	96	67.9	90.8
	10	6,690	102	4,607	103	3,624	103	852	103	131	109	2,083	100	68.9	91.8
	11	6,768	101	4,491	100	3,584	100	790	98	117	95	2,277	103	66.4	93.4
	12	6,343	104	4,353	104	3,438	104	795	105	120	102	1,990	103	68.6	93.0
平成31年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
令和元年	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
	令和2年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4
2		5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
3		5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
4		5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
5		5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
6		5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
7		5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
8		5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
9		5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
10		5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
11		5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
12		5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
令和3年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
平成29年計		77,515	99	50,346	99	39,926	99	9,010	97	1,411	94	27,168	100	65.0	92.3
平成30年計		75,309	97	50,144	100	39,860	100	8,929	99	1,356	96	25,165	93	66.6	93.0
令和元(平成31)年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
令和2年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
H29年	第1四半期	18,054	103	11,203	101	8,929	102	1,938	99	335	94	6,852	106	62.0	93.2
	第2四半期	20,397	101	12,896	100	10,218	100	2,318	101	359	99	7,501	102	63.2	93.6
	第3四半期	19,700	96	13,111	96	10,392	97	2,363	94	355	86	6,589	97	66.6	91.7
	第4四半期	19,364	97	13,137	98	10,387	98	2,389	97	361	99	6,227	95	67.8	91.0
H30年	第1四半期	16,369	91	10,854	97	8,609	96	1,935	100	309	92	5,515	80	66.3	92.7
	第2四半期	19,621	96	12,725	99	10,184	100	2,217	96	324	90	6,896	92	64.9	94.3
	第3四半期	19,518	99	13,114	100	10,421	100	2,339	99	354	100	6,404	97	67.2	92.1
	第4四半期	19,802	102	13,452	102	10,646	103	2,438	102	368	102	6,350	102	67.9	92.7
(H31年) R元年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
R2年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
R3年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7

資料:国土交通省「住宅着工統計」

<参考1-2>新設住宅着工床面積の推移（利用関係別・資金別）

（単位：千㎡、％）

年・月	合計	利用関係別										資金別						
		持家		貸家		給与		分譲		民間		公的						
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比						
平成29年	1	6,255	114	2,423	99	1,499	113	34	116	2,300	139	1,131	105	5,581	117	675	95	
	2	5,768	97	2,570	100	1,452	109	32	112	1,713	86	1,114	101	5,014	96	754	108	
	3	6,031	98	2,620	96	1,585	109	36	90	1,790	93	1,153	104	5,297	99	734	92	
	4	6,842	103	2,894	100	1,726	105	26	120	2,195	106	1,198	106	6,051	104	790	94	
	5	6,410	98	2,897	100	1,526	98	22	40	1,964	98	1,175	105	5,683	101	727	80	
	6	7,145	102	3,156	95	1,692	96	33	81	2,265	118	1,228	104	6,266	102	879	99	
	7	6,697	97	3,076	93	1,688	95	35	68	1,898	105	1,214	99	5,934	98	763	91	
	8	6,418	96	2,930	91	1,607	94	32	72	1,849	108	1,190	100	5,720	98	698	85	
	9	6,584	96	3,008	96	1,765	99	42	173	1,769	92	1,175	97	5,858	96	727	96	
	10	6,545	95	2,990	95	1,757	92	40	75	1,759	98	1,229	104	5,771	96	774	86	
	11	6,711	99	2,984	95	1,717	96	28	123	1,983	107	1,304	107	5,984	100	727	91	
	12	6,108	97	2,780	97	1,534	96	32	165	1,762	99	1,243	106	5,433	98	674	94	
平成30年	1	5,325	85	2,412	100	1,304	87	35	103	1,573	68	1,111	98	4,684	84	640	95	
	2	5,444	94	2,387	93	1,343	92	53	163	1,662	97	1,096	98	4,757	95	687	91	
	3	5,600	93	2,475	94	1,386	87	21	60	1,717	96	1,129	98	4,970	94	630	86	
	4	6,696	98	2,821	97	1,635	95	35	134	2,205	100	1,273	106	5,905	98	791	100	
	5	6,415	100	2,824	97	1,435	94	81	360	2,075	106	1,230	105	5,724	101	691	95	
	6	6,510	91	3,042	96	1,603	95	45	138	1,821	80	1,230	100	5,722	91	788	90	
	7	6,590	98	3,063	100	1,642	97	24	68	1,860	98	1,239	102	5,783	97	807	106	
	8	6,450	101	2,934	100	1,617	101	38	116	1,862	101	1,239	104	5,729	100	721	103	
	9	6,478	98	2,980	99	1,597	90	34	80	1,867	106	1,228	105	5,754	98	723	100	
	10	6,690	102	3,098	104	1,630	93	51	128	1,911	109	1,295	105	5,895	102	795	103	
	11	6,768	101	3,041	102	1,629	95	37	133	2,061	104	1,299	100	6,000	100	768	106	
	12	6,343	104	2,889	104	1,424	93	25	79	2,005	114	1,346	108	5,601	103	742	110	
平成31年	1	5,484	103	2,477	103	1,144	88	32	92	1,831	116	1,154	104	4,871	104	613	96	
	2	5,828	107	2,603	109	1,317	98	53	100	1,855	112	1,229	112	5,139	108	689	100	
	3	6,320	113	2,675	108	1,326	96	29	135	2,290	133	1,218	108	5,629	113	692	110	
	4	6,532	98	3,052	108	1,392	85	48	140	2,040	93	1,316	103	5,799	98	733	93	
	令和元年	5	6,126	95	2,991	106	1,255	87	32	40	1,848	89	1,238	101	5,392	94	734	106
		6	6,849	105	3,415	112	1,458	91	43	95	1,934	106	1,359	111	6,084	106	765	97
		7	6,656	101	3,147	103	1,482	90	39	162	1,988	107	1,356	110	5,884	102	772	96
		8	6,397	99	2,868	98	1,447	89	20	53	2,062	111	1,271	103	5,691	99	706	98
		9	6,412	99	2,857	96	1,377	86	32	95	2,146	115	1,237	101	5,690	99	722	100
		10	6,386	95	2,894	93	1,385	85	23	46	2,084	109	1,331	103	5,657	96	729	92
		11	6,036	89	2,791	92	1,349	83	23	61	1,873	91	1,323	102	5,331	89	705	92
		12	5,850	92	2,619	91	1,295	91	46	183	1,889	94	1,296	96	5,179	92	671	90
令和2年		1	4,821	88	2,110	85	1,127	99	17	52	1,567	86	1,135	98	4,254	87	566	92
		2	5,194	89	2,299	88	1,057	80	31	58	1,807	97	1,133	92	4,601	90	593	86
		3	5,848	93	2,640	99	1,276	96	54	187	1,878	82	1,207	99	5,135	91	714	103
		4	5,758	88	2,512	82	1,214	87	34	70	1,998	98	1,210	92	5,108	88	650	89
	5	5,195	85	2,343	78	1,092	87	29	91	1,732	94	1,082	87	4,644	86	551	75	
	6	5,861	86	2,816	82	1,212	83	36	84	1,797	93	1,208	89	5,239	86	622	81	
	7	5,616	84	2,694	86	1,253	85	28	71	1,642	83	1,121	83	5,005	85	611	79	
	8	5,466	85	2,589	90	1,220	84	33	166	1,624	79	984	77	4,911	86	555	79	
	9	5,825	91	2,631	92	1,152	84	50	154	1,992	93	1,042	84	5,288	93	537	74	
	10	5,735	90	2,707	94	1,189	86	48	207	1,791	86	1,104	83	5,160	91	575	79	
	11	5,750	95	2,801	100	1,198	89	36	160	1,715	92	1,180	89	5,159	97	591	84	
	12	5,385	92	2,661	102	1,111	86	39	85	1,574	83	1,180	91	4,811	93	574	86	
令和3年	1	4,825	100	2,234	106	911	81	23	136	1,656	106	1,064	94	4,332	102	493	87	
	2	5,045	97	2,388	104	1,031	97	29	94	1,598	88	1,089	96	4,467	97	579	98	
	3	5,838	100	2,634	100	1,261	99	26	49	1,917	102	1,177	97	5,241	102	597	84	
	4	6,064	105	2,709	108	1,339	110	24	70	1,992	100	1,202	99	5,477	107	587	90	
	5	5,852	113	2,714	116	1,151	105	37	128	1,950	113	1,224	113	5,249	113	603	110	
	6	6,295	107	3,104	110	1,351	111	31	88	1,808	101	1,317	109	5,687	109	608	98	
	7	6,352	113	3,082	114	1,358	108	25	89	1,888	115	1,275	114	5,748	115	604	99	
	8	6,147	112	2,941	114	1,323	108	38	114	1,846	114	1,228	125	5,518	112	629	113	
	9	6,012	103	3,000	114	1,285	112	32	65	1,695	85	1,197	115	5,454	103	558	104	
平成29年計		77,515	99	34,328	96	19,549	100	392	91	23,246	104	14,355	103	68,592	100	8,923	92	
平成30年計		75,309	97	33,967	99	18,245	93	477	122	22,619	97	14,714	103	66,523	97	8,786	98	
令和元(平成31)年計		74,876	99	34,388	101	16,228	89	420	88	23,840	105	15,329	104	66,346	100	8,530	97	
令和2年計		66,454	89	30,803	90	14,101	87	434	103	21,116	89	13,585	89	59,315	89	7,139	84	
H29年	第1四半期	18,054	103	7,613	98	4,537	110	102	104	5,802	104	3,398	103	15,892	104	2,163	98	
	第2四半期	20,397	101	8,947	98	4,945	100	81	69	6,424	107	3,601	105	18,000	103	2,396	91	
	第3四半期	19,700	96	9,013	94	5,060	96	110	91	5,516	101	3,579	99	17,511	97	2,188	90	
	第4四半期	19,364	97	8,754	95	5,007	95	99	105	5,504	101	3,777	106	17,189	98	2,175	90	
H30年	第1四半期	16,369	91	7,275	96	4,033	89	109	107	4,952	85	3,336	98	14,411	91	1,958	91	
	第2四半期	19,621	96	8,687	97	4,673	95	160	198	6,101	95	3,732	104	17,351	96	2,270	95	
	第3四半期	19,518	99	8,977	100	4,856	96	95	87	5,589	101	3,705	104	17,266	99	2,252	103	
	第4四半期	19,802	102	9,028	103	4,683	94	113	114	5,977	109	3,940	104	17,496	102	2,306	106	
(H31年)R元年	第1四半期	17,632	108	7,756	107	3,787	94	114	104	5,976	121	3,602	108	15,638	109	1,994	102	
	第2四半期	19,507	99	9,457	109	4,104	88	123	77	5,822	95	3,913	105	17,275	100	2,232	98	
	第3四半期	19,465	100	8,872	99													

<参考2>非居住用建築物着工床面積

(単位:千m2、%)

年次	月	合計		構造別				
				木造		非木造		
			前年比		前年比		前年比	
平成30年	1	3,930	93	309	102	3,621	92	
	2	4,359	100	254	91	4,105	101	
	3	4,131	117	280	93	3,851	120	
	4	4,624	100	338	89	4,286	102	
	5	4,193	93	316	91	3,877	93	
	6	4,565	95	371	86	4,194	96	
	7	4,958	109	372	94	4,585	110	
	8	4,204	89	366	87	3,837	89	
	9	4,423	93	449	95	3,974	93	
	10	4,602	97	412	88	4,189	98	
	11	4,151	93	378	93	3,773	93	
	12	4,293	115	359	103	3,934	117	
平成31年	1	3,970	101	259	84	3,711	102	
	2	3,700	85	243	96	3,457	84	
	3	3,334	81	294	105	3,040	79	
	4	4,440	96	354	105	4,085	95	
	令和元年	5	4,170	99	327	103	3,844	99
		6	4,641	102	377	102	4,264	102
		7	4,980	100	452	122	4,527	99
		8	3,987	95	479	131	3,508	91
		9	3,609	82	431	96	3,179	80
		10	3,922	85	409	99	3,513	84
		11	3,750	90	386	102	3,364	89
		12	4,184	97	330	92	3,854	98
令和2年	1	2,973	75	228	88	2,745	74	
	2	3,605	97	230	95	3,374	98	
	3	3,718	112	280	95	3,437	113	
	4	4,086	92	312	88	3,774	92	
	5	4,078	98	259	79	3,818	99	
	6	3,798	82	347	92	3,451	81	
	7	3,855	77	323	71	3,532	78	
	8	3,662	92	371	77	3,291	94	
	9	3,891	108	416	97	3,476	109	
	10	3,635	93	400	98	3,235	92	
	11	3,371	90	346	90	3,025	90	
	12	3,565	85	308	93	3,257	85	
令和3年	1	3,364	113	246	108	3,118	114	
	2	3,345	93	241	105	3,104	92	
	3	4,272	115	287	103	3,984	116	
	4	4,207	103	347	111	3,861	102	
	5	4,277	105	307	119	3,970	104	
	6	4,275	113	327	94	3,948	114	
	7	4,082	106	344	107	3,738	106	
	8	3,127	85	299	81	2,828	86	
	9	3,700	95	307	74	3,394	98	
平成30年計		52,433	99	4,204	92	48,226	100	
令和元年(平成31年)計		48,687	93	4,341	103	44,346	92	
令和2年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91	
平成30年	第1四半期	12,420	103	843	95	11,577	103	
	第2四半期	13,382	96	1,025	89	12,357	97	
	第3四半期	13,585	97	1,187	92	12,396	97	
	第4四半期	13,046	101	1,149	94	11,896	102	
令和元年 (平成31年)	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88	
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99	
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90	
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90	
令和2年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94	
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91	
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92	
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89	
令和3年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107	
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107	
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97	

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

基礎的指標-2 木材産業の業況

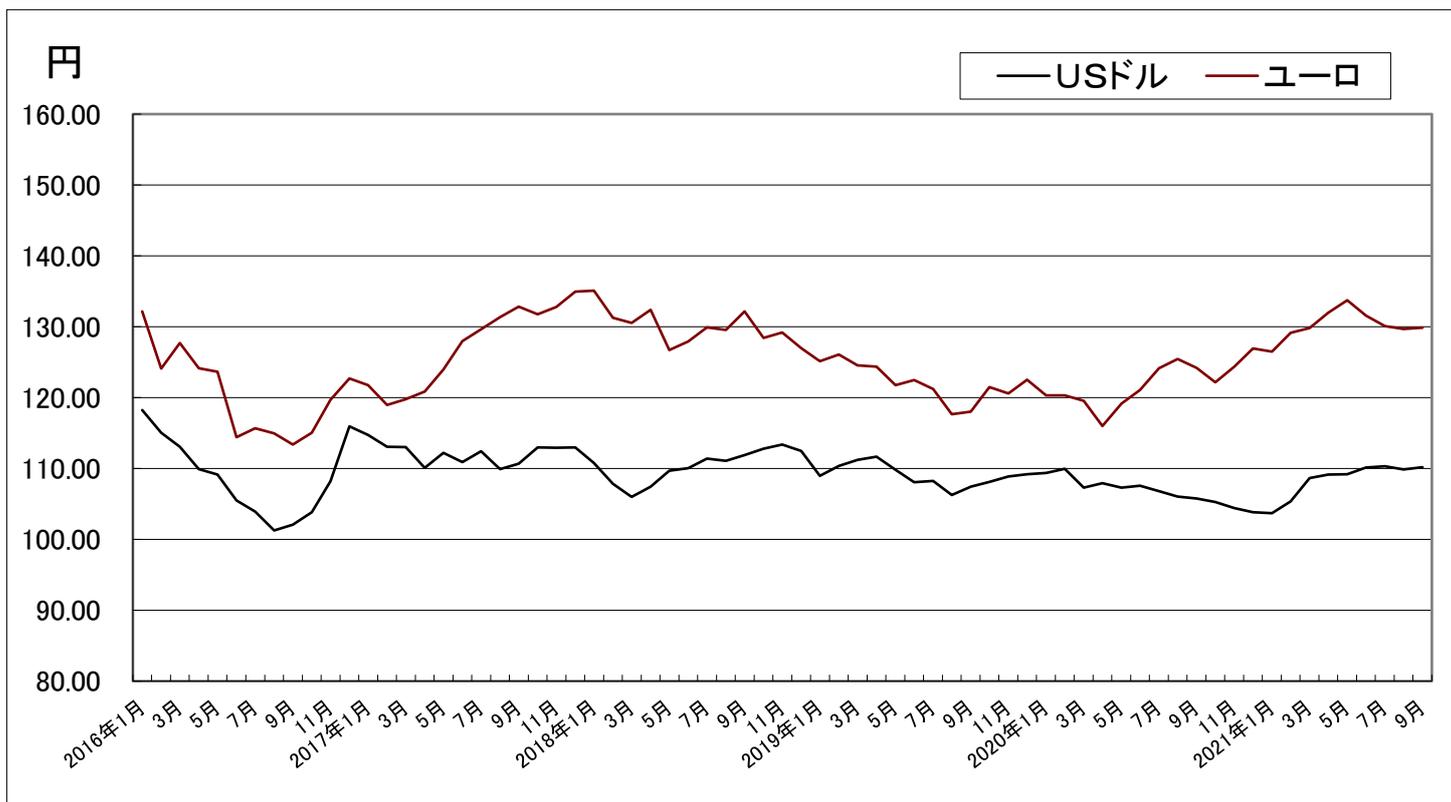
- 2020年は、木材産業の倒産件数が27件（前年比10%減）、負債金額が3,852百万円（同21.1%減）。
- 2021年1～9月は、木材産業の倒産件数が18件（前年比14.3%減）、負債金額が4,213百万円（同30.8%増）。

年・月	企業倒産状況									
	全 企 業				木材・木製品業					
	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)		
平成30年	1	635	105	104,559	81	2	100	150	89	
	2	617	90	89,979	78	1	50	460	69	
	3	789	100	132,672	79	3	150	1,037	4,148	
	4	650	96	95,467	92	4	400	718	1,436	
	5	767	96	104,399	98	3	43	254	8	
	6	690	98	219,527	14	4	133	703	193	
	7	702	98	112,711	103	1	20	50	9	
	8	694	109	121,268	131	1	25	185	41	
	9	621	91	184,197	217	2	100	30	30	
	10	730	100	117,619	123	2	67	6,708	2,058	
	11	718	106	121,279	83	1	100	52	19	
	12	622	89	81,792	21	2	67	1,717	592	
平成31年	1	666	105	168,374	161	0	-	0	-	
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2	
令和元年	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51	
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111	
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313	
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8	
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694	
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150	
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197	
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1	
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904	
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32	
	令和2年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
		2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
3		740	112	105,949	109	1	100	300	56	
4		743	115	144,990	136	10	500	1,280	161	
5		314	45	81,336	76	2	67	320	40	
6		780	106	128,816	148	4	400	444	753	
7		789	98	100,821	108	1	20	89	26	
8		667	98	72,416	83	2	67	150	54	
9		565	80	70,740	63	1	17	637	66	
10		624	80	78,342	88	2	100	57	63	
11		569	78	102,101	83	3	150	550	117	
12		558	79	138,518	88	1	25	25	5	
令和3年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-	
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-	
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109	
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4	
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38	
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742	
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-	
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7	
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36	
令和元(平成31)年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40	
令和2年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79	
H30年	第1四半期	2,041	98	327,210	79	6	100	1,647	191	
	第2四半期	2,107	96	419,393	23	11	100	1,675	44	
	第3四半期	2,017	99	418,176	146	4	36	265	24	
	第4四半期	2,070	98	320,690	50	5	71	8,477	954	
(H31年) R元年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33	
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99	
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598	
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13	
R2年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55	
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124	
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55	
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57	
R3年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169	
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170	
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27	

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

基礎的指標-3 USドル及びユーロ為替相場

- 2021年9月の為替相場は、1ドル110.17円、1ユーロ129.86円。



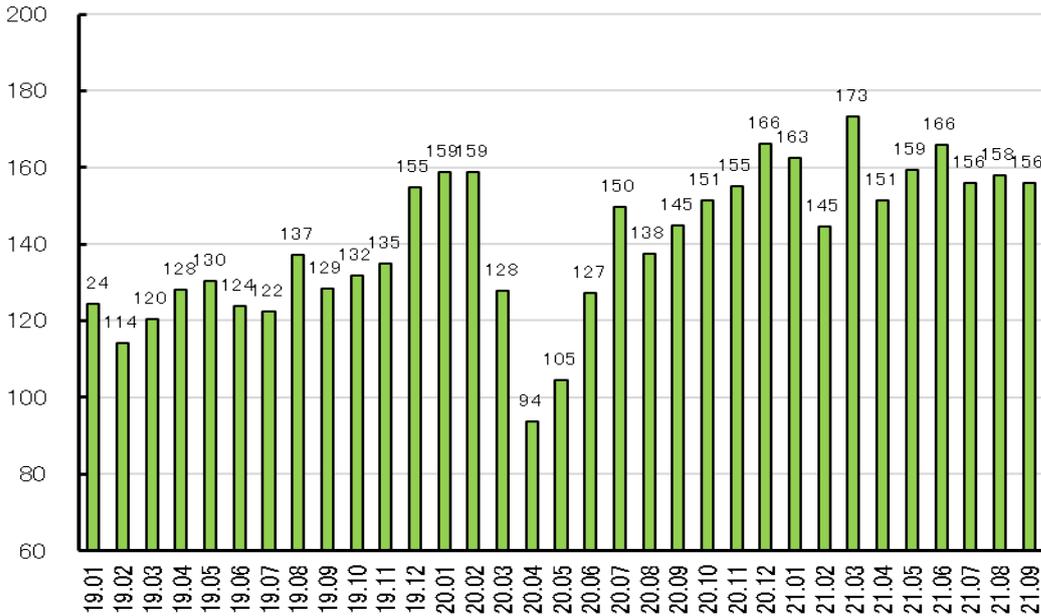
年月	USドル	ユーロ
2016年1月	118.25	132.17
2月	115.02	124.11
3月	113.07	127.70
4月	109.88	124.12
5月	109.15	123.65
6月	105.49	114.39
7月	103.90	115.67
8月	101.27	114.95
9月	102.04	113.36
10月	103.82	115.05
11月	108.18	119.70
12月	115.95	122.70
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00

年月	USドル	ユーロ
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

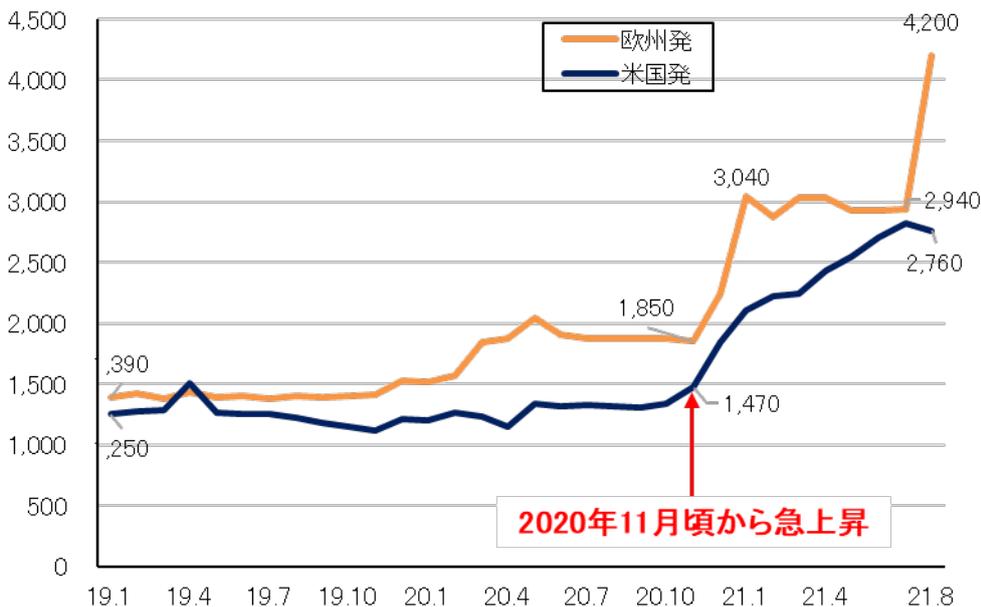
- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、昨年5月から急増。本年3月に173万戸（年率換算）を記録。本年9月は、前月比▲1%減の156万戸。
- 2020年末から、米国での輸入急増とコロナ禍に伴う港湾処理能力の低下等により、北米にコンテナが滞留して、世界的にコンテナが不足。海上輸送運賃が急激に上昇。本年夏以降は、中国での港湾作業員不足により、中国で空コンテナが滞留。本年8月は、欧州発の運賃が急上昇する一方、米国発は昨年10月以降初めて下落。

○米国における住宅着工戸数
(万戸)



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移
(米ドル/個)



資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

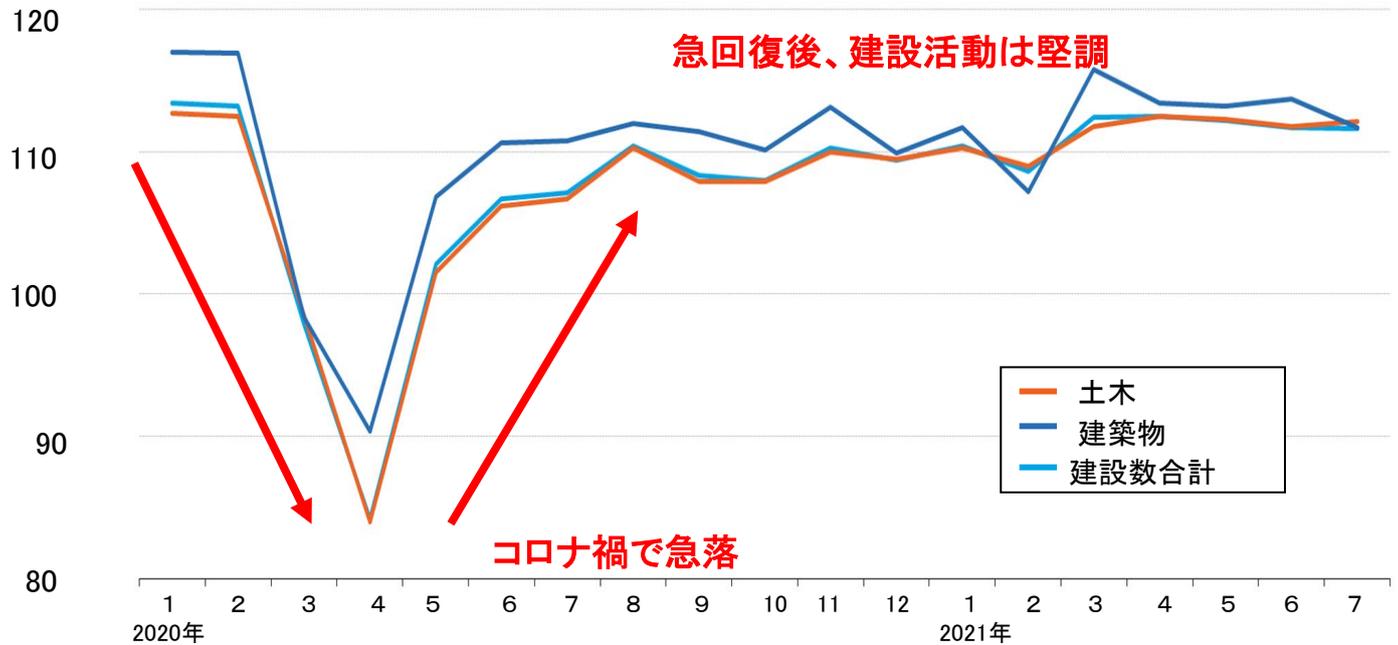
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

基礎的指標-5 EUにおける建設活動水準、中国の針葉樹丸太輸入量

- EUでは、コロナ禍により、昨年春に建設活動が急落したが、夏以降は回復して、以後、堅調に推移。
- 中国では、木材需要の増加が継続。過去10年で、針葉樹丸太輸入量は1.8倍に増加。

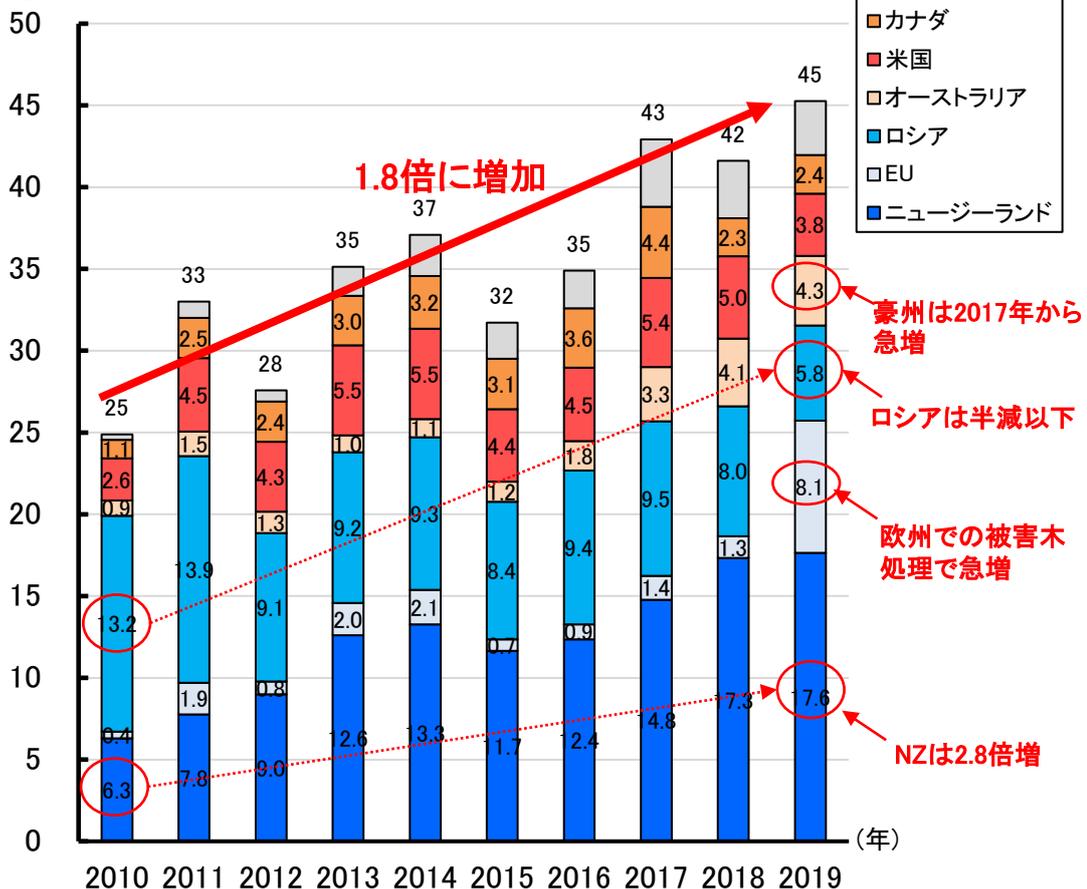
○EUにおける建設活動水準（2015年比）

2015年=100



資料: Eurostat development of construction productionを加工

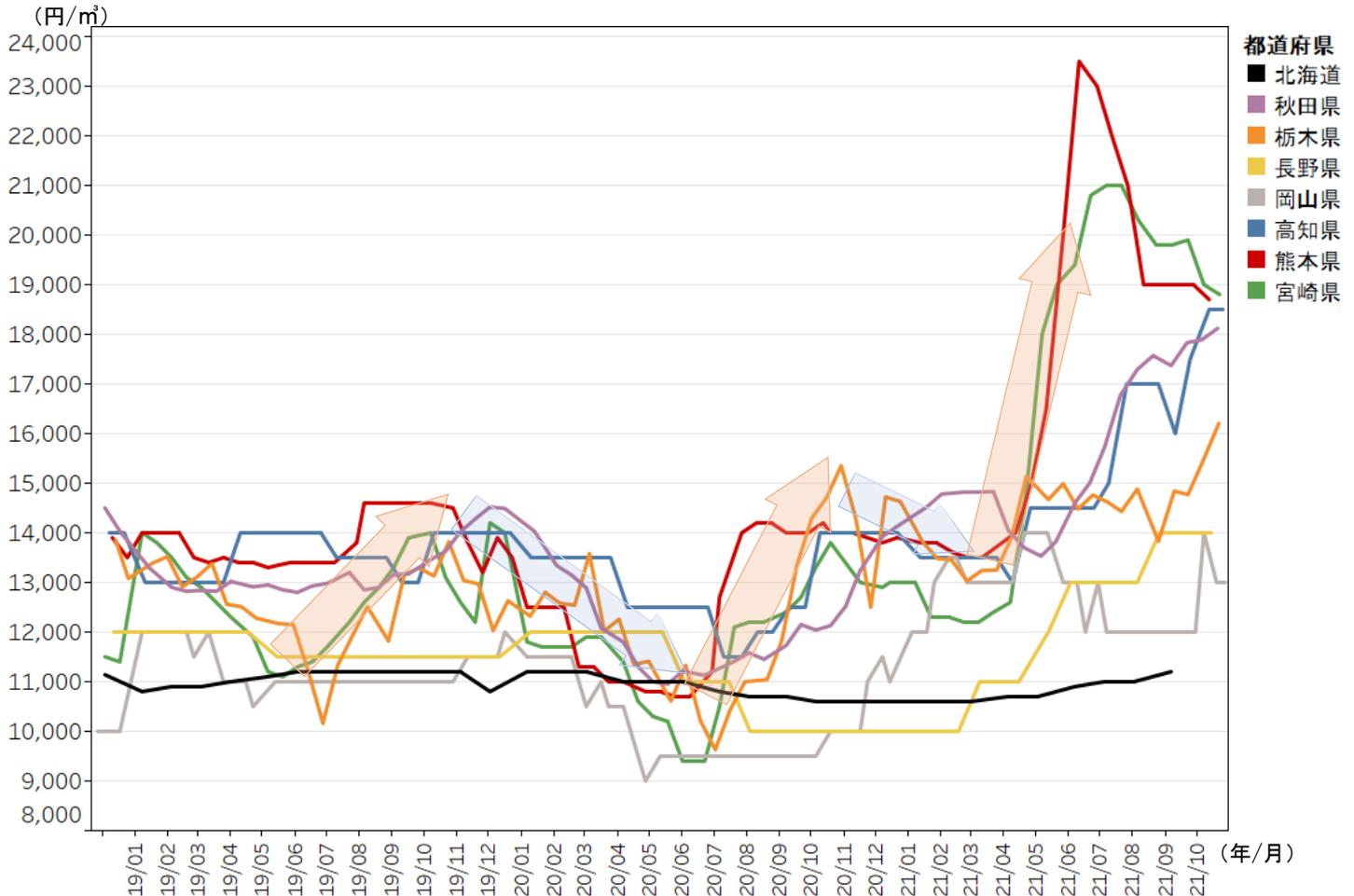
○中国の針葉樹丸太輸入量 (百万m³)



資料: FAO STAT (2010-2017)、UN COMTRADE (2018-2019)

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 2021年に入ってから、例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、4月以降、価格が上昇する地域が多く見られる。九州地域では価格が高騰したが、直近では落ち着きも見られる。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比110%から149%となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

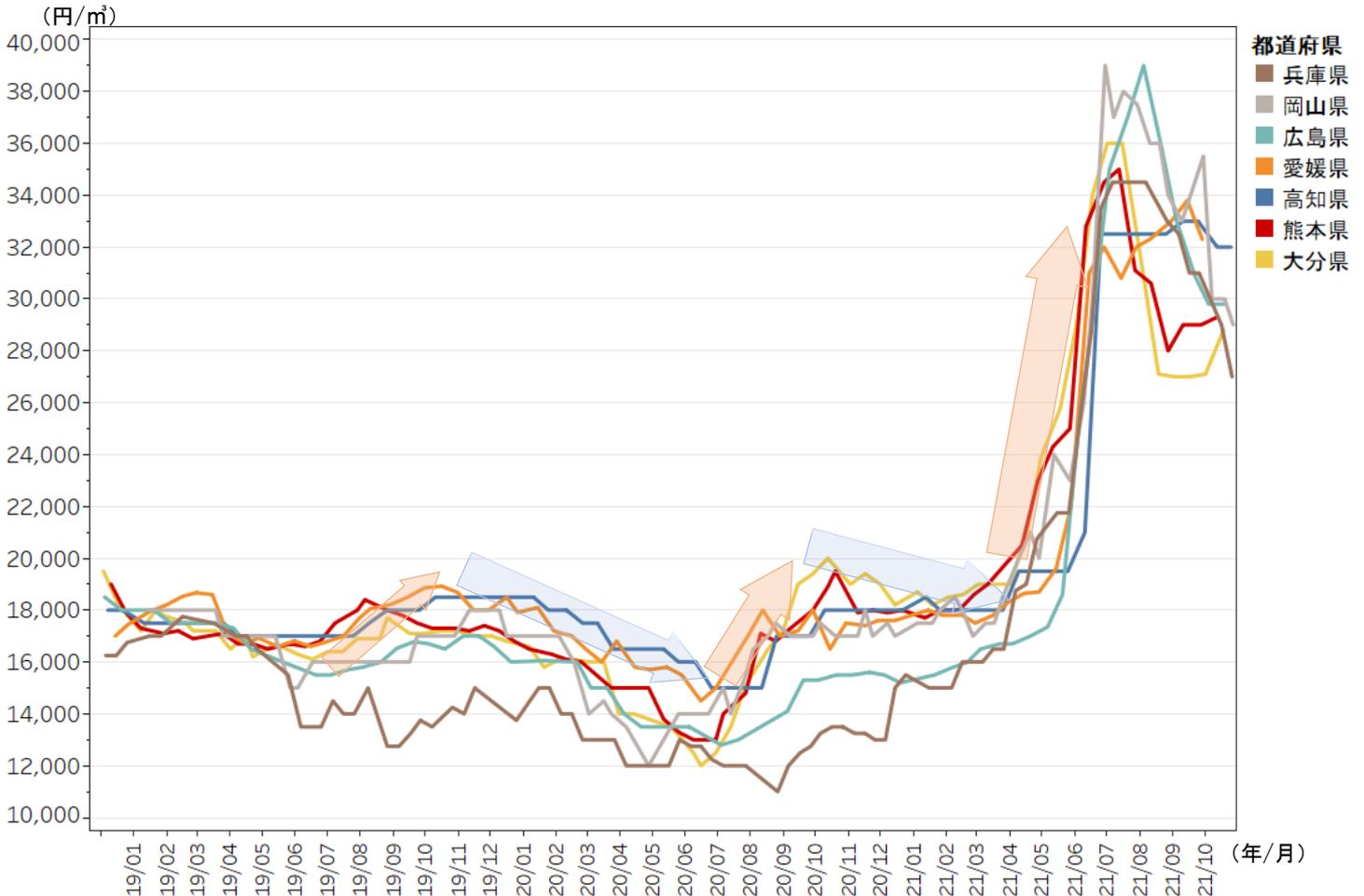
注2：径24cm程度、長さ3.65~4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定原木市場・共販所の価格。

都道府県	2021年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	11,200	10,700	105%
秋田県	18,120	12,130	149%
栃木県	16,200	14,700	110%
長野県	14,000	10,000	140%
岡山県	13,000	10,000	130%
高知県	18,500	14,000	132%
熊本県	18,700	14,200	132%
宮崎県	18,800	13,800	136%

※秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県は10月、北海道については9月の値を使用。

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、例年であれば原木価格が下落する時期に関わらず、全ての地域で価格が大きく上昇したが、直近では落ち着きも見られる。
- 直近のヒノキ原木価格は、前年同期比144%から200%となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

都道府県	2021年直近※	前年同期	前年同期比
■ 兵庫県	27,000	13,500	200%
■ 岡山県	29,000	17,000	171%
■ 広島県	29,800	15,500	192%
■ 愛媛県	32,300	18,000	179%
■ 高知県	32,000	18,000	178%
■ 熊本県	29,300	18,900	155%
■ 大分県	28,800	20,000	144%

※兵庫県、岡山県、広島県、高知県、熊本県及び大分県については10月、愛媛県については9月の値を使用。

- 輸入材の丸太及び製品価格は、北米における住宅着工戸数の増加、中国の木材需要拡大、世界的なコンテナ不足による運送コストの増大等により高騰。
- 国産材の代替需要が発生し、国産材の丸太及び製品価格も上昇。

年次	月	丸太										製品									
		スギ		ヒノキ		カラマツ		米マツ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		米ツガ			
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		正角(防虫処理材)	
		14-22cm 3.65-4m (円/m ²)	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/m ²)	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/m ²)	対前 年比 (%)	30cm上 6.0m上 (円/m ²)	対前 年比 (%)	18cm上 (円/m ²)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ²)	対前 年比 (%)	10.5cm角 4.0m (円/m ²)	対前 年比 (%)						
平成31年 令和元年	1	14,100	100	19,000	109	12,100	105	41,900	145	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100		
	2	13,900	101	18,800	106	12,100	105	41,400	109	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100		
	3	13,700	101	18,600	101	12,400	108	34,000	87	11,300	103	61,600	101	66,400	100	76,500	100	85,700	100		
	4	13,400	102	18,200	99	12,100	104	21,900	55	11,300	103	61,600	101	66,400	100	76,500	100	85,700	100		
	5	13,200	102	17,800	97	12,200	103	22,000	54	11,300	103	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100		
	6	12,900	100	17,400	97	12,300	104	21,600	51	11,300	104	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100		
	7	12,900	98	17,500	97	12,300	104	21,300	52	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100		
	8	13,200	99	17,400	96	12,600	107	20,900	55	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100		
	9	13,400	98	17,500	95	12,600	107	20,600	46	11,200	102	61,600	101	66,300	99	76,500	100	85,400	100		
	10	13,700	98	18,100	95	12,800	108	20,700	46	11,400	103	62,700	103	67,500	101	77,900	102	87,000	102		
	11	13,600	96	18,700	96	12,800	106	20,500	49	11,400	103	62,700	102	67,500	101	78,100	102	87,000	102		
	12	13,500	96	18,700	96	12,800	106	20,600	48	11,400	101	62,700	102	67,500	101	78,100	102	87,000	102		
令和2年	1	13,000	92	18,700	98	12,700	105	20,900	50	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,900	-
	2	13,100	94	18,500	98	12,800	106	21,700	52	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,800	-
	3	12,800	93	18,200	96	12,700	102	22,100	65	11,300	100	62,700	102	67,500	102	79,000	103	86,800	101	79,800	-
	4	12,300	92	16,800	92	12,700	105	21,900	100	11,200	99	62,700	102	67,400	102	77,400	101	86,600	101	79,800	-
	5	12,000	91	16,200	91	12,600	103	21,900	100	11,200	99	62,500	101	67,300	102	77,400	101	86,100	101	79,700	-
	6	11,600	90	15,900	91	12,500	102	20,900	97	11,100	98	62,500	101	67,300	102	78,600	103	85,900	101	79,600	-
	7	11,900	92	15,400	88	12,400	101	20,200	95	11,000	98	62,200	101	66,700	101	77,200	101	84,400	99	79,500	-
	8	12,800	97	16,000	92	12,400	98	19,900	95	10,800	96	62,200	101	66,700	101	76,700	100	84,400	99	79,500	-
	9	12,800	96	17,000	97	12,500	99	19,900	97	10,700	96	62,200	101	65,100	98	76,700	100	84,000	98	79,300	-
	10	13,100	96	17,500	97	12,400	97	20,200	98	10,800	95	62,200	99	65,500	97	76,700	98	84,300	97	79,300	-
	11	13,400	99	18,200	97	12,400	97	20,900	102	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,700	98	84,400	97	79,300	-
	12	13,400	99	18,300	98	12,400	97	21,300	103	10,900	96	62,200	99	65,600	97	77,200	99	84,500	97	79,300	-
令和3年	1	13,500	104	18,100	97	12,400	98	22,700	109	10,900	96	62,200	99	65,800	97	77,400	98	85,100	98	79,600	100
	2	13,300	102	18,700	101	12,500	98	22,300	103	11,000	96	62,200	99	65,900	97	77,400	98	85,100	98	79,800	100
	3	13,400	105	18,900	106	12,400	98	23,400	106	11,100	98	62,500	100	66,700	99	79,200	100	86,300	99	81,300	102
	4	13,600	111	19,800	118	12,400	98	23,800	109	11,300	101	64,500	103	75,300	112	79,400	103	93,500	108	87,500	110
	5	15,500	129	21,400	132	12,500	99	25,000	114	11,400	102	65,400	105	86,600	129	83,700	108	101,800	118	94,300	118
	6	17,500	151	25,200	158	13,100	105	26,600	127	11,900	107	70,100	112	111,800	166	87,900	112	126,100	147	103,600	130
	7	17,800	150	30,100	195	13,400	108	27,500	136	12,000	109	71,400	115	126,700	190	98,000	127	151,200	179	118,200	149
	8	18,100	141	32,100	201	13,500	109	28,400	143	12,300	114	68,900	116	130,600	196	93,700	121	162,300	192	126,700	159
	9	18,100	141	32,300	190	13,800	110	28,800	145	12,400	116	68,900	116	133,500	205	99,700	121	172,000	205	135,300	171
	10	18,000	137	33,000	189	13,900	112	29,100	144	12,700	118	69,000	116	135,500	207	96,200	121	175,700	208	136,600	172
令和元(平成31)年	13,500	99	18,100	98	12,400	105	25,600	64	11,300	103	61,900	101	66,700	100	76,900	100	85,900	100			
令和2年	12,700	94	17,200	95	12,500	101	21,000	82	11,100	98	62,400	101	66,700	100	77,600	101	85,500	100			
(H31年) R元年	第1四半期	13,900	101	18,800	105	12,200	106	39,100	110	11,300	104	61,600	101	66,800	101	76,500	100	85,700	100		
	第2四半期	13,200	102	17,800	98	12,200	104	21,800	53	11,300	103	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100		
	第3四半期	13,200	99	17,500	96	12,500	106	20,900	51	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100		
	第4四半期	13,600	96	18,500	96	12,800	107	20,600	48	11,400	102	62,700	102	67,500	101	78,000	102	87,000	102		
R2年	第1四半期	13,000	94	18,300	97	12,700	104	21,600	55	11,400	101	62,700	102	67,600	101	79,000	103	86,900	101	79,800	-
	第2四半期	12,000	91	16,300	92	12,600	103	21,600	99	11,200	99	62,600	102	67,300	102	77,800	102	86,200	101	79,700	-
	第3四半期	12,500	95	16,100	92	12,400	99	20,000	96	10,800	96	62,200	101	66,200	100	76,900	101	84,300	99	79,400	-
	第4四半期	13,300	98	18,000	97	12,400	97	20,800	101	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,900	99	84,400	97	79,300	-
R3年	第1四半期	13,400	103	18,600	102	12,400	98	22,800	106	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101
	第2四半期	15,500	129	22,100	136	12,700	101	25,100	116	11,500	103	66,700	107	91,200	136	83,700	108	107,100	124	95,100	119
	第3四半期	18,000	144	31,500	196	13,600	110	28,200	141	12,200	113	69,700	113	130,300	197	97,100	121	161,800	192	126,700	160

資料：農林水産省「木材価格」「木材需給報告書」

- 注：1 「木材価格」における調査対象が令和3年8月より変更になったことから、令和3年7月及び8月のスギ及びヒノキ正角の数値は接続しない。
- 2 「木材価格」における調査対象が令和3年8月より変更になったことから、対前年同月比は算出できないため、「-」と表示している。
- 3 丸太価格のうち、製材用丸太価格は製材工場、合板用丸太価格は合単板工場における工場着購入価格である。
- 4 製品価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
- 5 令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である(速報値は今後修正される可能性がある)。

年次	月	製材品2		構造用集成材						チップ							
		米マツ		スギ集成管柱			ホワイトウッド集成管柱			チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		平角		国産、無化粧			国産、無化粧			針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		10.5-12.0×24cm、 3.65-4m (円/㎡)	対前年 比(%)	10.5角×2.98~3m JAS (円/㎡)	(円/本)	対前年 比(%)	10.5角×2.98~3m JAS (円/㎡)	(円/本)	対前年 比(%)	(円/㎡)	対前年 比(%)	(円/㎡)	対前年 比(%)	(円/t)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前年 比(%)
平成31年	1	66,600	103							6,200	103	9,200	101	14,200	102	19,000	102
	2	66,600	103							6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	3	66,600	102							6,200	102	9,300	101	14,200	101	19,000	102
	4	66,300	100							6,200	103	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	5	66,300	100							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	6	66,200	99							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	7	66,000	99							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	8	65,900	99							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	9	64,800	97							6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	10	65,900	99							6,400	103	9,500	103	14,700	104	19,300	103
	11	65,700	99							6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
	12	65,600	98							6,500	105	9,500	102	14,800	103	19,300	102
令和2年	1	64,700	97	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	105	9,500	103	14,900	105	19,400	102
	2	64,700	97	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	3	64,700	97	63,492	2,100	-	60,469	2,000	-	6,500	105	9,400	101	14,900	105	19,400	102
	4	64,700	98	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	105	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	5	64,600	97	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	6	62,800	95	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	7	62,200	94	63,492	2,100	-	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	8	62,100	94	63,492	2,100	-	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	9	62,100	96	63,492	2,100	-	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	10	62,300	95	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	102	9,500	100	14,800	101	19,300	100
	11	62,400	95	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
	12	63,300	96	60,469	2,000	-	57,445	1,900	-	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
令和3年	1	65,200	101	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	66,500	103	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	3	70,100	108	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	78,100	121	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	83,100	129	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	94,800	151	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	99,000	159	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	111,300	179	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	117,600	189	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	120,500	193	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
令和元(平成31)年		66,000	100							6,300	103	9,300	101	14,490	103	19,080	102
令和2年		66,000	100							6,500	103	9,500	102	14,840	102	19,360	101
(H31年) R元年	第1四半期	66,800	103							6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	第2四半期	66,300	100							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	第3四半期	65,600	98							6,300	105	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	第4四半期	65,700	99							6,500	105	9,500	103	14,770	104	19,300	102
R2年	第1四半期	64,700	97	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	第2四半期	64,000	97	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	14,870	103	19,400	102
	第3四半期	62,100	95	63,492	2,100	-	60,469	2,000	-	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	第4四半期	62,700	95	60,469	2,000	-	60,469	2,000	-	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,230	100
R3年	第1四半期	67,300	104	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,670	98	19,330	100
	第2四半期	85,300	133	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	6,600	102	9,500	100	14,630	98	19,300	99
	第3四半期	109,300	176	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,370	100

資料：農林水産省「木材価格」「木材需給報告書」

- 注：1 製材品価格（米マツ平角）は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
- 2 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。
- 3 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。
- 4 令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である（速報値は今後修正される可能性がある）。

<参考>都道府県別データ ※農林水産省統計部による調査結果

○スギ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500
岩手	13,900	13,900	13,900	13,500	13,300	13,000	12,700	12,600	11,800	11,800	11,900	11,500
宮城	12,200	12,200	11,700	11,800	11,400	11,100	10,900	10,900	10,900	11,100	11,300	11,300
秋田	11,600	11,500	11,400	11,200	11,000	10,900	10,700	10,600	10,600	10,600	10,700	10,900
山形	11,100	11,000	11,400	11,400	11,400	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
福島	11,700	11,700	11,600	10,500	10,500	11,100	10,700	10,500	10,600	11,500	12,200	13,100
栃木	12,700	12,700	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	13,200	13,800	13,800
岐阜	11,000	11,000	11,000	12,600	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
静岡	13,700	13,600	13,700	13,500	13,600	12,900	13,200	13,200	13,400	13,300	13,400	13,500
三重	14,400	14,300	14,100	13,600	13,000	12,100	11,600	11,500	11,500	11,700	12,100	12,000
奈良	12,100	12,100	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	12,100	12,100	12,100	12,100	11,600
岡山	11,100	11,100	11,000	11,000	11,000	10,500	9,900	9,900	9,900	10,100	10,100	10,500
徳島	15,800	15,800	15,800	15,500	15,500	15,100	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500
愛媛	14,800	14,800	13,300	12,700	11,700	11,700	11,700	11,700	12,200	13,200	14,200	15,800
佐賀	15,400	14,800	14,300	14,300	13,800	13,200	13,200	14,300	13,800	13,800	13,800	13,800
熊本	13,000	14,500	14,600	13,200	13,200	13,300	14,100	14,700	15,000	13,500	14,900	14,400
大分	14,600	14,000	13,000	12,000	11,700	11,600	13,000	15,000	15,000	15,400	15,000	15,000
宮崎	12,800	12,900	12,700	12,000	11,600	10,600	11,200	13,200	13,200	14,000	14,100	14,100
鹿児島	12,800	12,800	12,300	11,200	10,700	10,100	11,200	12,800	12,600	13,400	13,900	13,900

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
青森	10,500	10,500	10,500	10,500	11,600	11,600	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,800	11,700	11,800	12,600	13,000	13,400	13,800	13,800	14,100	14,400
宮城	11,300	11,500	11,700	11,900	12,100	12,700	12,700	12,300	12,400	12,400
秋田	11,100	11,400	11,500	11,500	11,600	11,700	11,900	12,800	13,100	13,600
山形	11,200	11,200	11,200	11,500	11,900	11,900	14,200	14,300	14,400	16,300
福島	12,800	12,100	12,100	11,400	12,600	12,700	13,000	12,400	13,000	13,000
栃木	13,800	13,800	13,800	13,800	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
岐阜	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	15,000	15,000	15,000	16,100	16,600
静岡	13,600	13,600	13,800	14,100	14,700	16,100	17,200	17,500	17,900	17,900
三重	12,700	12,500	12,900	13,300	14,300	15,300	15,800	16,100	17,100	17,100
奈良	11,600	12,600	12,600	13,100	13,200	15,200	15,200	15,200	15,200	15,300
岡山	11,100	11,500	12,100	13,200	13,200	13,700	14,300	14,300	13,900	13,900
徳島	14,500	14,500	14,500	14,800	14,800	16,600	16,600	17,200	17,200	17,600
愛媛	15,900	15,900	15,400	15,900	15,900	18,100	19,900	20,000	20,000	19,900
佐賀	13,800	14,100	14,100	14,600	15,400	17,600	23,100	23,100	21,400	19,800
熊本	14,900	14,900	14,900	14,900	18,300	21,900	18,000	21,800	21,700	21,700
大分	15,000	14,400	14,400	14,900	16,000	20,700	21,800	19,900	18,700	18,300
宮崎	14,000	13,600	13,700	13,800	17,400	19,800	20,600	20,500	20,900	20,600
鹿児島	13,900	13,600	13,400	13,900	18,700	21,200	22,200	22,200	21,500	21,500

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	20,000	20,000	18,500	18,000	16,900	16,300	16,400	17,900	20,000	21,100	22,600	25,000
茨城	19,300	18,800	17,900	17,100	16,600	16,000	16,000	16,800	18,800	19,800	20,900	21,700
栃木	17,900	17,800	16,700	16,700	16,700	15,700	15,700	15,400	16,800	17,800	19,100	20,100
岐阜	18,500	17,800	17,900	17,500	16,600	16,100	16,100	16,200	16,200	17,400	18,700	18,100
静岡	20,400	20,000	19,100	18,800	18,100	17,900	17,900	18,100	18,500	18,900	19,400	19,600
三重	13,700	13,100	12,900	12,700	12,300	12,100	11,900	11,900	12,500	13,200	13,400	13,400
兵庫	20,800	20,700	20,700	18,600	18,600	17,500	17,500	17,500	19,600	19,600	19,600	19,700
奈良	15,800	15,800	15,300	14,700	14,600	14,600	14,600	15,100	15,100	15,100	14,700	14,200
和歌山	16,800	16,800	16,800	16,600	15,800	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,800	15,800
岡山	21,500	21,300	20,800	20,300	19,800	19,800	20,300	20,800	21,200	21,300	21,400	21,200
愛媛	20,900	20,900	19,000	17,600	16,800	16,300	16,500	16,900	17,900	18,400	19,600	21,100
高知	19,200	18,400	18,200	17,200	16,600	16,200	15,700	15,900	16,300	16,500	17,500	18,000
熊本	19,500	19,200	18,600	17,200	16,800	16,200	16,700	18,600	20,800	21,200	21,000	20,800
大分	14,000	14,300	14,300	12,200	12,400	12,900	11,800	12,900	14,000	15,300	16,300	14,300
宮崎	17,600	17,100	15,600	15,200	13,100	12,400	12,100	14,500	17,500	18,700	19,800	19,800

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
福島	22,900	20,500	20,800	26,000	30,200	30,600	30,900	30,900	31,300	33,000
茨城	21,200	20,400	20,400	21,700	25,600	26,100	26,500	26,500	27,300	29,000
栃木	20,100	20,100	20,000	20,300	24,700	28,900	28,900	28,800	28,800	28,900
岐阜	17,700	17,700	18,100	17,700	18,400	27,000	27,900	30,800	31,200	31,700
静岡	20,000	19,900	20,300	21,000	21,600	27,000	31,500	36,700	38,600	40,800
三重	13,700	13,900	14,100	14,500	15,800	20,600	21,800	25,200	26,500	27,200
兵庫	20,700	20,700	22,900	24,000	24,100	30,700	35,500	33,100	32,900	32,900
奈良	14,700	15,800	15,800	16,400	16,400	20,000	20,000	22,000	27,000	30,000
和歌山	15,900	15,900	15,900	16,800	19,600	21,600	21,600	21,900	21,900	27,000
岡山	21,400	21,500	21,700	22,600	23,500	24,500	31,700	30,800	30,600	30,100
愛媛	21,100	21,100	21,100	21,900	22,400	26,100	39,100	42,700	44,300	45,700
高知	17,500	19,100	19,000	19,100	20,400	21,900	26,200	33,800	31,600	31,300
熊本	20,800	21,100	21,100	21,900	27,300	33,500	37,500	36,700	33,000	33,600
大分	12,100	14,300	15,300	17,200	17,900	24,400	29,200	30,800	30,600	29,200
宮崎	19,300	19,100	18,600	19,800	22,000	27,500	31,900	37,300	34,100	34,100

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0~28.0cm、長3.65~4.0m）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	12,200	12,300	12,200	12,200	12,100	12,000	11,900	11,800	12,000	11,900	11,900	11,900
岩手	18,200	18,200	18,200	18,100	18,000	17,900	17,900	17,900	17,700	17,300	17,400	17,400

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	11,900	12,000	11,900	11,900	11,900	12,500	12,700	12,800	13,100	13,200
岩手	17,600	17,600	17,600	17,700	18,300	18,800	20,100	20,100	20,800	20,900

○米マツ丸太（製材用、径30.0cm上、長6.0m上、No.3）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
茨城	19,600	20,800	20,800	20,700	20,800	19,700	18,900	18,700	18,200	18,400	19,600	20,100
広島	20,100	20,700	21,400	21,100	21,100	20,000	19,300	18,700	18,900	19,400	20,000	20,500
山口	33,100	33,300	33,600	33,600	33,600	33,500	33,500	33,500	33,500	33,500	31,900	31,600
愛媛	27,300	x	27,400	27,400	26,900	26,900	x	27,800	x	x	28,600	28,500

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
茨城	x	x	22,600	22,900	23,400	24,900	26,900	27,900	27,800	28,500
広島	22,000	21,200	22,500	23,000	24,800	26,600	26,700	27,300	28,000	28,000
山口	31,600	32,100	32,100	32,600	33,200	34,500	34,500	37,900	38,300	38,300
愛媛	28,500	x	29,300	29,800	30,600	31,400	33,300	34,100	34,900	35,700

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
宮城	11,400	11,400	11,400	11,400	11,400	11,400	11,300	11,300	11,200	11,100	11,100	11,100
秋田	10,600	10,600	10,600	10,600	10,600	10,600	10,600	10,600	10,300	10,400	10,400	10,300
島根	12,900	12,800	12,600	12,600	12,300	12,500	12,300	11,800	12,000	11,800	11,800	12,000

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,900	10,600	11,300
宮城	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900	11,100	11,100	11,100	11,600	11,900
秋田	10,300	10,300	10,300	10,600	10,500	10,600	10,600	11,200	11,400	11,500
島根	11,900	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000	13,200	13,800	14,300	14,800

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	57,100	57,100	57,100	57,100	55,000	55,000	52,900	52,900	52,900	52,900	52,900	52,900
東京	66,000	66,000	66,000	66,000	x	x	x	x	x	x	x	x
大阪	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
福岡	39,200	39,200	39,200	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800	38,900

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
千葉	52,900	52,900	52,900	66,800	72,000	98,700	98,700	98,700	98,700	98,700
東京	x	x	x	x	66,000	66,000	66,000	61,200	61,200	61,200
大阪	55,000	55,000	58,100	61,900	65,000	80,500	92,900	105,800	105,800	105,800
福岡	38,900	38,900	38,900	41,800	44,000	53,600	56,900	57,200	57,200	59,300

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	61,300	61,200	61,100	60,700	60,700	60,600	58,600	58,600	58,400	60,100	60,300	60,400
千葉	67,900	67,900	67,900	67,900	67,900	67,900	67,700	67,700	67,700	67,700	68,000	68,000
東京	76,900	76,900	76,900	76,900	76,900	76,900	76,900	76,900	71,400	71,400	71,400	71,400
神奈川	71,000	71,000	66,500	66,500	66,300	66,300	66,300	66,300	66,300	66,300	66,300	66,300
愛知	72,200	72,200	72,200	71,800	71,800	70,700	70,700	70,700	70,700	70,700	70,700	71,300
大阪	70,900	70,900	70,900	70,900	70,900	70,900	70,900	70,600	70,600	70,600	70,600	70,600
兵庫	73,300	73,300	72,700	72,700	71,400	71,400	70,200	69,600	69,600	69,600	69,600	69,600
福岡	62,000	62,000	62,000	61,900	61,900	61,900	61,900	61,900	61,900	61,900	61,900	62,000

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
埼玉	60,900	61,000	64,100	86,000	97,800	132,500	137,600	138,800	143,200	143,000
千葉	69,100	69,400	70,100	86,300	99,000	125,500	147,100	152,300	153,100	153,100
東京	71,400	71,400	71,400	71,500	85,900	115,400	142,600	142,900	148,300	148,300
神奈川	66,300	68,100	68,500	77,400	79,400	111,200	131,700	152,000	153,000	153,100
愛知	71,300	71,300	71,300	80,700	89,100	107,500	121,800	121,800	121,800	121,800
大阪	70,600	70,600	70,900	76,800	82,500	99,000	111,200	111,200	111,200	112,500
兵庫	70,200	70,200	71,500	79,300	91,500	113,300	128,000	142,700	142,700	142,700
福岡	62,000	62,000	62,000	67,400	77,800	93,100	103,900	112,900	113,600	120,400

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：令和3年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、令和3年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉県	73,800	73,800	73,800	73,800	73,800	73,800	73,800	71,900	71,900	71,900	71,900	71,900
東京都	x	x	x	93,500	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知県	85,100	85,100	85,100	84,100	84,100	83,500	83,500	83,500	83,500	83,500	83,500	85,400
大阪府	68,000	68,000	68,000	61,700	61,700	68,000	61,700	61,400	61,700	61,700	61,700	61,700
兵庫県	67,600	67,600	67,200	67,200	66,800	66,800	66,000	66,000	66,000	66,000	66,000	66,000
福岡県	50,900	50,900	50,900	49,500	49,500	49,500	49,500	49,500	49,500	49,500	49,500	50,300

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
千葉県	71,900	71,900	71,900	73,900	84,800	86,000	98,200	98,200	98,200	98,200
東京都	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知県	85,400	85,400	85,400	86,700	88,000	92,500	96,100	96,100	96,100	96,100
大阪府	62,400	62,400	71,300	67,900	72,000	83,200	108,700	118,200	145,700	129,000
兵庫県	66,800	66,800	67,200	69,500	76,400	79,600	87,400	99,300	120,700	120,400
福岡県	50,300	50,300	50,300	50,300	55,800	66,000	82,500	82,500	82,500	82,500

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	81,600	81,600	81,300	81,300	81,300	81,300	78,400	78,400	76,600	78,000	78,200	78,200
千葉県	94,900	94,900	94,900	94,000	94,000	94,000	93,000	93,000	93,000	93,000	93,000	94,000
東京都	98,900	98,900	98,900	99,000	98,900	98,900	98,900	98,900	98,900	98,900	98,900	98,900
神奈川県	80,700	80,700	80,700	80,700	79,400	78,200	78,200	78,200	78,200	78,200	78,200	78,400
愛知県	95,400	95,400	95,400	94,700	94,700	93,500	93,500	93,500	93,500	93,500	93,500	94,200
大阪府	82,400	82,400	82,400	82,400	81,300	81,300	79,100	79,100	79,100	79,100	79,100	79,100
兵庫県	81,200	81,200	80,400	79,700	78,900	78,900	77,400	77,400	77,400	77,400	77,400	77,400

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
埼玉県	78,200	78,200	79,000	91,400	100,900	138,900	147,000	148,000	164,300	168,700
千葉県	94,000	94,900	95,800	105,500	114,200	131,500	149,300	161,300	161,300	165,900
東京都	98,900	98,900	98,900	98,900	104,500	121,000	142,900	143,100	159,500	175,800
神奈川県	78,700	79,000	84,100	94,800	110,500	146,200	178,800	184,700	186,300	187,400
愛知県	94,700	94,700	94,700	97,500	102,900	113,500	128,100	129,400	142,400	142,900
大阪府	80,100	80,100	82,800	90,600	98,000	128,900	169,100	192,900	193,800	193,800
兵庫県	78,900	78,900	79,700	88,600	101,800	113,800	152,600	179,600	188,800	188,400

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900	79,700	79,700	78,900	78,900	78,900	78,900
千葉県	78,700	78,700	78,700	78,700	78,300	78,300	78,300	78,300	78,300	78,300	78,300	78,300
神奈川県	81,400	81,400	81,400	81,400	81,400	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
愛知県	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
大阪府	79,200	79,200	79,200	79,200	79,200	79,200	79,200	79,200	79,200	79,200	79,200	79,200
兵庫県	77,300	75,200	75,200	75,200	74,500	74,500	74,500	74,500	74,500	74,500	74,500	74,500

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
埼玉県	78,900	78,900	79,900	85,600	98,600	104,600	116,100	129,300	139,300	139,300
千葉県	78,200	78,500	78,500	85,600	91,900	100,300	119,100	129,800	139,400	139,400
神奈川県	81,000	82,000	84,500	86,500	95,700	105,600	117,700	133,300	137,400	139,700
愛知県	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
大阪府	79,200	79,200	84,200	93,500	96,200	104,500	121,000	121,000	121,000	121,000
兵庫県	79,200	79,200	80,500	88,000	93,500	103,300	107,700	114,300	121,000	121,000

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

○米マツ平角（厚10.5～12.0cm、幅24.0cm、長3.65～4.0m、2級）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	70,100	70,100	70,100	70,100	70,100	68,800	67,200	67,200	67,200	68,200	68,200	71,000
愛知	69,600	69,600	69,600	69,600	69,600	68,300	68,100	68,100	68,100	68,200	68,200	70,600
大阪	60,400	60,400	60,400	60,400	60,400	60,200	60,200	60,200	60,200	60,200	60,200	60,300
兵庫	61,100	61,100	61,000	61,000	60,900	57,900	57,800	57,700	57,700	57,700	57,900	58,100
広島	60,800	60,800	60,800	60,800	60,800	60,800	57,900	57,900	57,900	57,900	57,900	57,900
福岡	57,200	57,200	57,200	57,200	57,200	57,200	57,200	57,200	57,200	57,200	57,200	57,200

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
埼玉	70,500	70,500	72,100	79,100	85,300	98,700	100,500	100,500	117,300	120,400
愛知	71,700	71,700	74,400	78,300	83,800	97,400	100,900	113,400	120,900	129,600
大阪	60,400	60,400	60,800	61,000	61,100	61,300	61,400	82,800	82,900	88,100
兵庫	61,200	64,000	69,300	81,400	86,900	99,300	103,900	123,600	124,900	126,200
広島	60,800	60,800	63,700	67,000	67,100	70,400	75,800	75,800	86,900	86,900
福岡	57,200	57,200	58,300	61,600	66,000	69,300	74,800	74,800	74,800	84,700

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・令和2年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	1,900	1,900	1,900	x	x	x	1,900	x	x	x	x	x
秋田	2,000	2,000	2,100	2,000	x	x	x	x	x	x	x	x
宮崎	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,800	1,800

・令和3年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
岩手	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
秋田	x	x	x	…	x	x	x	x	x	x
宮崎	1,800	1,900	1,900	2,000	2,200	2,700	2,900	3,000	3,200	3,800

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・令和2年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

・令和3年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
岡山	2,000	2,000	2,100	2,300	2,300	2,800	2,900	3,500	4,400	5,100

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：「…」は、事実不詳又は調査を欠くもの。

注3：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

○チップ用丸太（針葉樹）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900
青森	6,500	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,500	5,500	5,500	5,500	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600
山形	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,200	6,200	5,700	5,700	5,700	6,200	6,200
福島	6,300	6,400	6,200	6,300	6,400	6,500	6,300	6,600	6,500	6,800	6,500	6,600
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,300	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
京都	6,800	7,000	7,000	7,000	7,000	6,800	6,900	6,900	7,000	7,000	7,500	7,500
兵庫	6,500	6,300	6,500	6,300	6,600	6,600	6,300	6,600	6,300	6,200	6,500	6,500
島根	10,000	9,100	9,500	9,500	9,900	10,400	8,900	10,000	9,000	9,400	9,200	9,400
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,300	5,600	5,500	5,500	5,700	5,700	5,600	5,700	5,500	5,400	5,600
熊本	7,100	7,300	6,600	6,700	6,900	6,900	6,700	6,400	6,400	6,300	6,400	6,400
宮崎	7,900	7,900	7,900	7,600	7,500	7,600	7,600	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900
青森	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,700	6,900	6,700	6,500	6,200	6,000	6,100	6,100	6,200	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,700	5,700	5,700	5,900
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,100	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400
京都	7,900	8,000	8,000	8,000	8,100	8,300	8,300	8,400	8,400	8,600
兵庫	6,300	6,300	6,800	6,800	6,300	6,400	6,500	6,500	6,500	6,600
島根	9,200	8,000	9,200	9,300	9,700	9,700	9,700	9,500	9,900	9,600
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,800	5,900	5,600	5,500	5,400
熊本	6,200	6,800	6,400	6,300	6,600	6,300	6,600	6,400	7,200	6,500
宮崎	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,000	7,900
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

○チップ用丸太（広葉樹）

・令和2年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,700	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,600	11,600
岩手	10,600	10,600	10,500	10,700	10,700	10,700	10,700	10,700	10,800	10,700	10,700	10,700
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	9,100	8,900	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
島根	10,300	9,900	10,100	10,100	10,300	10,400	10,300	10,500	10,500	10,200	10,700	10,300
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,600	8,400	8,000	8,100	8,200	8,400	8,400	8,200	8,300	8,300	8,500	7,800
宮崎	8,800	8,800	9,000	8,900	8,800	8,200	8,100	8,300	8,200	8,500	8,500	8,300
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・令和3年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
岩手	10,700	10,700	10,500	10,600	10,700	10,700	10,700	10,900	10,900	10,900
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,800	8,800
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,200
島根	10,600	10,400	10,500	10,500	10,700	10,600	10,500	10,400	10,400	10,300
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,000	8,400	8,300	8,300	8,600	8,800	8,700	8,600	8,700	8,300
宮崎	8,600	8,300	8,600	8,400	8,400	8,400	8,500	8,600	8,500	8,400
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

○木材チップ（針葉樹）

・令和2年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
青森	15,900	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,600	15,600	15,600
岩手	15,900	15,900	15,900	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
秋田	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	15,800	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900
福島	17,900	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
茨城	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	19,600	19,600	18,700	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500
兵庫	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100
岡山	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
広島	13,500	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,100	19,100	19,100	19,100	19,100	19,100
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100

・令和3年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	14,700	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
岩手	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
秋田	16,100	15,900	16,000	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,200	16,200
福島	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
茨城	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	24,600	22,400	20,900
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	18,100	18,100	19,200	19,200	19,200
兵庫	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100
岡山	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
広島	13,400	11,500	11,400	11,500	11,500	11,600	11,600	11,600	11,700	11,700
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,100	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100

○木材チップ（広葉樹）

・令和2年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,200	20,200	20,200	20,200	20,200	20,200	20,200	20,200	20,200	20,000	20,000	20,000
青森	18,800	18,700	18,700	18,700	18,700	18,700	18,700	18,700	18,600	18,500	18,500	18,500
岩手	18,700	18,700	18,600	18,700	18,800	18,800	18,800	18,800	18,800	18,600	17,500	17,500
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300
福島	19,200	19,700	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,600	15,600
島根	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
広島	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
熊本	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
宮崎	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・令和3年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400
青森	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,600	18,600	18,600
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,700	20,700	20,700
福島	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
島根	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
広島	20,800	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
熊本	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
宮崎	19,700	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：令和3年は「木材価格」に拠る速報値、令和2年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

- 木材の総需要量は、74,439千m³で前年に比べ7,466千m³（9.1%）減少。用材は、61,392千m³で前年に比べ9,877千m³（13.9%）減少。しいたけ原木も242千m³で前年に比べ9千m³（3.6%）減少。燃料材は、12,805千m³で前年に比べ2,419千m³（23.3%）増加。
- 国内消費量は、71,430千m³で前年に比べ7,760千m³（9.8%）減少。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の2,418千m³（23.3%）であり、その他は減少。
- 輸出量は、3,009千m³で前年に比べ294千m³（10.8%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、丸太の254千m³（22.5%）、製材品の39千m³（16.5%）、木材パルプ・チップ等（用材）の18千m³（1.6%）、燃料材の1千m³（25.0%）。

木材需要の動向

区分		令和2年		令和元年		対前年 増減量 (千m ³)	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千m ³)	構成比 (%)	数量 (千m ³)	構成比 (%)			
総 需 要 量	用 材	製材用材	24,597	33.0	27,619	33.7	△ 3,022	△ 10.9
		パルプ・チップ用材	26,064	35.0	31,579	38.6	△ 5,515	△ 17.5
		合板用材	8,919	12.0	10,474	12.8	△ 1,555	△ 14.8
		その他用材	1,812	2.4	1,597	1.9	215	13.5
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3	
	計	74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1	
国 内 消 費	用 材	製材用材	24,321	34.0	27,383	34.6	△ 3,062	△ 11.2
		パルプ・チップ用材	24,900	34.9	30,433	38.4	△ 5,533	△ 18.2
		合板用材	8,741	12.2	10,280	13.0	△ 1,539	△ 15.0
		その他用材	426	0.6	462	0.6	△ 36	△ 7.8
		小計	58,387	81.7	68,558	86.6	△ 10,171	△ 14.8
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,800	17.9	10,382	13.1	2,418	23.3	
	計	71,430	100.0	79,190	100.0	△ 7,760	△ 9.8	
輸 出	用 材	丸太	1,384	46.0	1,130	41.6	254	22.5
		製材品等	275	9.2	236	8.7	39	16.5
		木材パルプ・チップ等	1,164	38.7	1,146	42.2	18	1.6
		合板等	179	5.9	194	7.2	△ 15	△ 7.7
		その他	3	0.1	4	0.2	△ 1	△ 25.0
	小計	3,005	99.8	2,711	99.8	294	10.8	
	燃料材	5	0.2	4	0.2	1	25.0	
	計	3,009	100.0	2,715	100.0	294	10.8	

資料：林野庁「木材需給表」

注：1) 燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2) 輸出の用材の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

3) 輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」（輸出は「製材品等」）に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」（輸出は「木材パルプ・チップ等」）に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」（輸出は「その他」に計上））。

- 木材の総供給量は、74,439千m³で前年に比べ7,466千m³（9.1%）減少。用材は61,392千m³となり、前年に比べ9,877千m³（13.9%）減少。しいたけ原木も242千m³で前年に比べ9千m³（3.6%）減少。燃料材は12,805千m³となり、前年に比べ2,419千m³（23.3%）増加。
- 国内生産量は、31,149千m³で前年に比べ161千m³（0.5%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の1,995千m³（28.8%）であり、その他は減少。
- 輸入量は、43,290千m³で前年に比べ7,627千m³（15.0%）減少。この中で、前年に比べ増加量が最も大きかったものは燃料材の424千m³（12.3%）。

木 材 供 給 の 動 向

区 分			令和2年		令和元年		対前年 増減量 (千m ³)	対前年 増減率 (%)	
			数量 (千m ³)	構成比 (%)	数量 (千m ³)	構成比 (%)			
総供給量	用材	丸太	25,180	33.8	27,804	33.9	△ 2,624	△ 9.4	
		林地残材	106	0.1	119	0.1	△ 13	△ 10.9	
		輸入木材製品	36,106	48.5	43,346	52.9	△ 7,240	△ 16.7	
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9	
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6		
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3		
	計	74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1		
国内生産	用材	丸太	21,874	70.2	23,686	76.4	△ 1,812	△ 7.7	
		林地残材	106	0.3	119	0.4	△ 13	△ 10.9	
		小計	21,980	70.6	23,805	76.8	△ 1,825	△ 7.7	
	しいたけ原木	242	0.8	251	0.8	△ 9	△ 3.6		
	燃料材	8,927	28.7	6,932	22.4	1,995	28.8		
計	31,149	100.0	30,988	100.0	161	0.5			
輸 入	用材	木材製品	丸太	3,306	7.6	4,118	8.1	△ 812	△ 19.7
			製材品等	10,121	23.4	11,345	22.3	△ 1,224	△ 10.8
			木材パルプ	4,997	11.5	5,580	11.0	△ 583	△ 10.4
			木材チップ等	16,646	38.5	21,347	41.9	△ 4,701	△ 22.0
			合板等	4,293	9.9	5,026	9.9	△ 733	△ 14.6
		その他	49	0.1	47	0.1	2	4.3	
	小計	36,106	83.4	43,346	85.1	△ 7,240	△ 16.7		
	燃料材	3,878	9.0	3,454	6.8	424	12.3		
計	43,290	100.0	50,917	100.0	△ 7,627	△ 15.0			

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、輸入の「木材製品」について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材品等」に、再生木材の数量は「木材チップ等」に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他」に計上）。

- 用材の自給率は、35.8%で前年に比べて2.4ポイント上昇し、平成23年から10年連続の上昇。
- 用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、41.8%で前年に比べて4.0ポイント上昇し、平成23年から10年連続の上昇。昭和47年の42.7%以来、48年ぶりに40%台に回復。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量 ÷ 総需要量（※） × 100

※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木 材 自 給 率 の 動 向

区 分		令和2年	令和元年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千m ³)	数量 (千m ³)			
建築用材等	国内生産	15,810	17,620	△ 1,810	△ 10.3	
	輸 入	17,706	20,473	△ 2,767	△ 13.5	
	総 需 要 量	33,516	38,093	△ 4,577	△ 12.0	
	自 給 率	47.2%	46.3%	0.9ポイント		
用材	製材用材	国内生産	11,615	12,875	△ 1,260	△ 9.8
		輸 入	12,982	14,744	△ 1,762	△ 12.0
		総 需 要 量	24,597	27,619	△ 3,022	△ 10.9
		自 給 率	47.2%	46.6%	0.6ポイント	
	合板用材	国内生産	4,195	4,745	△ 550	△ 11.6
		輸 入	4,724	5,729	△ 1,005	△ 17.5
		総 需 要 量	8,919	10,474	△ 1,555	△ 14.8
		自 給 率	47.0%	45.3%	1.7ポイント	
非建築用材等	国内生産	15,339	13,368	1,971	14.7	
	輸 入	25,584	30,444	△ 4,860	△ 16.0	
	総 需 要 量	40,923	43,812	△ 2,889	△ 6.6	
	自 給 率	37.5%	30.5%	7.0ポイント		
用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,420	4,651	△ 231	△ 5.0
		輸 入	21,644	26,927	△ 5,283	△ 19.6
		総 需 要 量	26,064	31,579	△ 5,515	△ 17.5
		自 給 率	17.0%	14.7%	2.3ポイント	
	その他用材	国内生産	1,750	1,534	216	14.1
		輸 入	62	63	△ 1	△ 1.6
		総 需 要 量	1,812	1,597	215	13.5
		自 給 率	96.6%	96.0%	0.6ポイント	
しいたけ原木	国内生産	242	251	△ 9	△ 3.6	
	輸 入	-	-	-	-	
	総 需 要 量	242	251	△ 9	△ 3.6	
	自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポイント		
燃料材	国内生産	8,927	6,932	1,995	28.8	
	輸 入	3,878	3,454	424	12.3	
	総 需 要 量	12,805	10,386	2,419	23.3	
	自 給 率	69.7%	66.7%	3.0ポイント		
総 数	国内生産	31,149	30,988	161	0.5	
	輸 入	43,290	50,917	△ 7,627	△ 15.0	
	総 需 要 量	74,439	81,905	△ 7,466	△ 9.1	
	自 給 率	41.8%	37.8%	4.0ポイント		
うち 用材の計	国内生産	21,980	23,805	△ 1,825	△ 7.7	
	輸 入	39,412	47,464	△ 8,052	△ 17.0	
	総 需 要 量	61,392	71,269	△ 9,877	△ 13.9	
	自 給 率	35.8%	33.4%	2.4ポイント		

資料：林野庁「木材需給表」

注）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様に再集計を行った（従来は「その他用材」に計上）。

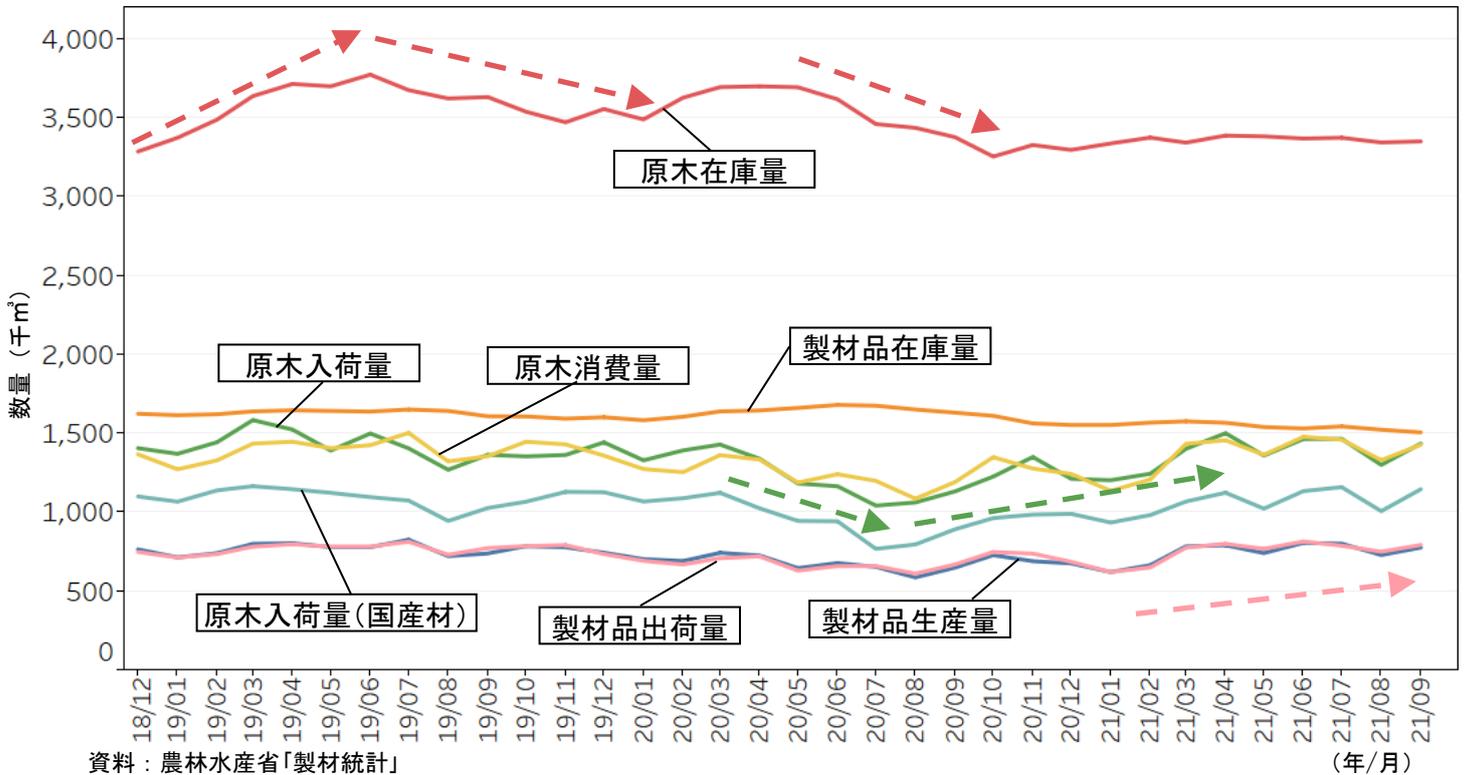
局	概況	主な地区の原木価格・出荷量の動向					
		樹種	価格 (円/m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
北海道	<ul style="list-style-type: none"> 合板用等の原木不足により本州への移出が一昨年並みに回復しているほか、道内でも産業用資材・羽柄材・ラミナ等旺盛な需要が継続している。 民有林では秋期まで利用間伐が主体で、主伐が本格化するのは冬期間となる見込みであり、入荷した原木量が消費量を上回らない状況が続いている。 	原木価格	カラマツ(北海道) (14~28cm)	13,200	101%	111%	108%
		原木価格	トドマツ(北海道) (30~38cm)	13,100	101%	102%	86%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(北海道)	148	100%	110%	110%
		製品出荷量(北海道)	76	113%	152%	113%	
東北	<ul style="list-style-type: none"> 秋需を迎えたこともあり、製材品・原木とも引き合いは強く、全般に価格も高止まりしている。製材用・合板用ともに原木の不足感は続いている。また、虫害の心配もなくなり、例年原木価格が強含む時期でもあることから、原木の値上がり傾向はしばらく続くと思われる。 スギは、合板需要は、堅調な一方で製品在庫が非常に少ない状況が続いており、不足感が強く、製品価格も強含む。原木在庫の余裕もなく、スギ合板材の引き合いは全般に強く、価格も強含む。 カラマツは、外材の代替需要もあり、合板用、製材用とも強い引き合いが続いており、価格も強含む。 広葉樹一般材は、まだ出荷量が少ない中で、特にナラの引き合いは強い。 低質材は、バイオマス用の需要は安定している。製紙用は昨年よりも需要はあるものの、引き合いは全般に弱い状況が続いている。 	原木価格	スギ(秋田県) (14~22cm)	13,600	104%	128%	119%
		原木価格	カラマツ(岩手県) (14~28cm)	20,900	100%	121%	114%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(秋田県)	40	98%	148%	62%
		製品出荷量(秋田県)	21	111%	111%	95%	
関東	<ul style="list-style-type: none"> スギ・ヒノキ材の価格は高止まり傾向にある。特に静岡県ではヒノキの価格上昇が顕著となっている。 出材は9月以降順調に伸び本格化している。 今後の需要動向がどのように推移するかは業界でも意見が分かれている。 	原木価格	スギ(栃木県) (14~22cm)	15,400	100%	127%	135%
		原木価格	ヒノキ(栃木県) (14~22cm)	28,800	100%	171%	182%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(栃木県)	38	97%	115%	97%
		製品出荷量(栃木県)	28	107%	121%	107%	
中部	<ul style="list-style-type: none"> 管内においては原木価格の高止まりや原木不足の状況は依然として続いている。特に、スギ・ヒノキの引き合いは活発。国有林材に関しては、8月の大雨災害の復旧作業も徐々に進んでいるが、生産量の減少が免れない箇所も出てきている。 また、川下においては、柱や土台などの構造材や合板用原木、杭用丸太などを中心に不足感が強く、川上への出材要望が続いている。引き続き輸入材製品の供給見通しが不透明な状況ではあるが、本格的に需要期となっていることも相まって、しばらくは現状の国産材需要がこのまま推移するとの見方が強くなっている。 	原木価格	スギ(岐阜県) (14~22cm)	16,600	103%	125%	168%
		原木価格	ヒノキ(岐阜県) (14~22cm)	31,700	102%	182%	186%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量	24	104%	126%	114%
		製品出荷量	13	118%	118%	108%	
近畿中国	<ul style="list-style-type: none"> 北陸京滋ブロック(石川、福井、滋賀、京都、大阪) スギ、ヒノキともに価格は保合。ヒノキは高値を維持している。 紀伊ブロック(三重、奈良、和歌山) 価格は、スギ、ヒノキともに並材が強保合となっている。 瀬戸内ブロック(兵庫、岡山、広島、山口) 価格はスギ、ヒノキともに供給量が増えたことから下げ基調となっている。 山陰ブロック(鳥取、島根) 価格は、全体的に保合となっている。 	原木価格	スギ(岡山県) (14~22cm)	13,900	100%	138%	128%
		原木価格	ヒノキ(岡山県) (14~22cm)	30,100	98%	141%	138%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(岡山県)	26	108%	104%	113%
		製品出荷量(岡山県)	13	100%	100%	108%	
四国	<ul style="list-style-type: none"> 外材の大幅な入荷減少による国産材への代替需要が継続しており、スギ・ヒノキ製材品の動きは堅調で、丸太の引き合いは強く好調を維持している。 丸太価格は、スギ・ヒノキともに好調を維持し、高値状態を継続している。 原木市場の状況について 【徳島】スギ、ヒノキとも横這いとなっている。 【愛媛】天候がよく原木出荷量が増加となったが、スギ・ヒノキ全体に弱含みで推移した。 【高知】天候がよく原木出荷量も徐々に安定することを見越して一時期の高騰は落ち着きをみせているが、依然として高値で推移している。 	原木価格	スギ(愛媛県) (14~22cm)	19,900	100%	151%	134%
		原木価格	ヒノキ(高知県) (14~22cm)	31,300	99%	190%	185%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量(高知県)	36	100%	144%	116%
		製品出荷量(高知県)	17	100%	113%	100%	
九州	<ul style="list-style-type: none"> いわゆるウッドショックによる代替需要については、9月期と同様にKD柱、KD土台にしか応札(注文)がない状況になってきており、グリーン材製品、垂木、羽柄材などの小割品については、ほぼ売れ残りの状況になってきている。このような製材品の需要動向により原木価格もスギ、ヒノキともに3m柱適材、4m土台材の価格は持ち直しとなってきたが、その他の区分材は保合から下げ傾向になっている。 8月中旬の大雨により九州各県の供給量の減少が心配されたが、その後の天候が良いことなどから市場に影響を及ぼすような供給減とはならず、9月に入ってから順調に供給されている。各原木市場等においては、安定した原木が確保されており、このことも、原木価格の落ち着きをみせている要因であると思われる。 	原木価格	スギ(※)	19,992	104%	133%	127%
		原木価格	ヒノキ(※)	31,775	96%	174%	198%
		出入荷量	区分	材積 (千m ³)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
			素材入荷量	361	123%	125%	104%
		製品出荷量	191	102%	116%	101%	

資料：農林水産省「木材価格」「製材統計」

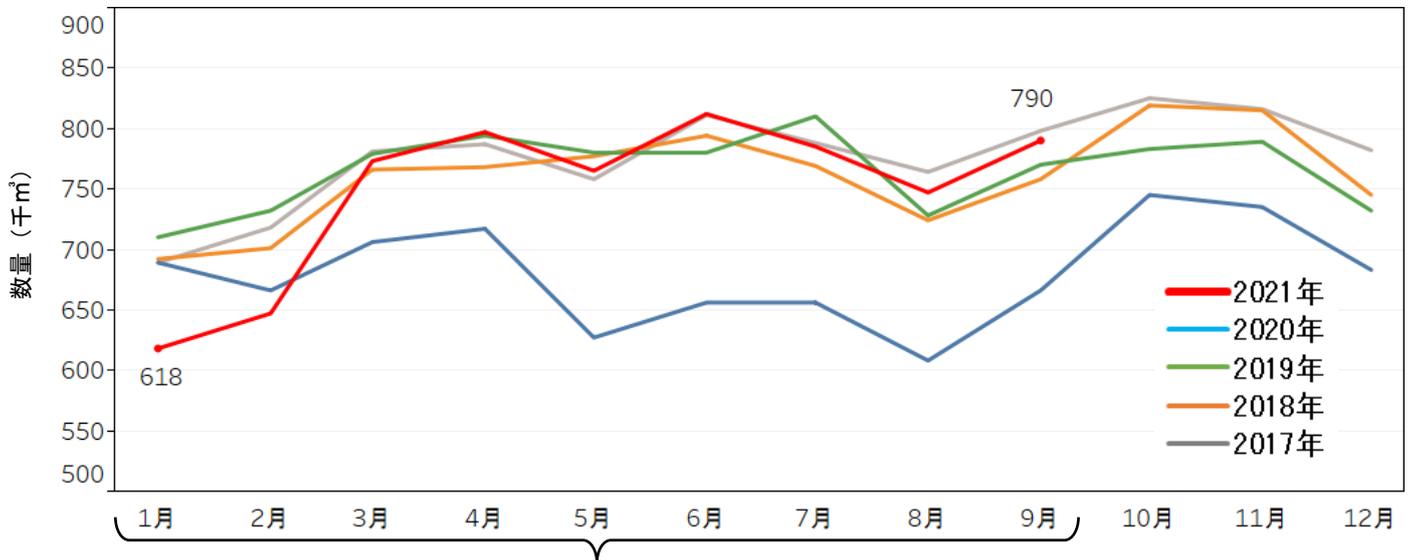
※ 九州地区のスギ及びヒノキの原木価格は、九州管内6市場の3m16~18cm直材及び4m18~22cm直材の平均単価。

木材需給情報-3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2021年1～9月の原木の入荷量は12,346千m³（前年比112%）。
- 同様に製材品の出荷量は6,734千m³（前年比112%）、コロナ禍前の水準となっている。



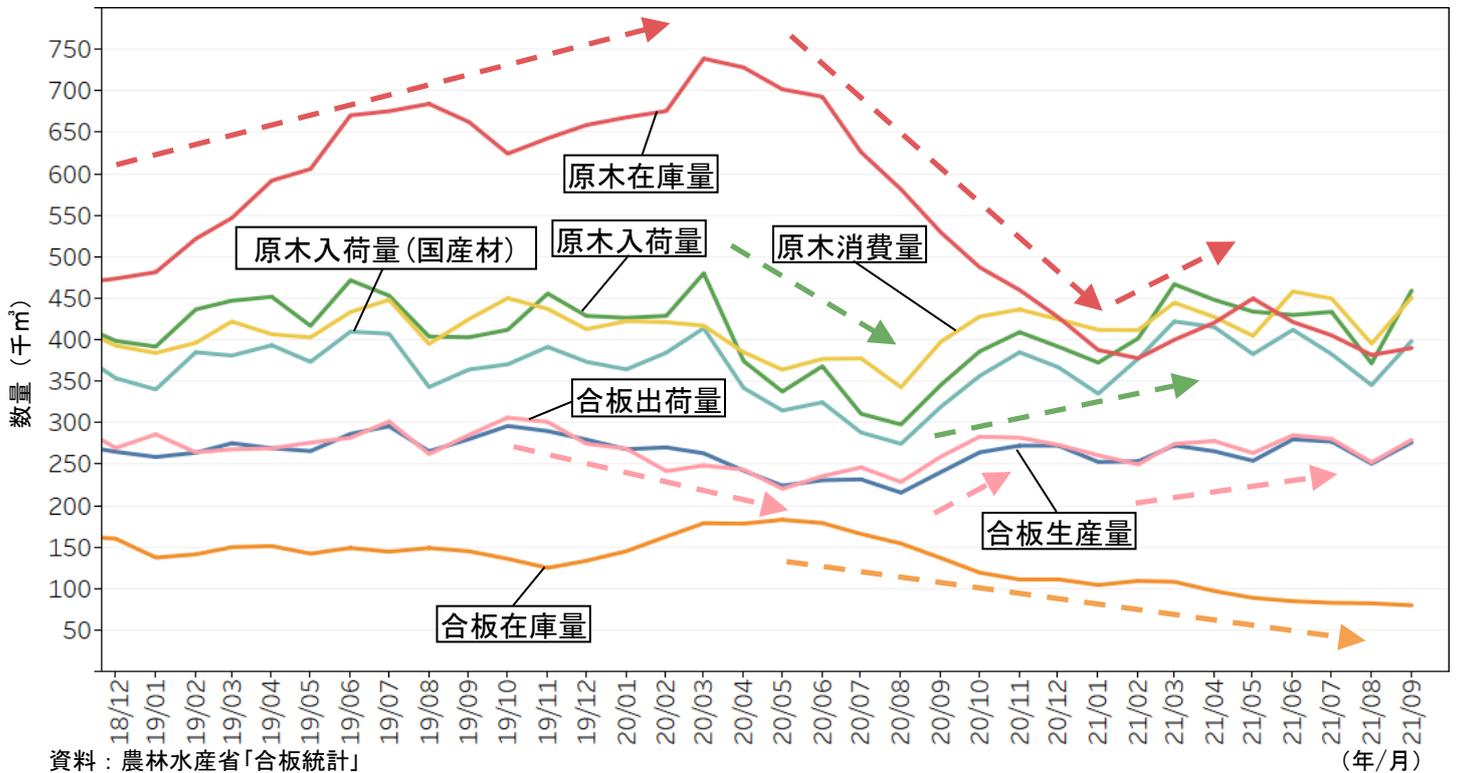
○製材品出荷量の月別推移（全国）



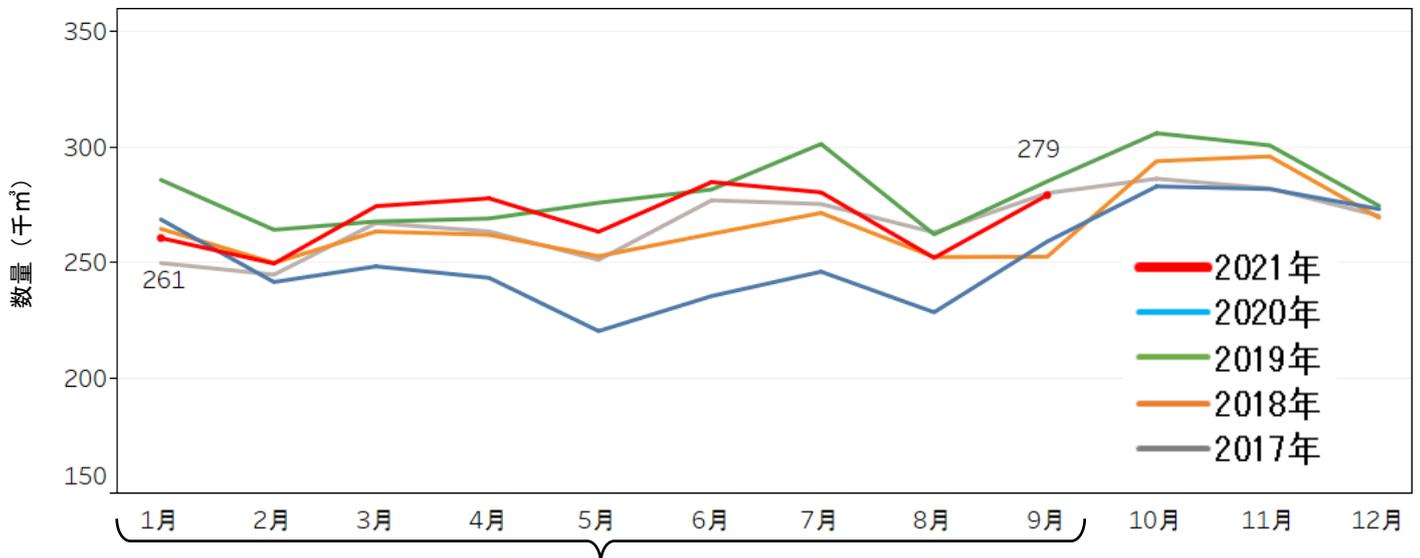
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～9月原木入荷量合計(千m ³)	12,341	12,318	12,823	11,045	12,346
2017年との比較※	—	100%	104%	89%	100%
1～9月出荷量合計(千m ³)	6,894	6,749	6,883	5,991	6,734
2017年との比較※	—	98%	100%	87%	98%

※2017年の数値を100%とした比較

- 2021年1～9月の原木の入荷量は3,815千 m^3 （前年比113%）。在庫量は低い水準を維持している。
- 同様に合板の出荷量は2,422千 m^3 （前年比111%）と、コロナ禍前の水準となっている。ただし、製品在庫量は昨年5月から減少傾向。



○合板出荷量の月別推移（全国）

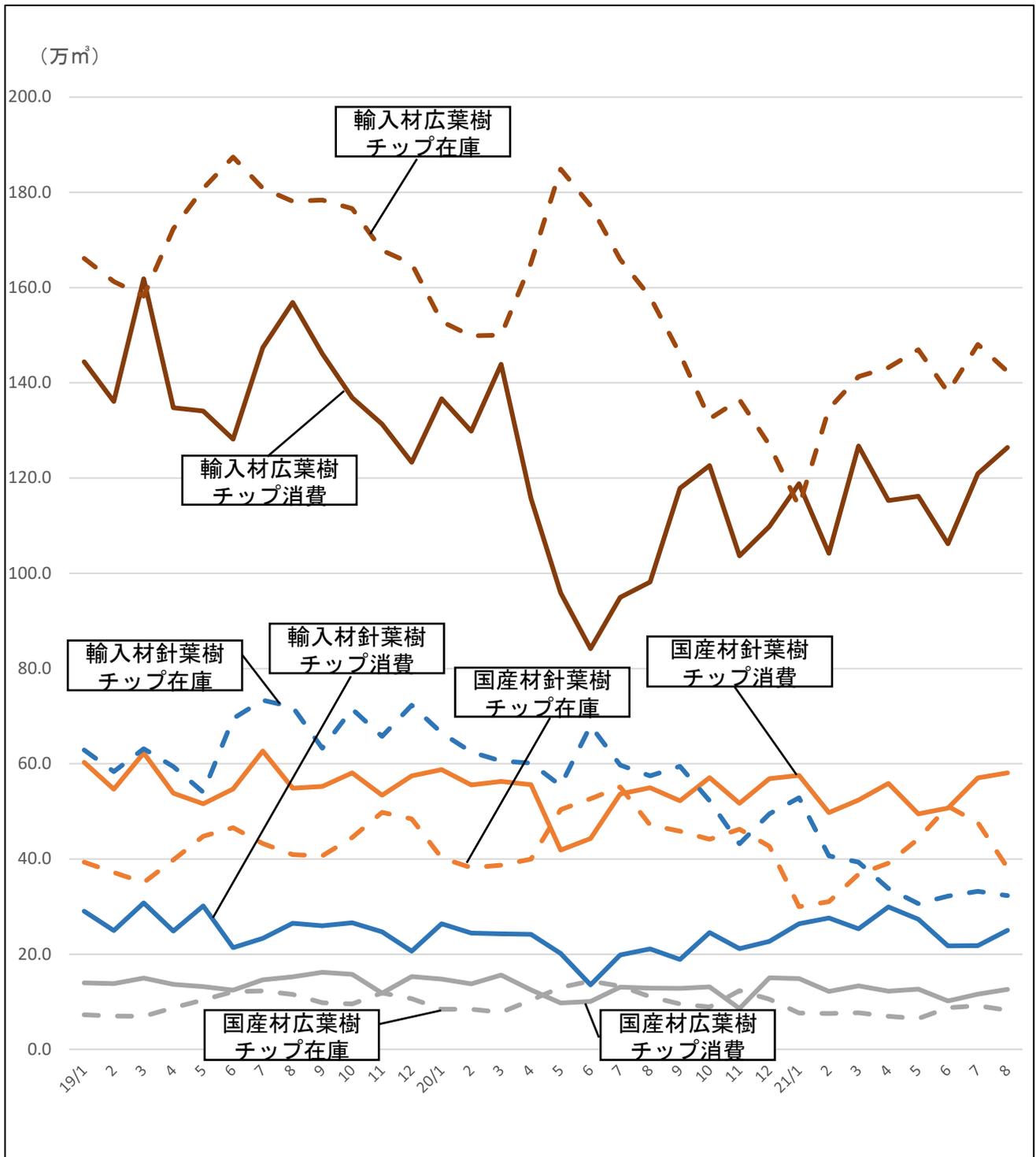


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～9月原木入荷量合計(千 m^3)	3,432	3,696	3,874	3,368	3,815
2017年との比較※	—	108%	113%	98%	111%
1～9月出荷量合計(千 m^3)	2,371	2,331	2,492	2,190	2,422
2017年との比較※	—	98%	105%	92%	102%

※2017年の数値を100%とした比較

木材需給情報-5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向

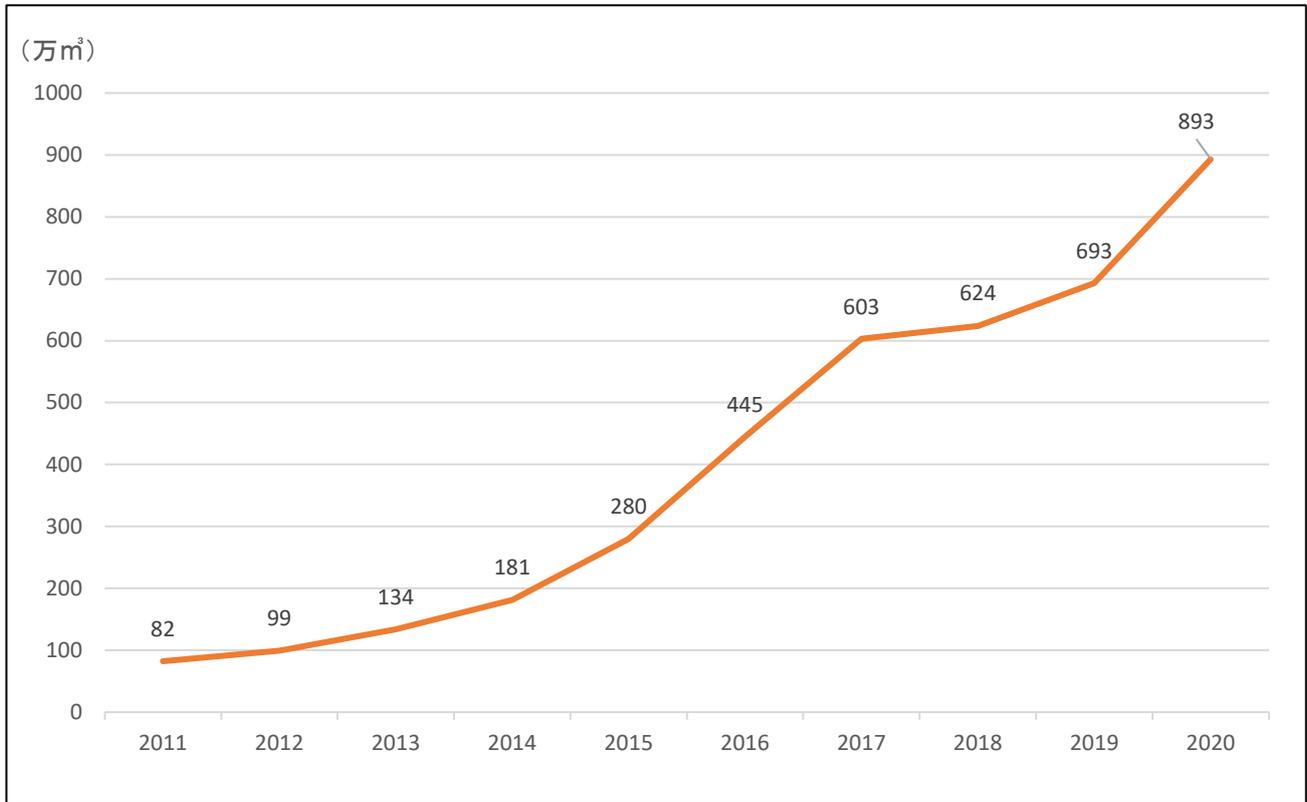
- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。



資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

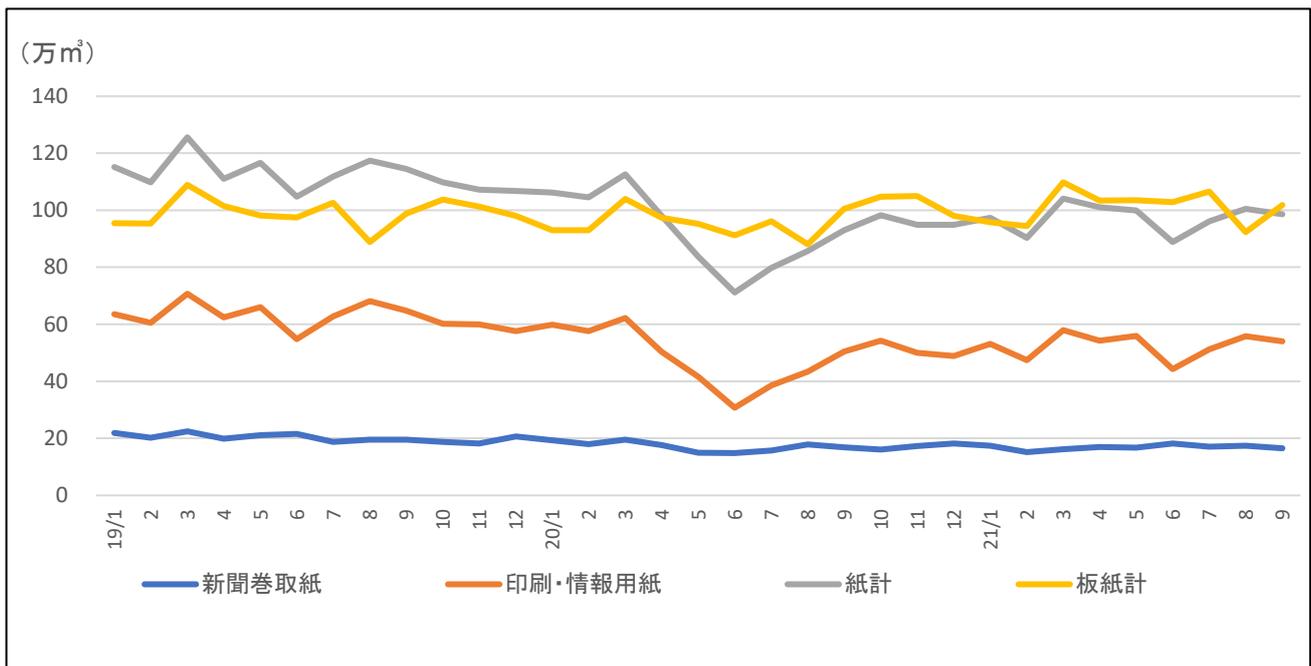
- 木質バイオマス発電向け燃料は、一貫して増加傾向が続いている。

○間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量



資料: 木材利用課調べ(～平成26年)、林野庁「木材需給表」(平成27年～)

○紙品種別生産高



資料: 経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

- 令和2年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は1,988万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹	広葉樹	
						スギ	
全 国	19,882	11,615	4,195	4,072	18,037	11,663	1,845
北 海 道	2,850	1,455	563	832	2,314	46	536
青 森	894	318	327	249	831	701	63
岩 手	1,355	429	548	378	1,112	639	243
宮 城	576	167	256	153	530	478	46
秋 田	1,123	477	450	196	1,026	989	97
山 形	266	189	69	8	262	250	4
福 島	853	469	50	334	738	604	115
茨 城	423	347	4	72	387	294	36
栃 木	540	438	5	97	500	360	40
群 馬	208	132	37	39	203	145	5
埼 玉	63	30	0	33	38	25	25
千 葉	58	21	2	35	42	35	16
東 京	28	15	3	10	25	14	3
神 奈 川	11	9	0	2	10	6	1
新 潟	99	53	27	19	94	93	5
富 山	79	43	22	14	74	71	5
石 川	138	58	48	32	121	101	17
福 井	121	56	35	30	116	112	5
山 梨	144	22	48	74	116	31	28
長 野	466	171	202	93	453	91	13
岐 阜	364	234	67	63	355	196	9
静 岡	328	174	110	44	324	163	4
愛 知	208	103	85	20	205	104	3
三 重	274	168	63	43	267	130	7
滋 賀	59	16	18	25	50	41	9
京 都	141	48	39	54	122	87	19
大 阪	9	3	-	6	9	6	0
兵 庫	264	73	119	72	252	183	12
奈 良	107	88	4	15	107	69	0
和 歌 山	166	102	25	39	162	96	4
鳥 取	254	72	136	46	231	187	23
島 根	429	86	229	114	337	274	92
岡 山	339	283	31	25	326	99	13
広 島	295	131	49	115	219	115	76
山 口	228	123	31	74	194	141	34
徳 島	267	152	x	x	255	207	12
香 川	8	7	-	1	8	3	-
愛 媛	523	485	x	x	523	305	-
高 知	497	336	x	x	493	279	4
福 岡	177	149	1	27	164	124	13
佐 賀	113	91	1	21	100	62	13
長 崎	106	56	0	50	79	31	27
熊 本	964	754	131	79	923	687	41
大 分	1,014	818	171	25	1,004	824	10
宮 崎	1,879	1,772	40	67	1,839	1,739	40
鹿 児 島	572	391	31	150	497	426	75
沖 縄	2	1	-	1	0	-	2

資料：農林水産省「令和2年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

- 令和元年の木材生産の都道府県別林業産出額の合計は2,294億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	3,575	3,075	45	-	-	2,983	500	-
青森	828	755	598	1	40	61	73	-
岩手	1,493	1,205	669	0	174	361	276	-
宮城	492	452	418	5	22	5	38	2
秋田	1,196	1,092	1,042	0	4	40	102	-
山形	271	268	252	0	5	11	2	-
福島	749	655	518	79	20	37	91	-
茨城	434	413	283	128	2	-	21	-
栃木	629	602	400	199	1	2	22	0
群馬	193	188	131	27	3	26	5	-
埼玉	58	38	26	11	0	0	20	-
千葉	58	39	33	5	0	0	16	3
東京	23	20	9	10	0	1	3	-
神奈川	15	13	7	6	0	0	2	-
新潟	124	120	119	0	0	0	4	0
富山	75	71	70	0	1	0	4	-
石川	136	118	92	4	7	2	19	0
福井	102	99	95	3	1	-	4	-
山梨	98	80	22	13	12	28	15	-
長野	524	505	75	109	28	273	10	-
岐阜	540	529	304	203	4	12	10	-
静岡	370	362	162	195	2	2	7	0
愛知	257	255	137	101	0	14	2	0
三重	367	362	151	208	1	-	4	-
滋賀	53	43	29	14	0	-	9	1
京都	128	108	78	26	1	0	17	3
大阪	4	4	2	2	0	-	0	0
兵庫	244	236	143	87	1	0	7	0
奈良	191	191	86	103	0	-	0	-
和歌山	198	193	107	84	0	-	3	2
鳥取	233	216	159	53	4	-	17	-
島根	423	357	273	65	19	-	66	-
岡山	493	473	86	382	5	0	13	2
広島	326	277	113	150	14	0	49	-
山口	247	218	156	61	1	-	28	1
徳島	325	312	249	62	0	-	13	0
香川	7	5	1	4	0	-	0	2
愛媛	608	608	284	317	7	-	0	0
高知	592	581	290	285	6	-	10	1
福岡	223	212	146	64	2	-	10	1
佐賀	157	149	90	59	0	-	8	0
長崎	114	91	31	59	0	-	23	-
熊本	1,322	1,289	931	354	4	-	22	8
大分	1,387	1,367	1,125	242	0	-	7	6
宮崎	2,315	2,282	2,142	136	5	-	32	-
鹿児島	737	656	563	88	1	-	65	16
沖縄	2	0	-	-	-	-	2	-
合計	22,940	21,187	12,743	4,005	394	3,859	1,649	48

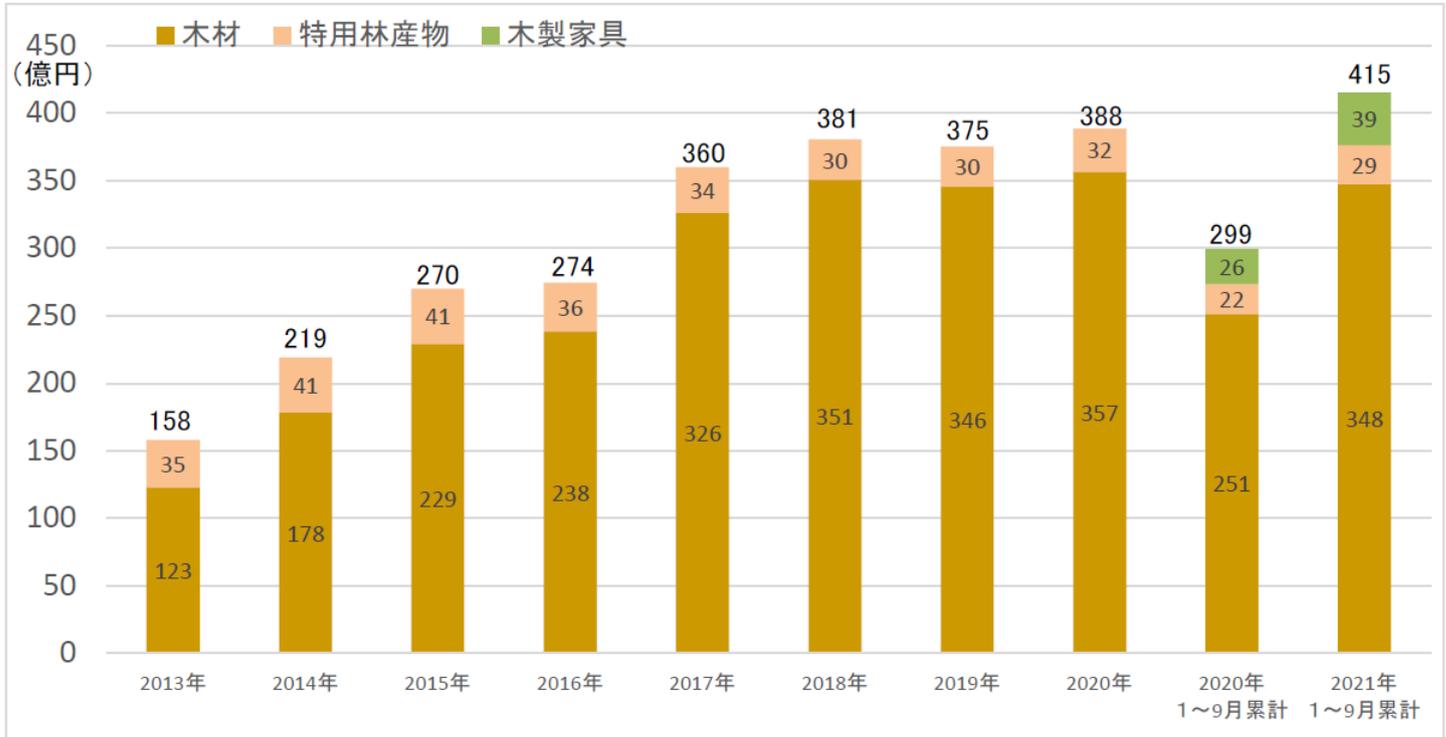
資料：農林水産省「令和元年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

- 9月の林産物の輸出額は45億円（前年同月比122%）となった。内訳としては木材が37億円（同120%）、特用林産物が3億円（同117%）、木製家具が5億円（同141%）となった。
- 9月までの累計は、415億円（対前年同期比139%）となった。

○林産物輸出の推移



資料：財務省貿易統計

※特用林産物のうち、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、きのこ類以外は、ロジン、植物性ろう等を計上。

※定義見直しにより、2021年1月より品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を林産物に追加。

※月別の累計は追加品目を含む値

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

(億円)

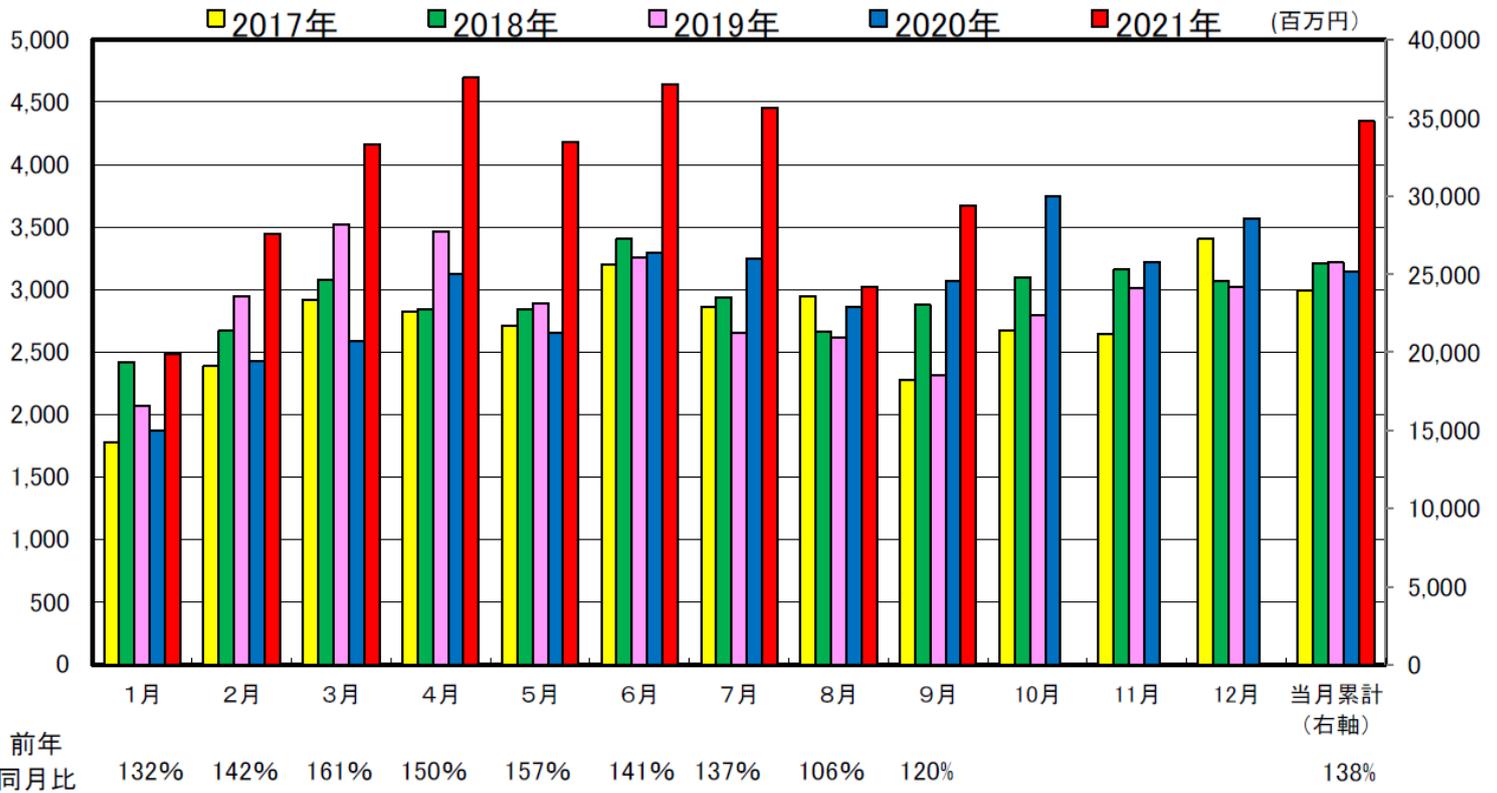
	2020年				2021年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	24	19	3	2	31	131%	122%	25	3	3
2月	31	24	3	4	41	135%	114%	34	4	3
3月	32	26	3	3	51	159%	123%	42	4	5
4月	37	31	3	3	55	150%	134%	47	3	5
5月	31	27	2	2	49	156%	145%	42	3	4
6月	37	33	2	3	54	144%	137%	46	3	5
7月	37	32	2	3	52	140%	162%	45	3	4
8月	34	29	2	3	37	111%	116%	30	3	5
9月	37	31	3	4	45	122%	157%	37	3	5
10月	46	37	3	5						
11月	40	32	4	4						
12月	44	36	3	5						
1~9月累計	299	251	22	26	415	139%	134%	348	29	39

資料：財務省貿易統計

※数値は追加品目を含む値

- 令和3年9月の輸出額は36.7億円（前年同月比120%）となった。1～9月までの累計は348億円（前年同月比138%）となった。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（累計：主な国別・品目別）

輸出先	単月(9月)					累計(1～9月)				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	1,634	110%	1,135 98%	116 120%	51 117%	16,647	139%	12,959 141%	1,137 97%	439 195%
韓国	311	148%	174 133%	51 134%	5 218%	2,830	124%	1,632 114%	501 109%	32 214%
台湾	161	141%	106 144%	31 131%	0 0%	1,784	116%	1,078 133%	430 120%	17 130%
米国	323	84%	0 —	180 76%	0 —	3,861	159%	0 —	2,730 176%	7 1214%
フィリピン	969	190%	0 —	273 351%	560 137%	7,018	158%	0 —	1,681 226%	4,861 140%
その他	275	78%	8 20%	42 101%	4 85%	2,627	107%	379 120%	334 100%	61 140%
総計	3,674	120%	1,422 101%	692 134%	620 135%	34,766	138%	16,048 137%	6,813 148%	5,417 144%

資料：財務省易統計
 ※貿易統計の第44類を集計
 ※四捨五入により、数値が合わないことがある

林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2021年9月の木材輸入額は、前月比+5%、前年同月比+59%の1,097億円となった。国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入額に占めるシェア14%）が+6%、中国（同14%）が+3%、ベトナム（同10%）が+4%、インドネシア（同9%）が+2%、米国（同8%）が+5%、マレーシア（同7%）が+17%増加する一方、カナダ（同8%）が▲2%減少した。
- 前年同月比で見ると、EUが+39%、中国が+58%、ベトナムが+42%、インドネシアが+62%、米国が+45%、カナダが+330%など、軒並み増加した。

(単位:億円)

年 国名	2020年 (1月～ 12月)	月別金額					累計金額			
		2021年 8月	2021年 9月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～9月	2021年 1～9月	前年 同期比	2019年 同期比
世界計	9,430	1,048	1,097	+ 5%	+ 59%	+ 26%	7,234	8,518	+ 18%	▲ 4%
E U	1,328	137	145	+ 6%	+ 39%	+ 40%	1,058	1,062	+ 0%	▲ 5%
(フィンランド)	416	49	45	▲ 8%	+ 31%	+ 51%	330	341	+ 3%	▲ 3%
(スウェーデン)	255	31	35	+ 13%	+ 119%	+ 147%	209	235	+ 12%	+ 14%
中 国	1,317	152	157	+ 3%	+ 58%	+ 32%	984	1,168	+ 19%	+ 3%
ベトナム	978	104	108	+ 4%	+ 42%	+ 11%	732	900	+ 23%	+ 11%
フィリピン	853	91	92	+ 2%	+ 4%	+ 3%	593	807	+ 36%	▲ 1%
インドネシア	845	87	88	+ 2%	+ 62%	+ 17%	669	704	+ 5%	▲ 7%
米 国	766	81	85	+ 5%	+ 45%	+ 36%	610	670	+ 10%	+ 0%
カナダ	725	164	160	▲ 2%	+ 330%	+ 115%	529	1,069	+ 102%	+ 34%
マレーシア	661	53	62	+ 17%	+ 61%	+ 10%	512	555	+ 8%	▲ 17%
ロシア	448	60	62	+ 3%	+ 121%	+ 23%	370	395	+ 7%	▲ 10%
その他	1,508	121	138	+ 14%	+ 31%	▲ 3%	1,177	1,189	+ 1%	▲ 31%
我が国の総輸入額	678,371	72,482	74,650	+ 3%	▲ 33%	+ 19%	504,099	605,153	+ 20%	+ 3%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.39%	1.45%	1.47%				1.44%	1.41%		

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

- 2021年9月の丸太輸入量は、前月比▲10%、前年同月比+53%の22万m³となった。国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア69%）が+43%増加する一方、カナダ（同12%）が▲27%減少、ニュージーランド（同12%）が皆減した。
- 前年同月比で見ると、カナダが皆増（前年同月の輸入量はゼロ）、米国が+23%増加する一方、ニュージーランドが皆減した。

(単位:千m³)

材種 国名	年 2020年 (1月～ 12月)	月別数量					累計数量			
		2021年 8月	2021年 9月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～9月	2021年 1～9月	前年 同期比	2019年 同期比
合計	[100%] 2,301	[100%] 243	[100%] 219	▲10%	+53%	▲4%	[100%] 1,812	[100%] 2,050	+13%	▲13%
米材	[80%] 1,852	[79%] 192	[98%] 214	+12%	+73%	+17%	[80%] 1,443	[87%] 1,778	+23%	▲4%
米国	[69%] 1,579	[44%] 106	[69%] 151	+43%	+23%	+1%	[70%] 1,262	[56%] 1,156	▲8%	▲4%
カナダ	[12%] 272	[35%] 86	[28%] 62	▲27%	皆増	+93%	[10%] 181	[30%] 622	+243%	▲2%
南洋材	[4%] 82	[0%] 0	[0%] 0	▲74%	+162%	▲98%	[4%] 70	[1%] 14	▲80%	▲86%
インドネシア	[0%] 0	-	-	-	▲100%	-	[0%] 0	-	▲100%	▲100%
マレーシア	[1%] 28	[0%] 0	-	▲100%	-	-	[2%] 28	[0%] 8	▲71%	▲68%
パプアニューギニア	[2%] 53	-	[0%] 0	皆増	-	▲98%	[2%] 41	[0%] 6	▲86%	▲92%
北洋材	[3%] 62	[1%] 2	[2%] 4	+159%	+3,795%	▲75%	[3%] 55	[2%] 31	▲43%	▲71%
ニュージーランド材	[12%] 284	[20%] 48	-	▲100%	▲100%	▲100%	[12%] 226	[10%] 211	▲7%	▲22%
欧州材	[1%] 14	[0%] 1	[0%] 0	▲65%	+21%	▲44%	[1%] 13	[1%] 12	▲7%	▲32%
EU計	-	[0%] 1	[0%] 0	▲64%	+21%	▲44%	[1%] 13	[1%] 12	▲7%	▲32%
アフリカ材	[0%] 2	-	[0%] 0	皆増	+49%	▲27%	[0%] 2	[0%] 1	▲14%	▲55%
中国	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	▲96%	▲95%	▲91%	[0%] 1	[0%] 1	▲20%	▲6%
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	+26%	皆増	皆増	[0%] 2	[0%] 2	▲5%	+96%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

注2：米材は米国、カナダより輸入された材。

注3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シंगाポール、ブルネイの7カ国より輸入された材。

注4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

注5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注7：「-」は輸入実績なし等。

注8：EUに英国は含まない。

- 2021年9月の製材輸入量は、前月比+0%、前年同月比+29%の43万m³となった。国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア47%）が▲7%、カナダ（同24%）が▲4%減少する一方、ロシア（同16%）が+1%増加した。EUとカナダは、前月に引き続き、前月比減となった。
- 前年同月比で見ると、EUが▲0%減少する一方、カナダが+36%、ロシアが+43%増加した。

(単位:千m³)

材種 国名	年	月別数量					累計数量				
		2020年 (1月~ 12月)	2021年 8月	2021年 9月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1~9月	2021年 1~9月	前年 同期比	2019年 同期比
合計		[100%] 4,933	[100%] 433	[100%] 433	+ 0%	+ 29%	▲ 8%	[100%] 3,934	[100%] 3,526	▲ 10%	▲ 19%
米材		[28%] 1,372	[28%] 120	[28%] 122	+ 1%	+ 37%	▲ 20%	[26%] 1,035	[30%] 1,047	+ 1%	▲ 19%
米国		[4%] 192	[2%] 9	[4%] 16	+ 67%	+ 44%	▲ 21%	[4%] 155	[3%] 103	▲ 34%	▲ 44%
カナダ		[24%] 1,180	[26%] 111	[25%] 107	▲ 4%	+ 36%	▲ 19%	[22%] 880	[27%] 944	+ 7%	▲ 15%
南洋材		[1%] 60	[1%] 2	[1%] 6	+ 142%	+ 24%	▲ 9%	[1%] 47	[1%] 41	▲ 13%	▲ 31%
インドネシア		[0%] 20	[0%] 1	[1%] 2	+ 103%	+ 55%	+ 8%	[0%] 16	[0%] 15	▲ 9%	▲ 18%
マレーシア		[1%] 37	[0%] 1	[1%] 4	+ 221%	+ 21%	▲ 17%	[1%] 29	[1%] 25	▲ 14%	▲ 38%
パプアニューギニア		[0%] 0	-	-	-	-	-	[0%] 0	[0%] 0	+ 194%	皆増
北洋材		[16%] 812	[18%] 76	[18%] 77	+ 1%	+ 43%	▲ 3%	[17%] 668	[16%] 577	▲ 14%	▲ 18%
ニュージーランド材		[1%] 51	[2%] 8	[1%] 4	▲ 41%	+ 2%	▲ 26%	[1%] 38	[1%] 42	+ 11%	▲ 18%
チリ材		[4%] 210	[7%] 29	[8%] 36	+ 24%	+ 458%	+ 5%	[4%] 158	[5%] 166	+ 5%	▲ 32%
欧州材		[48%] 2,384	[44%] 190	[41%] 177	▲ 7%	+ 1%	▲ 5%	[50%] 1,954	[45%] 1,604	▲ 18%	▲ 19%
EU計		[47%] 2,339	[42%] 184	[40%] 171	▲ 7%	▲ 0%	▲ 7%	[49%] 1,917	[44%] 1,560	▲ 19%	▲ 20%
(スウェーデン)		[16%] 787	[15%] 65	[14%] 59	▲ 10%	+ 17%	+ 28%	[17%] 649	[15%] 546	▲ 16%	▲ 0%
(フィンランド)		[16%] 786	[16%] 68	[13%] 57	▲ 16%	▲ 8%	▲ 7%	[16%] 631	[15%] 528	▲ 16%	▲ 22%
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	+ 563%	▲ 89%	▲ 87%	[0%] 2	[0%] 1	▲ 17%	▲ 57%
中国		[1%] 32	[1%] 6	[2%] 10	+ 63%	+ 323%	+ 293%	[1%] 24	[1%] 41	+ 70%	+ 67%
その他		[0%] 11	[0%] 1	[0%] 1	▲ 44%	▲ 10%	▲ 48%	[0%] 9	[0%] 6	▲ 31%	▲ 45%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7カ国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

- 2021年9月の合板輸入量は、前月比+12%、前年同月比+67%の16万m³となった。国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア42%）が+13%、インドネシア（同シェア42%）が+4%増加した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが+46%、インドネシアが+60%増加した。

(単位:千m³)

国名	年	月別数量					累計数量				
		2020年 (1月～ 12月)	2021年 8月	2021年 9月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～9月	2021年 1～9月	前年 同期比	2019年 同期比
総輸入量	[100%] 1,660	[100%] 143	[100%] 161	+ 12%	+ 67%	+ 17%	[100%] 1,286	[100%] 1,367	+ 6%	▲ 4%	
マレーシア	[42%] 704	[38%] 55	[38%] 62	+ 13%	+ 46%	+ 16%	[42%] 537	[45%] 610	+ 14%	▲ 5%	
インドネシア	[42%] 702	[40%] 58	[38%] 60	+ 4%	+ 60%	▲ 2%	[43%] 555	[37%] 512	▲ 8%	▲ 10%	
ベトナム	[8%] 134	[12%] 18	[14%] 22	+ 24%	+ 150%	+ 92%	[8%] 102	[10%] 142	+ 39%	+ 43%	
中国	[6%] 106	[9%] 12	[10%] 16	+ 26%	+ 138%	+ 61%	[6%] 80	[7%] 93	+ 16%	▲ 2%	
EU	[0%] 6	[0%] 0	[0%] 0	▲ 21%	▲ 31%	+ 159%	[0%] 5	[0%] 5	+ 5%	▲ 12%	
その他	[1%] 9	[0%] 1	[0%] 1	+ 50%	+ 14%	▲ 39%	[1%] 7	[0%] 6	▲ 17%	▲ 53%	

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注4：EUに英国は含まない。

- 2021年9月の木材チップ輸入量は、前月比▲1%、前年同月比+12%の86万トンとなった。国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア35%）が+15%、オーストラリア（同16%）が+55%増加する一方、チリ（同15%）が▲16%減少した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが+43%、オーストラリアが+144%増加した。

(単位:千トン)

国名	年	月別数量					累計数量				
		2020年 (1月～ 12月)	2021年 8月	2021年 9月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～9月	2021年 1～9月	前年 同期比	2019年 同期比
総輸入量	[100%] 9,491	[100%] 867	[100%] 861	▲ 1%	+ 12%	▲ 2%	7,155	8,207	+ 15%	▲ 12%	
ベトナム	[35%] 3,306	[39%] 342	[46%] 392	+ 15%	+ 43%	+ 5%	2,370	3,121	+ 32%	+ 10%	
オーストラリア	[16%] 1,476	[13%] 116	[21%] 179	+ 55%	+ 144%	▲ 5%	1,119	1,513	+ 35%	▲ 16%	
チリ	[15%] 1,419	[8%] 65	[6%] 55	▲ 16%	▲ 1%	+ 10%	1,141	825	▲ 28%	▲ 35%	
南アフリカ共和国	[8%] 739	[7%] 62	[7%] 61	▲ 2%	▲ 51%	▲ 29%	611	682	+ 12%	▲ 33%	
米国	[7%] 631	[14%] 118	[2%] 20	▲ 83%	▲ 72%	▲ 2%	485	606	+ 25%	+ 10%	
その他	[20%] 1,920	[19%] 163	[18%] 153	▲ 6%	▲ 11%	▲ 6%	1,429	1,460	+ 2%	▲ 23%	

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2021年9月の集成材輸入量は、前月比▲5%、前年同月比▲6%の7.9万^m³となった。構造用集成材に限ると、前月比▲8%、前年同月比▲14%の6.6万^m³となった。国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア82%）が▲8%、ロシア（同8%）が▲10%減少する一方、中国（同6%）が+11%増加した。EUの国別内訳では、フィンランド（同36%）が▲13%、オーストリア（同13%）が▲10%減少する一方、ルーマニア（同19%）が+11%増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが▲19%減少する一方、ロシアが+10%、中国が+148%増加した。

(単位:千m³)

年	2020年 (1月～12月)	月別数量					累計数量			
		2021年 8月	2021年 9月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～9月	2021年 1～9月	前年 同期比	2019年 同期比
総輸入量	[100%] 1,022	[100%] 84	[100%] 79	▲5%	▲6%	+1%	[100%] 813	[100%] 701	▲14%	▲3%
うち 構造用集成材	[100%] 910	[100%] 72	[100%] 66	▲8%	▲14%	▲2%	[100%] 726	[100%] 609	▲16%	▲2%
E U	[82%] 835	[74%] 62	[72%] 57	▲8%	▲19%	▲4%	[82%] 663	[77%] 541	▲18%	▲5%
うち 構造用集成材	[89%] 808	[83%] 60	[83%] 55	▲8%	▲20%	▲3%	[88%] 640	[86%] 524	▲18%	▲4%
フィンランド	[36%] 372	[38%] 32	[35%] 28	▲13%	▲7%	+22%	[36%] 294	[38%] 264	▲10%	+7%
うち 構造用集成材	[41%] 369	[43%] 31	[41%] 27	▲12%	▲8%	+22%	[40%] 291	[43%] 261	▲10%	+7%
ルーマニア	[19%] 198	[13%] 11	[16%] 12	+11%	▲37%	▲28%	[19%] 158	[15%] 102	▲36%	▲17%
うち 構造用集成材	[21%] 188	[15%] 11	[18%] 12	+10%	▲39%	▲27%	[21%] 150	[16%] 96	▲36%	▲16%
オーストリア	[13%] 132	[12%] 10	[11%] 9	▲10%	▲11%	▲13%	[13%] 102	[13%] 93	▲9%	▲5%
うち 構造用集成材	[13%] 120	[13%] 9	[12%] 8	▲9%	▲15%	▲8%	[13%] 92	[14%] 85	▲7%	+1%
ロシア	[8%] 78	[9%] 8	[9%] 7	▲10%	+10%	▲22%	[8%] 64	[8%] 60	▲6%	▲10%
うち 構造用集成材	[7%] 68	[10%] 7	[9%] 6	▲17%	+4%	▲25%	[8%] 56	[8%] 51	▲10%	▲9%
中国	[6%] 56	[11%] 9	[13%] 10	+11%	+148%	+104%	[6%] 46	[9%] 60	+30%	+49%
うち 構造用集成材	[4%] 34	[7%] 5	[8%] 5	+6%	+123%	+85%	[4%] 29	[6%] 34	+18%	+58%
その他	[5%] 53	[5%] 4	[6%] 5	+10%	+53%	+2%	[5%] 40	[6%] 40	▲1%	▲15%
うち 構造用集成材	[0%] 1	[0%] -	[0%] -	-	▲100%	-	[0%] 1	[0%] 0	▲89%	▲81%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.94号120、190、第4412.99号120、130、190と第4418.91号291、第4418.99号231、232、239（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

- 2021年9月の木質ペレット輸入量は、前月比▲6%、前年同月比+69%の23万トンとなった。国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア58%）が+0%増加する一方、カナダ（同29%）が▲9%減少した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが+24%、カナダが+252%増加した。

(単位:千トン)

国名	年	月別数量					累計数量				
		2020年 (1月～ 12月)	2021年 8月	2021年 9月	前月比	前年 同月比	2019年 同月比	2020年 1～9月	2021年 1～9月	前年 同期比	2019年 同期比
総輸入量	[100%] 2,028	[100%] 244	[100%] 230	▲6%	+69%	+64%	[100%] 1,468	[100%] 2,177	+48%	+87%	
ベトナム	[58%] 1,169	[53%] 128	[56%] 128	+0%	+24%	+89%	[60%] 883	[51%] 1,111	+26%	+85%	
カナダ	[29%] 593	[31%] 76	[30%] 69	▲9%	+252%	+23%	[29%] 425	[36%] 781	+84%	+70%	
マレーシア	[8%] 160	[4%] 10	[4%] 10	+0%	+253%	+73%	[8%] 117	[5%] 110	▲6%	+295%	
オーストラリア	[2%] 51	-	15	皆増	皆増	皆増	[0%] 0	62	+88,734%	+61%	
タイ	[1%] 12	-	-	-	-	▲100%	[1%] 11	-	▲100%	▲100%	
その他	[2%] 44	[12%] 30	[3%] 8	▲74%	▲25%	+7,950%	[2%] 31	[5%] 112	+259%	+3,653%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

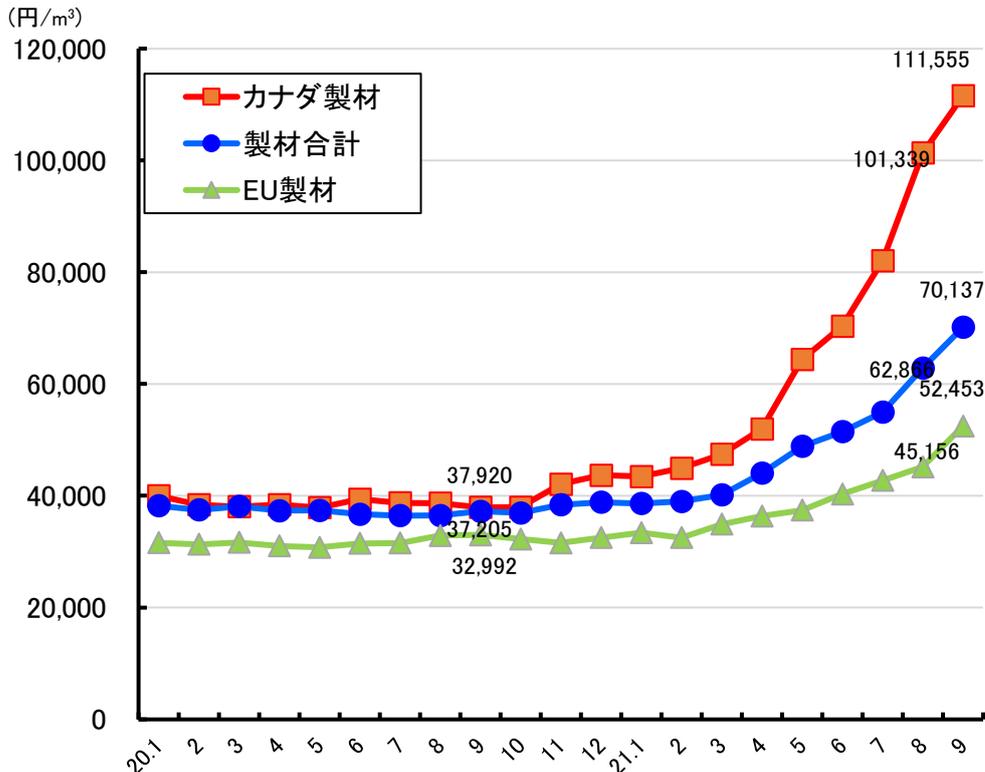
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

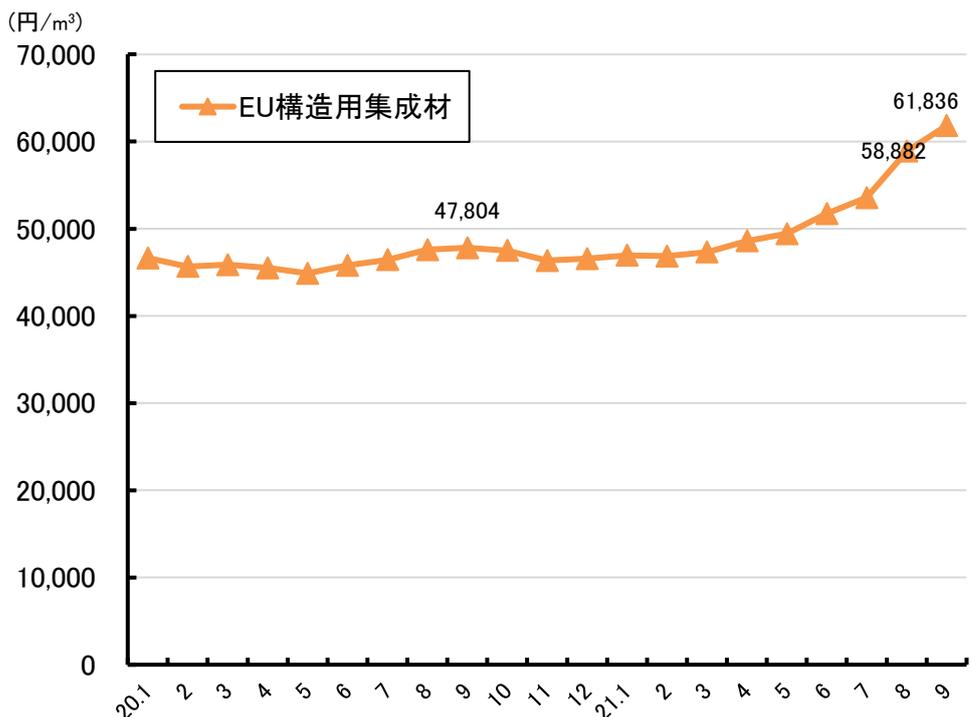
- 本年9月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比+12%増の70,137円/m³（前年同月比+89%）。うち、カナダの製材は、前月比+10%増の111,555円/m³（前年同月比+194%）、EUの製材は、前月比+16%増の52,453円/m³（前年同月比+59%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比+5%増の61,836円/m³（前年同月比+29%）。

○製材の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

○構造用集成材の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

資料：財務省貿易統計

- 2020年の食用きのこ類の生産量は46万2,277tで、前年に比べ6,588t（1.4%）増加した。
- たけのこの生産量は2万6,449tで、前年に比べ4,164t（18.7%）増加した。
- 木炭の生産量は1万2,925tで、前年に比べ1,468t（10.2%）減少した。

○きのこ類

単位：t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32

注：まつたけの昭和47年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位：t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017

注：くりの平成22年～令和2年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,925	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151

注：1 木炭、薪の昭和47年までの生産量は『農林省統計表』による。
 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。
 4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

資料：特用林産基礎資料

特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 令和元年のきのこ類の林業産出額は、前年に比べ86.4億円減少し、2,170.2億円（対前年比3.8%減少）となった。
- 薪炭の林業産出額は、前年に比べ2.7億円増加し、58.1億円（対前年比4.9%増加）となった。

（単位：億円）

	H27	H28	H 29	H30	R元
栽培きのこ類	2,105.2	2,213.9	2,200.8	2,256.6	2,170.2
薪炭	53.1	54.9	54.4	55.4	58.1

資料：農林水産省「令和元年林業産出額」

特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 令和2年のきのこ類の輸出量は47トン（対前年比61.5%減少）、輸入量は29,958トン（対前年比8.9%減少）。
- 令和2年の木炭の輸出量は439トン（対前年比13.1%減少）、輸入量は79,739トン（対前年比44.6%減少）。

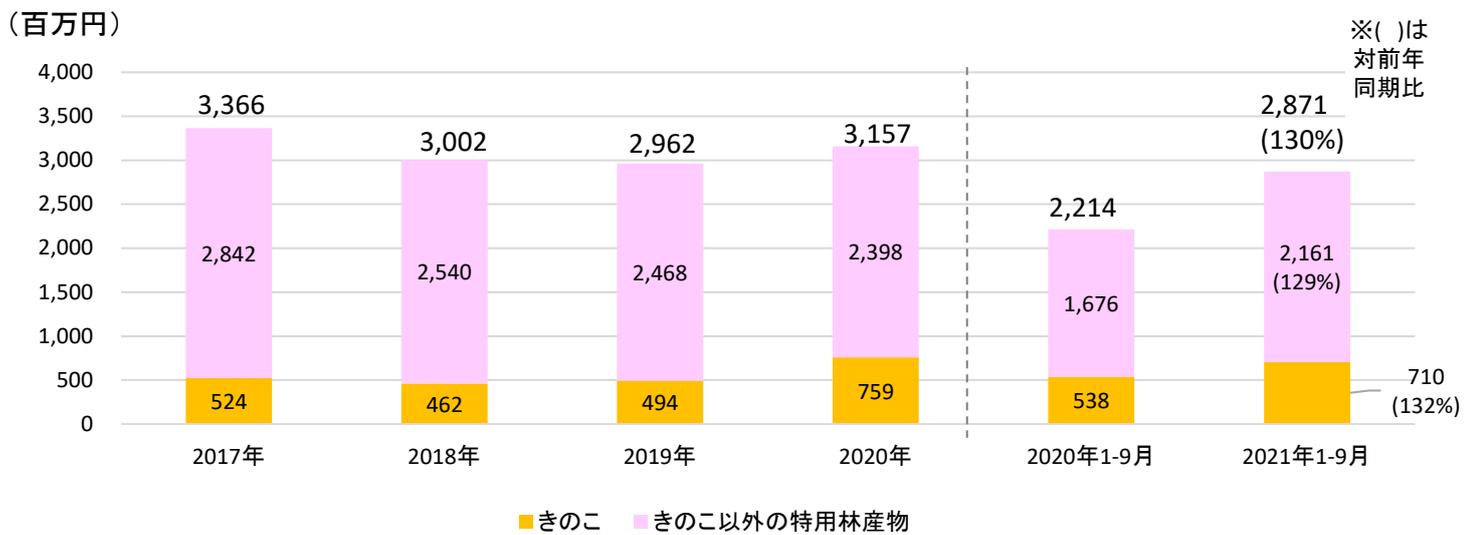
品目	単位	H28		H29		H30		R元		R2	
		輸出量	輸入量								
乾しいたけ	トン	30	5,134	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354
生しいたけ	トン	…	2,015	…	2,108	…	1,942	…	1,835	…	1,785
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	66	24,112	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190
まつたけ	トン	…	981	…	787	…	798	…	849	…	629
くり	トン	…	10,500	…	10,837	…	9,781	…	9,019	…	7,371
くるみ	トン	…	51,450	…	57,536	…	56,389	…	52,236	…	56,478
たけのこ	トン	…	168,578	…	172,499	…	167,868	…	157,296	…	142,544
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	8	…	14	…	3	19	7	10	4	9
生うるし	kg	…	43,324	…	40,925	…	35,879	…	36,254	…	30,165
つばき油	kl	…	314	…	154	…	177	…	180	…	220
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	256	…	244	1	251	0	215	0	194
桐材	m ³	…	11,707	…	12,527	…	10,750	…	10,099	…	9,726
木炭	トン	616	146,538	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739
竹炭	トン	1	7,689	…	8,061	…	8,744	…	9,414	12	7,605
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	千層積m ³	1	1	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	56,525	…	56,135	…	53,679	…	54,183	…	44,499
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：特用林産基礎資料

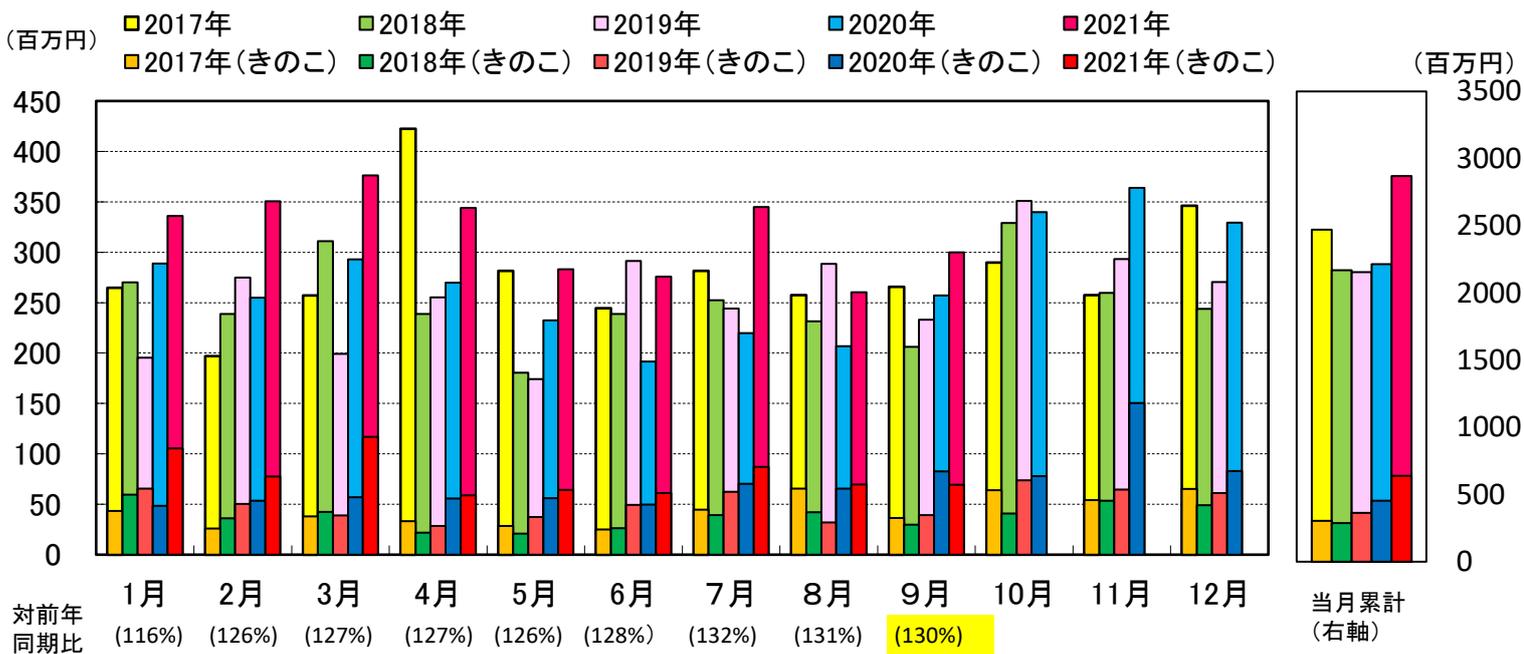
「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

- 9月末までの特用林産物輸出額は2,871百万円（前年同期比130%、対前々年同期比133%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、710百万円（対前年同期比132%、対前々年同期比176%）、きのこ以外は、2,161百万円（対前年同期比129%、対前々年同期比123%）となった。
- 9月の輸出額は300百万円（対前年同月比117%、対前々年同月比129%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は69百万円（対前年同月比106%、対前々年同月比176%）、きのこ以外の特用林産物は230百万円（対前年同月129%、対前々年同月比119%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

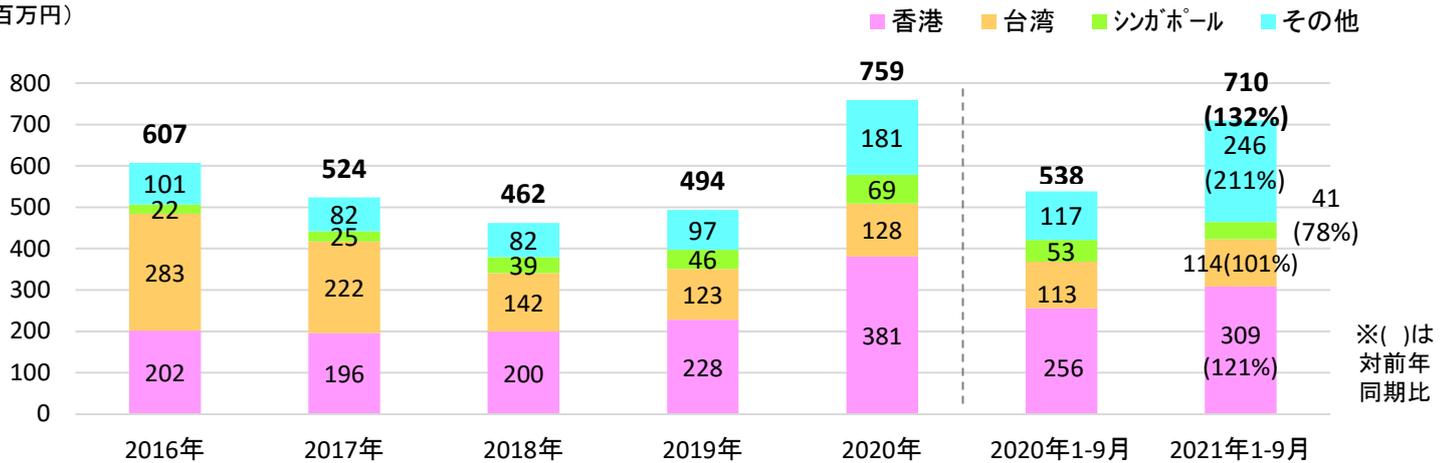
※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和3年実績より、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- きのこの9月末迄の輸出額は710百万円で、対前年同期比132%、対前々年同期比176%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比121%、台湾が101%、シンガポールが78%、対前々年同期比は香港が212%、台湾が115%、シンガポールが106%となっている。
- 輸出量で見ると9月末迄の合計は910トンで、対前年同期比113%、対前々年同期比125%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比107%、台湾が85%、シンガポールが99%、対前々年同期比は香港が242%、台湾が64%、シンガポールが76%となっている。

○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）

(百万円)

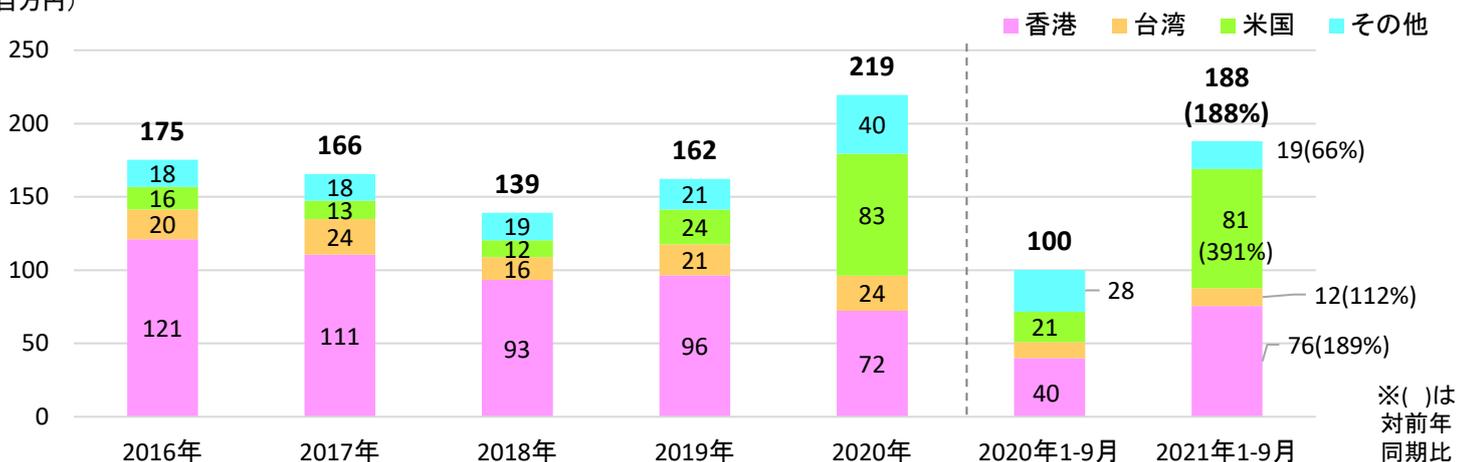


※令和3年実績より、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 乾しいたけの9月末迄の輸出額は188百万円で、対前年同期比188%、対前々年同期比183%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比189%、台湾は112%、米国は391%、前々年同期比は香港が120%、台湾は158%、米国が583%となっている。
- 輸出量で見ると9月末迄の合計は29トンで、対前年同期比183%、対前々年同期比130%となっている。主要な輸出先では、対前年同期比は香港が167%、台湾が455%、米国が218%、対前々年同期比は香港が114%、台湾が86%、米国が175%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）

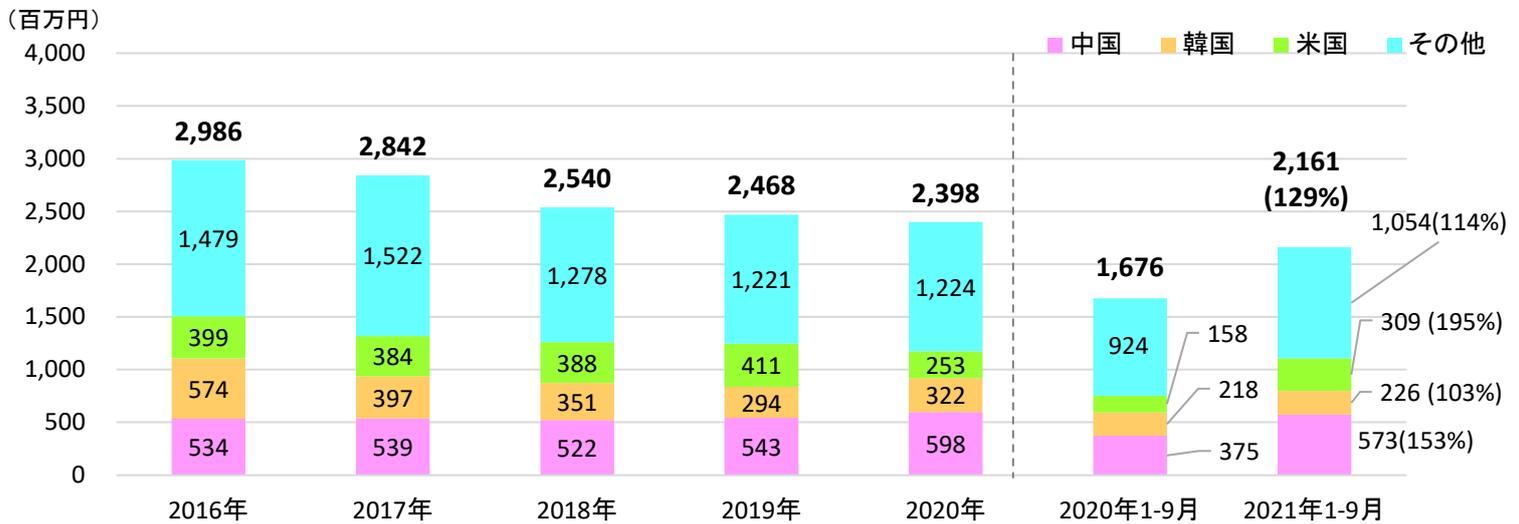
(百万円)



資料：財務省貿易統計

- きのこ以外の特用林産物の9月末迄の輸出額は2,161百万円で、対前年同期比129%、対前々年同期比123%となっている。国別には、中国が対前年同期比153%、韓国が103%、米国が195%となっている。対前々年同期比は、中国が149%、韓国が98%、米国が133%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比142%、植物性ろうが136%、テルペン油が132%、対前々年同期比は、ロジン（松脂）126%、植物性ろうが129%、テルペン油が124%となっている。
- 輸出量で見ると9月末迄の合計は2,137トンで、対前年同期比122%、対前々年同期比122%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比153%、韓国が99%、米国が134%、対前々年同期比は中国は117%、韓国は82%、米国は102%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

- 令和元年のきのこ類の卸売量は、237,224トン（前年比3.3%減少）。
- 令和元年のきのこ類の卸売価額は、103,897,522千円（前年比4.9%減少）。
- 令和元年のきのこ類の卸売価格は、全ての品目において前年よりも下がった。

きのこ類の卸売量

単位：トン

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	47,862	47,880	48,399	49,391	49,121
なめこ	16,004	15,993	15,549	16,143	16,193
えのきだけ	105,894	111,255	117,251	111,238	106,291
しめじ	75,413	75,164	72,518	68,505	65,619
合計	245,173	250,292	253,717	245,277	237,224

きのこ類の卸売価額

単位：千円

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	45,403,729	45,972,664	46,171,290	44,690,633	43,515,380
なめこ	6,700,263	7,049,789	6,914,944	7,348,774	7,248,066
えのきだけ	27,678,422	27,160,745	25,534,311	26,329,886	24,221,698
しめじ	34,152,193	32,380,595	31,033,202	30,829,573	28,912,378
合計	113,934,607	112,563,793	109,653,747	109,198,866	103,897,522

きのこ類の卸売価格

単位：円/kg

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	949	960	954	905	886
なめこ	419	441	445	455	448
えのきだけ	261	244	218	237	228
しめじ	453	431	428	450	441

資料：青果物卸売市場調査

林野庁主催・後援する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■11月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第9回木暮人国際映画祭2021	11月13日(土)～ 11月28日(日) 全16日間	YouTube配信	森林や木に特化したテーマの作品だけを毎年連続的に上映する世界でも珍しい映画祭です。 主催:(一社)木暮人倶楽部 開催期間中、事前申込要 詳細: https://www.kogurebito.jp/filmfestival2021/
アグリビジネス創出フェア2021	11月24日(水)～ 11月26日(金) オンラインは令和4年1月26日(水)まで	東京ビッグサイト青海展示棟、オンラインサイト	農林水産・食品分野の最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かり易く紹介します。 主催:農林水産省 参加費無料、事前登録制 詳細: https://agribiz.maff.go.jp/
第40回みちのくこけしまつり	11月28日(日)～ 11月29日(月)	山形ビッグウイング	入賞作品展示のほか、こけし工人から直接絵付けを学べる絵付け体験等があります。 主催:山形県知事、みちのくこけし協会 後援:農林水産省 事前申込不要
国民参加の森林づくりシンポジウム～第45回全国育樹祭記念行事 開催1年前キックオフイベント～	12月5日(日) 13:00～16:00	大分県パトリア日田大ホール「やまびこ」	R4年に開催される第45回全国育樹祭の前年記念行事として開催するシンポジウムです。 主催:大分県、(公社)国土緑化推進機構(公財)森林文化協会、(株)朝日新聞社 事前申込み受付中(先着300名)11月19日まで 参加費無料 詳細: https://www.pref.oita.jp/soshiki/16260/moridukuri-shinpo.html
清里ミーティング2021 @オンライン	12月5日(日)～ 12月11日(土)	Zoom(オンライン)開催	オンラインで日本、世界をつなぎ、新たな環境教育の可能性について探り、学び合う場です。 主催:(公社)日本環境教育フォーラム 【フル参加券】300名(予定) 一般:7,000円/JEEF会員:2,000円/学生:無料 【録画視聴のみ参加券】4,000円 詳細: https://www.jeef.or.jp/activities/kiyosato/
エコプロ2021	12月8日(水)	東京ビックサイト	森と木で拓くSDGsゾーンでは、ウッドデザイン賞2021の受賞作品の展示を行います。 主催:テーマゾーン:ウッドデザイン賞運営事務局(公社)国土緑化推進機構 事前申込要、参加費無料 詳細: https://eco-pro.com/2021/feature/002106.html
川崎駅前優しい木のひろば	12月11日(土)	川崎駅周辺	国産木材の利用意義について理解を深めるとともに、木への興味を促し、国産木材を利用する機運を高めることを目指し、五感を通じて木を知り、木に親しむ機会を提供します。 主催:令和3年度川崎駅前優しい木のひろば実行委員会 事前申込不要 詳細: https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000110705.html